

平成 25 年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県国際交流課

目 次

I 国際化の現況	1
1. 現 況	1
(1) 海外渡航者の状況	1
① 日本人出国者数の推移	1
② 外国人入国者数の推移	1
③ 年次別旅券発給件数	1
④ 佐賀県の男女別・年齢別発給件数	2
(2) 在留外国人登録状況	
① 年次別在留外国人登録者数の推移	3
② 市町別・国籍別登録人員	4
③ 市町別・在留資格別登録人員	5
(3) 外国人留学生の受入状況	6
① 外国人留学生数の推移	6
② 県内外国人留学生の受入状況	6
(4) 経済交流の状況	7
① 佐賀県貿易額の推移	7
ア 輸出入額	7
イ 品目別輸出額	8
ウ 地域別輸出額	8
エ 品目別輸入額	9
オ 地域別輸入額	9
II 佐賀県国際戦略「世界とつながる佐賀県行動計画」	11
1. 概要説明資料	11
2. 国際化推進事業概要	15
(1) 佐賀県の事業	15
(2) 市町の事業	27
(3) 県関連の県民海外派遣事業	36
(4) 外国語によるパンフレット等の作成状況	38
3. 国際交流の推進	42
(1) 姉妹・友好締結交流	42
① 姉妹・友好締結について	43

② 全国の状況	43
ア 自治体別友好姉妹提携数	43
イ 相手国別友好姉妹提携数	44
③ 佐賀県の状況	45
ア 相手国別提携一覧	45
イ 県・ウ 市町の状況	46
エ その他の友好団体	50
④ 教育機関等の姉妹友好等提携交流	51
ア 大学・短期大学	51
イ 高等学校	56
ウ 中学校	67
エ 小学校	77
オ 幼稚園	86
カ その他の交流状況	87
(2) 世界の諸地域との交流	89
① 市町別移住者数	89
② 在外県人会	90
4. 国際化推進のための環境づくり	91
(1) 人材育成	91
① 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)	91
ア 年度別招致状況	91
イ 配置状況	92
② 外国語教育	93
ア 県立学校における留学生受入校及び受入人数	93
イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	93
ウ 県立高校における英語以外の外国語の取り組み状況	94
エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況	94
オ 海外との交流状況(姉妹友好等提携交流を除く)	95
5. 国際協力	100
(1) 国際協力の推進	100
① 佐賀県海外技術研修員受入状況	100
② 独立行政法人国際協力機構(JICA)研修員受入状況	101
③ 独立行政法人国際協力機構海外技術専門家派遣状況(佐賀県出身者)	102

④ 青年海外協力隊派遣状況	103
ア 年度別派遣者数	103
イ 国別・地域別派遣者数	103
ウ 青年海外協力隊派遣状況（佐賀県出身者）	104
⑤ シニア海外ボランティア派遣状況	104
⑥ 日系社会青年ボランティア派遣状況	104
⑦ 日系社会シニア・ボランティア派遣状況	104
⑧ アセアン青年等受入状況	105
Ⅲ 国際交流関係諸機関	106
1. 市町国際交流担当課（室）	107
2. 佐賀県庁の機関	107
3. その他関係機関	107

I 国際化の現況

1. 現況

(1) 海外渡航者の状況

佐賀県の出国者数は平成12年の76,297人をピークに減少傾向であったが、平成21年以降は増加傾向に転じている。平成24年は、全国的にも日本人出国者数は過去最高の約1849,000人で、前年に比べ約8.9%増加した。佐賀県では、平成24年は69,039人と前年度に比べ8,670人の増加となった。

旅券発給件数は、これまで概ね2万件前後で推移してきたものの、平成25年は不安定な国際情勢や円安の影響のほか、発給件数が前年比約4割減だった平成15年に10年用・5年用旅券を取得した人の切替件数が少なかったことにより、16,471件と前年に比べ5,754人の減少（前年比約26%減）となった。

① 日本人出国者数の推移

年次	佐賀県		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
元	38,599	112.2	9,662,752	114.7
2	41,971	108.7	10,997,431	113.8
3	41,301	98.4	10,633,771	96.7
4	47,883	115.9	11,790,699	110.9
5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
23	60,369	103.4	16,994,200	102.1
24	69,039	114.3	18,490,000	108.9

② 外国人入国者数の推移

年次	人数(人)	前年比%
元	3,063,495	123.1
2	3,504,470	114.4
3	3,855,952	110.0
4	3,926,347	101.8
5	3,747,157	95.4
6	3,831,367	102.2
7	3,732,450	97.4
8	4,244,529	113.7
9	4,669,514	110.0
10	4,556,845	97.6
11	4,901,317	107.6
12	5,272,317	107.6
13	5,286,310	100.3
14	5,771,975	109.2
15	5,727,240	99.2
16	6,756,830	118.0
17	7,450,103	110.3
18	8,107,963	108.8
19	9,152,186	112.9
20	9,146,108	99.9
21	7,581,330	82.9
22	9,443,696	124.6
23	7,135,407	75.6
24	9,170,000	128.5

法務省入国管理局

③ 年次別旅券発給件数

年次	18	19	20	21	22	23	24	25
佐賀県 発給数	20,970	20,132	17,861	19,949	20,050	20,239	22,225	16,471
全国 発給数	4,302,191	4,209,097	3,801,385	4,015,470	4,185,470	4,185,080	3,924,008	3,296,810

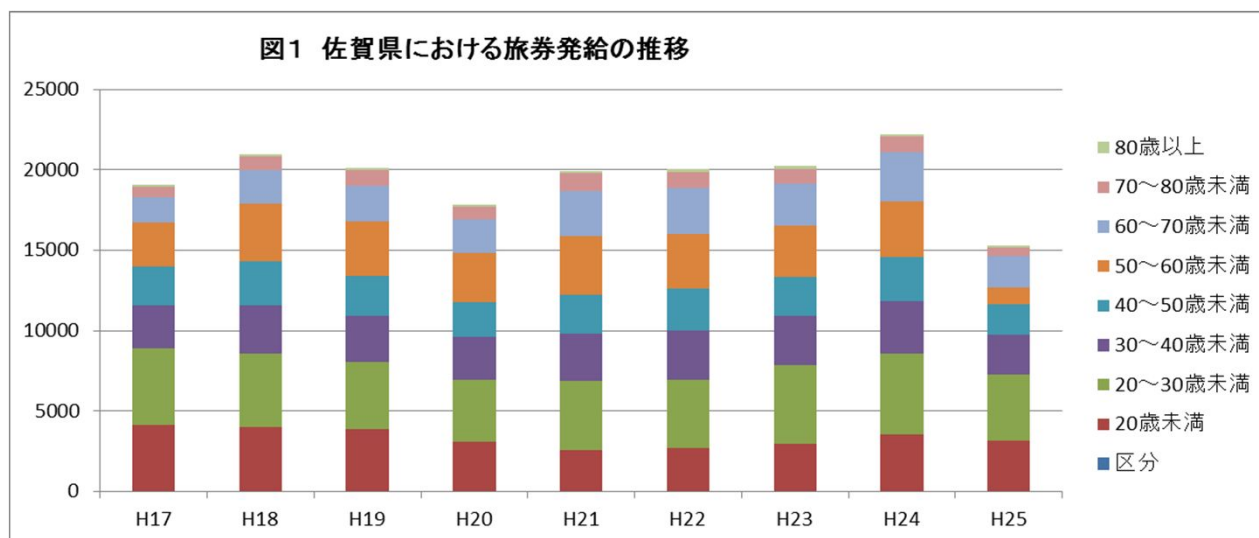
国際戦略グループ（旅券）

④ 佐賀県の男女別・年齢別発給件数

区分		18	19	20	21	22	23	24	25
20歳未満	男	1,796	1,785	1,456	1,166	1,232	1,287	1,515	1,421
	女	2,176	2,064	1,639	1,382	1,463	1,694	2,031	1,722
	小計	3,972	3,849	3,095	2,548	2,695	2,981	3,546	3,143
20～30歳未満	男	1,928	1,790	1,593	1,658	1,650	1,815	1,968	1,801
	女	2,635	2,435	2,253	2,651	2,563	3,037	3,043	2,311
	小計	4,563	4,225	3,846	4,309	4,213	4,852	5,011	4,112
30～40歳未満	男	1,575	1,482	1,460	1,507	1,629	1,602	1,720	1,333
	女	1,453	1,390	1,242	1,455	1,462	1,473	1,566	1,180
	小計	3,028	2,872	2,702	2,962	3,091	3,075	3,286	2,513
40～50歳未満	男	1,466	1,345	1,187	1,264	1,389	1,293	1,457	1,014
	女	1,272	1,113	954	1,168	1,223	1,128	1,247	875
	小計	2,738	2,458	2,141	2,432	2,612	2,421	2,704	1,889
50～60歳未満	男	1,921	1,791	1,650	1,823	1,696	1,549	1,661	1,087
	女	1,717	1,626	1,423	1,811	1,719	1,649	1,837	1,118
	小計	3,638	3,417	3,073	3,634	3,415	3,198	3,498	1,030
60～70歳未満	男	1,018	1,130	1,077	1,436	1,520	1,329	1,534	1,030
	女	1,045	1,098	1,007	1,384	1,344	1,320	1,527	900
	小計	2,063	2,228	2,084	2,820	2,864	2,649	3,061	1,930
70～80歳未満	男	405	456	423	513	502	436	453	275
	女	413	478	370	573	505	457	501	293
	小計	818	934	793	1,086	1,007	893	954	568
80歳以上	男	68	76	54	74	65	69	75	48
	女	82	73	73	84	88	101	90	63
	小計	150	149	127	158	153	170	165	111
男		10,177	9,855	8,900	9,441	9,683	9,380	10,383	8,009
女		10,793	10,277	8,961	10,508	10,367	10,859	11,842	8,462
合計		20,970	20,132	17,861	19,949	20,050	20,239	22,225	16,471

国際交流課調

図1 佐賀県における旅券発給の推移



(2) 在留外国人数の状況

佐賀県における在留外国人数は、平成25年（2013年）12月末現在4,228人で、前年同期に比べると40人の減少となっており、佐賀県の総人口839,171人（2013年1月1日現在）に対する構成比は約0.5%となっている。

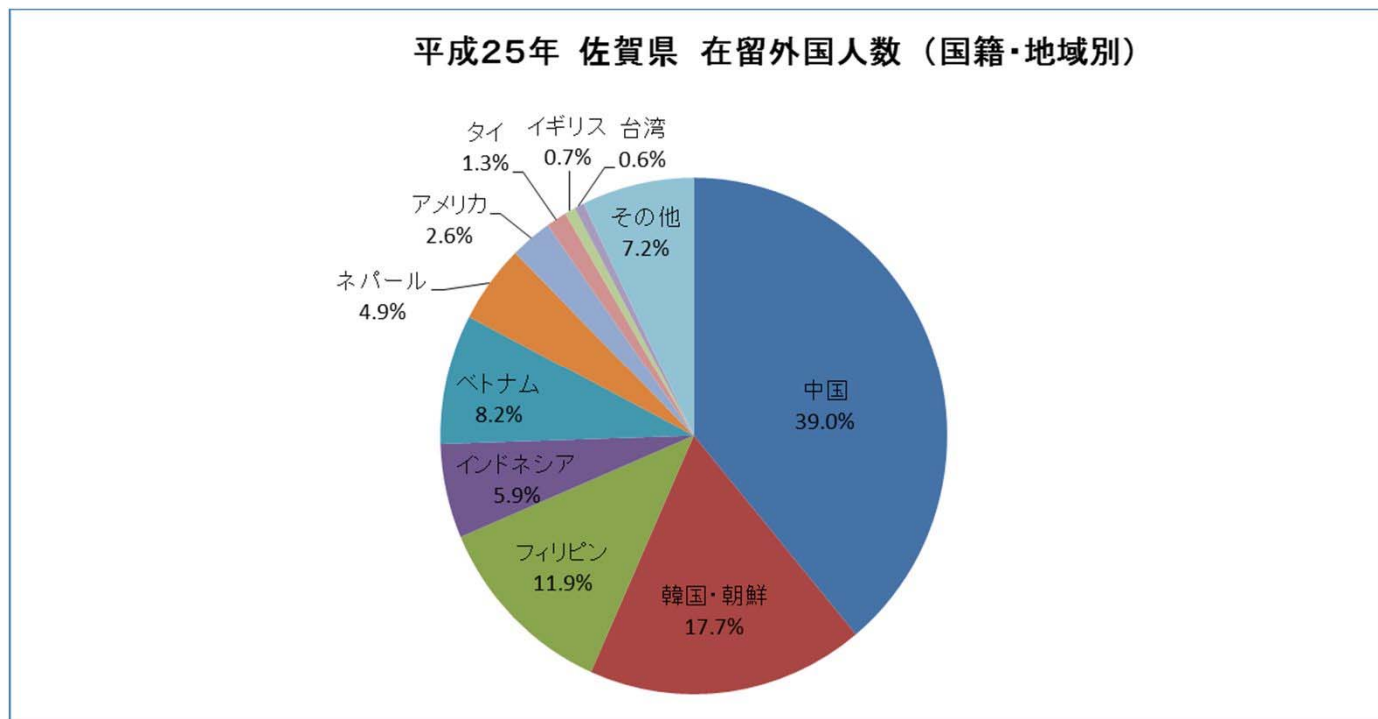
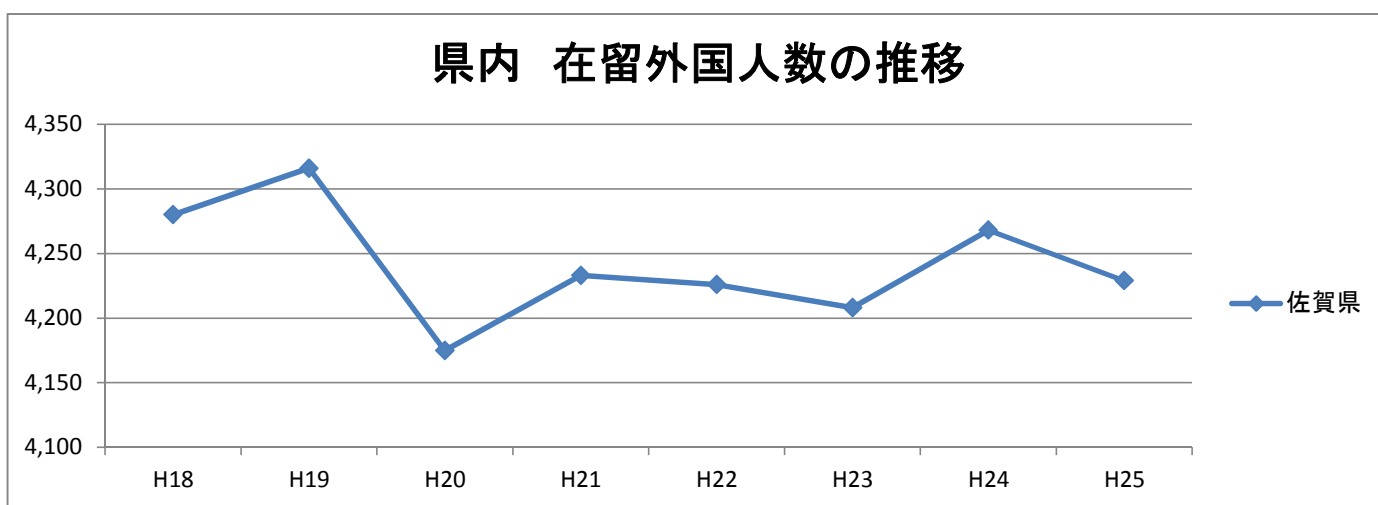
外国人登録者の国籍数は67となっており、国籍別内訳を見ると、中国が1,647人（約39.0%）と最も多く、次いで韓国・朝鮮748人（約17.7%）、フィリピン505人（約11.9%）、ベトナム345人（約8.2%）、ネパール208人（約4.9%）の順となっている。

在留資格別で見ると、「永住者」が908人（約22%）と最も多く、次いで「技能実習2号ロ」の662人（約15.7%）、「留学」の593人（約14.0%）、「特別永住者」の557人（約13.2%）、の順となっている。

① 年次別在留外国人数の推移

各年12月末現在

年次	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
佐賀県	4,280	4,316	4,175	4,233	4,226	4,208	4,268	4,229
全国	2,084,919	2,152,973	2,217,426	2,186,121	2,134,151	2,078,508	2,033,656	



※平成23年までは「外国人登録者数」として統計を作成。

平成25年12月現在

在留外国人数（在留資格別）

平成25年12月末現在

区 分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計	区 分	
総 計	1,294	521	839	69	341	132	116	121	136	61	88	65	28	117	4	78	21	49	113	36	4,229	総 計	
教 授	22	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	教 授
芸 術	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	芸 術
宗 教	1	1	0	0	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	宗 教
投資・経営	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	投資・経営
医 療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	医 療
研 究	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	研 究
教 育	24	14	6	2	1	5	4	0	1	0	1	0	0	2	1	1	1	1	2	0	0	66	教 育
技 術	10	0	1	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	18	技 術
人文知識・国際業務	53	8	29	1	6	2	0	3	6	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	113	人文知識・国際業務
企業内転勤	5	2	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	企業内転勤
興 行	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	興 行
技 能	30	3	23	1	0	2	4	1	0	0	6	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	78	技 能
文化活動	14	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	文化活動
留 学	272	1	294	0	1	1	1	1	0	1	0	17	0	1	0	3	0	0	0	0	0	593	留 学
就 学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	就 学
研 修	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	研 修
家族滞在	146	14	57	8	4	5	6	6	4	0	8	2	0	1	0	1	1	2	1	0	0	266	家族滞在
特定活動	3	3	2	2	0	0	11	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	特定活動
永 住 者	309	104	142	18	41	38	15	41	25	32	23	12	16	39	2	15	6	4	20	6	0	908	永 住 者
日本人の配偶者等	76	24	29	4	13	10	8	15	11	8	3	4	1	10	0	9	2	1	10	0	0	238	日本人の配偶者等
永住者の配偶者等	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	永住者の配偶者等
定 住 者	40	3	14	1	14	5	4	9	0	0	2	5	0	1	0	1	0	0	2	0	0	101	定 住 者
特別永住者	190	61	81	13	49	15	9	22	37	4	8	11	4	10	1	18	7	3	12	2	0	557	特別永住者
技能実習1号イ	0	6	37	0	0	13	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	技能実習1号イ
技能実習1号ロ	36	103	48	8	51	19	13	10	22	6	6	5	6	17	0	15	3	14	31	8	0	421	技能実習1号ロ
技能実習2号イ	0	16	5	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	技能実習2号イ
技能実習2号ロ	55	156	58	9	149	9	39	10	30	6	23	3	0	25	0	12	0	24	34	20	0	662	技能実習2号ロ
その他（未取得等）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	その他（未取得等）

※『その他』は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者。

※平成24年7月に出入国管理及び難民認定法等が改正されて、新しい在留管理制度が導入されたことに伴い、「外国人登録法」が廃止されました。

これにより、外国人も住民基本台帳法の対象となったことから、住民基本台帳上の外国人数を集計しています。

住民基本台帳上の外国人数は従来の「外国人登録者数」と制度上対象が一部異なりますので、平成23年以前のデータと単純に比較することはできません。

(3) 外国人留学生の受入状況

佐賀県における外国人留学生数は、平成19年をピークに年々少しずつ減少してきており、平成24年は287人と前年に比べ12人の減少となっている。

受入れ状況を学校別で見ると、佐賀大学が261人と全体の約91%を占めており、次いで佐賀女子短期大学の17人となっている。国籍別で見ると、中国の142人、韓国31人、マレーシア24人、インドネシア22人、の順となっている。

① 外国人留学生数の推移

(平成25年5月現在)

年次	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
県内大学	361	350	328	333	317	299	287
全 国	118,498	123,829	132,720	141,774	138,075	137,756	135,519

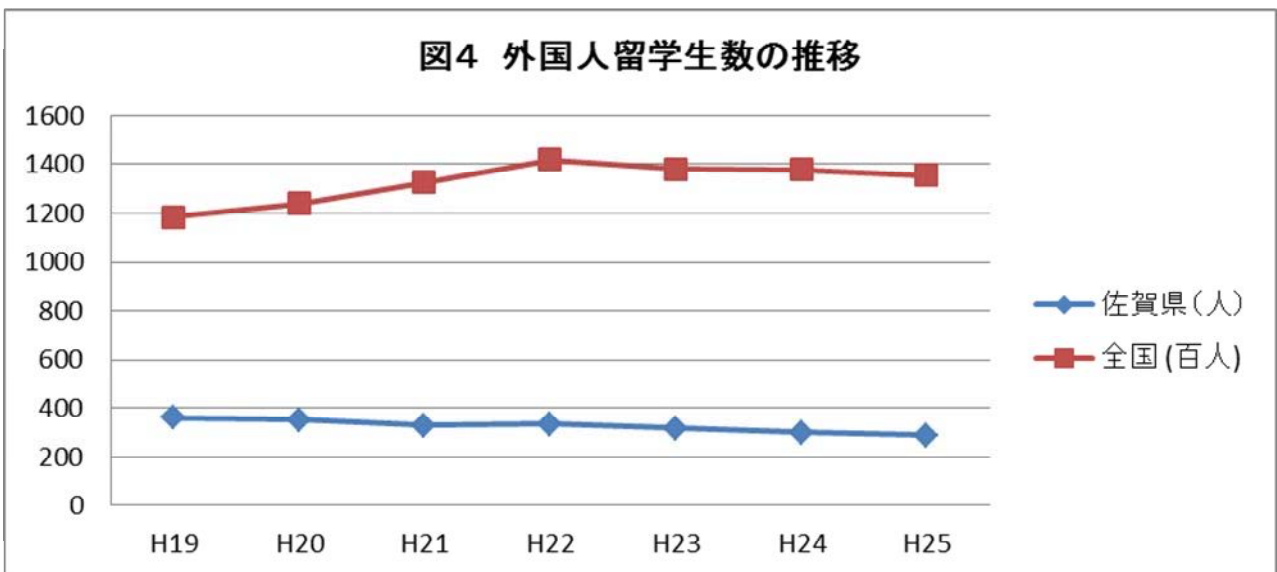
国際経済・交流課調

② 県内外国人留学生の受入状況

(平成25年5月現在)

	中 国	韓 国	マレーシア	スリランカ	バングラ デシュ	タ イ	インドネシア	台 湾	その他	計
佐賀大学	136	16	24	7	11	11	22	8	26	261
西九州大学	1	4				3				8
九州龍谷短期大学						1				1
佐賀女子短期大学	5	11							1	17
西九州大学短期大学部										
合 計	142	31	24	7	11	15	22	8	26	287

*参考：日本語教育機関に在籍する外国人留学生は上記に含まれない。



(4) 経済交流の状況

平成24年の本県の貿易合計額については、輸出入合計では、2,636億円（対前年比93.0%、200億円減）となった。

輸出については、金属加工製品（117億円減）及び石油・ゴム製品（84億円減）の減少により輸出総額は2,273億円（同92.5%、185億円減）となった。

輸入については、農水産物（26億円増）は増加したものの、飲食料品（20億円減）、衣料品その他（20億円減）などの減少により輸入総額は363億円（同96.0%、15億円減）となった。

貿易相手国・地域については、輸出での上位3か国はアメリカ、韓国、リベリアとなっており、これらの国で輸出額全体の46.7%を占めている。

輸入での上位3か国は、カナダ、中国、アメリカとなっており、これらの国が輸入額全体の59.4%を占めている状況であった。

① 佐賀県貿易額の推移

ア 輸出入額

（単位：億円、%）

年次	輸 出		輸 入		合 計	
	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比
11	2,046		528		2,574	
12	2,198	107.4	568	107.6	2,766	107.5
13	1,845	83.9	556	97.9	2,401	86.8
14	1,885	102.2	624	112.2	2,509	104.5
15	2,188	116.1	655	105.0	2,843	113.3
16	2,328	106.4	673	102.7	3,001	105.6
17	2,732	117.4	606	90.0	3,337	111.2
18	3,247	118.9	689	113.7	3,936	118.0
19	3,457	106.5	706	102.5	4,163	105.8
20	3,148	91.1	529	74.9	3,677	88.3
21	2,206	70.1	352	66.5	2,558	69.6
22	2,744	124.4	341	96.9	3,086	120.6
23	2,457	89.5	378	110.9	2,836	91.9
24	2,273	92.5	363	96.0	2,636	93.0

（注）小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

イ 品目別輸出額

年次 品目別	20		21		22		23		24	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比
農水産物・飲食料品	5.4	0.2	1.7	0.1	2.5	0.1	2.7	0.1	1.9	0.1
調味料	58.1	1.8	59.7	2.7	76.7	2.8	77.1	3.1	71.4	3.1
木竹材・紙製品	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0
化学・医薬品	1.8	0.1	2.0	0.1	1.9	0.1	1.2	0.0	1.7	0.1
石油・ゴム製品	550.5	17.5	355.0	16.1	441.5	16.1	475.3	19.3	391.2	17.2
一般陶磁器	0.5	0.0	0.4	0.0	0.6	0.0	0.5	0.0	0.3	0.0
工業用陶磁器	9.0	0.3	4.2	0.2	6.1	0.2	6.6	0.3	4.6	0.2
金属加工品	1,523.7	48.4	694.8	31.5	972.6	35.4	940.6	38.3	823.6	36.2
電気・電子機器	196.8	6.3	245.4	11.1	307.9	11.2	286.3	11.7	289.7	12.7
一般機器	77.4	2.5	71.8	3.3	56.6	2.1	93.1	3.8	106.7	4.7
船舶	708.0	22.5	748.7	33.9	862.7	31.4	562.5	22.9	565.4	24.9
その他	16.5	0.5	21.8	1.0	15.1	0.6	11.1	0.5	16.1	0.7
合計	3,148.0	100.0	2,205.7	100.0	2,744.3	100.0	2,457.3	100.0	2,272.9	100.0

ウ 地域別輸出額

年次 仕向地別	20		21		22		23		24	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比
北米	446.5	14.2	262.3	11.9	412.6	15.0	454.0	18.5	397.8	17.5
西欧	614.1	19.5	497.3	22.5	369.6	13.5	380.9	15.5	301.2	13.2
オセアニア	24.0	0.8	72.3	3.3	24.0	0.9	23.8	1.0	30.6	1.3
アジア	1,447.5	46.0	858.3	38.9	1,151.0	41.9	1,022.4	41.6	1,038.6	45.7
中近東	32.6	1.0	42.7	1.9	44.8	1.6	42.6	1.7	42.8	1.9
アフリカ	56.3	1.8	12.1	0.5	19.9	0.7	141.8	5.8	317.9	14.0
中南米	521.9	16.6	457.4	20.7	714.5	26.0	372.0	15.1	120.4	5.3
ロシア・東欧諸国他	5.1	0.2	3.5	0.2	7.9	0.3	19.6	0.8	23.7	1.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
県計	3,148.0	100.0	2,205.9	100.0	2,744.3	100.0	2,457.3	100.0	2,273.0	100.0

エ 品目別輸入額

(単位：億円、%)

年次 品目別	20		21		22		23		24	
	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸出額	構成比
農水産物	224.4	42.4	159.5	45.2	155.0	45.4	168.2	44.5	194.4	53.5
飲食料品	27.5	5.2	23.4	6.6	33.1	9.7	37.1	9.8	16.7	4.6
石材	0.1	0.0	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.5	0.1
木竹材	2.7	0.5	14.6	4.1	4.3	1.3	4.5	1.2	3.0	0.8
衣料品・その他	11.5	2.2	14.6	4.1	15.8	4.6	30.6	8.1	10.7	3.0
化学・医薬品	106.8	20.2	34.6	9.8	31.2	9.1	47.3	12.5	30.2	8.3
金属加工製品	64.0	12.1	50.5	14.3	51.5	15.1	39.7	10.5	43.4	12.0
電気・電子機器	32.3	6.1	25.3	7.2	21.6	6.3	24.9	6.6	25.4	7.0
一般機械	37.4	7.1	6.1	1.7	6.7	2.0	6.7	1.8	18.5	5.1
玩具・レジャー用品	0.2	0.0	0.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
家具・調度品	11.4	2.2	13.8	3.9	12.8	3.7	8.8	2.3	7.2	2.0
雑貨・その他	11.0	2.1	8.9	2.5	8.9	2.6	9.9	2.6	12.9	3.5
合計	529.3	100.0	352.5	100.0	341.4	100.0	378.3	100.0	363.0	100.0

オ 地域別輸入額

(単位：億円、%)

年次 地域別	20		21		22		23		24	
	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比
北米	183.0	34.6	103.7	29.4	127.8	37.4	121.3	32.1	133.3	36.7
西欧	17.5	3.3	10.7	3.0	16.8	4.9	21.8	5.8	8.1	2.2
オセアニア	15.1	2.9	13.3	3.8	12.3	3.6	5.7	1.5	11.9	3.3
アジア	269.3	50.9	172.8	49.0	132.3	38.8	153.8	40.7	163.2	45.0
中近東	1.0	0.2	1.5	0.4	0.4	0.1	0.6	0.2	0.2	0.1
アフリカ	0.7	0.1	1.2	0.3	1.0	0.3	0.9	0.2	0.8	0.2
中南米	42.6	8.0	49.3	14.0	50.7	14.9	74.1	19.6	45.5	12.5
ロシア・東欧諸国他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県計	529.2	100.0	352.5	100.0	341.3	100.0	378.3	100.0	36.3	100.0

(平成24年佐賀県貿易白書)

図5 平成24年度 佐賀県地域別輸出額

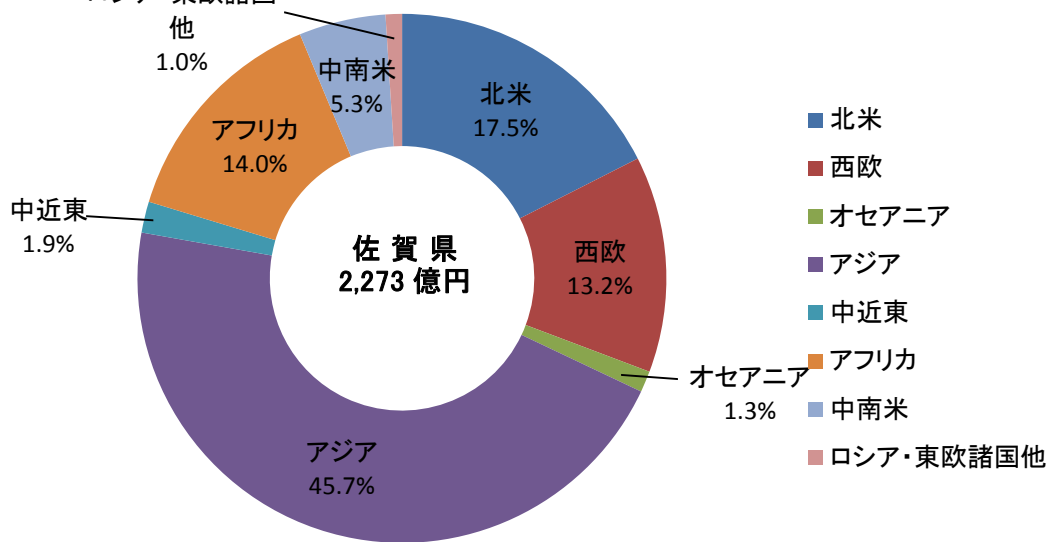
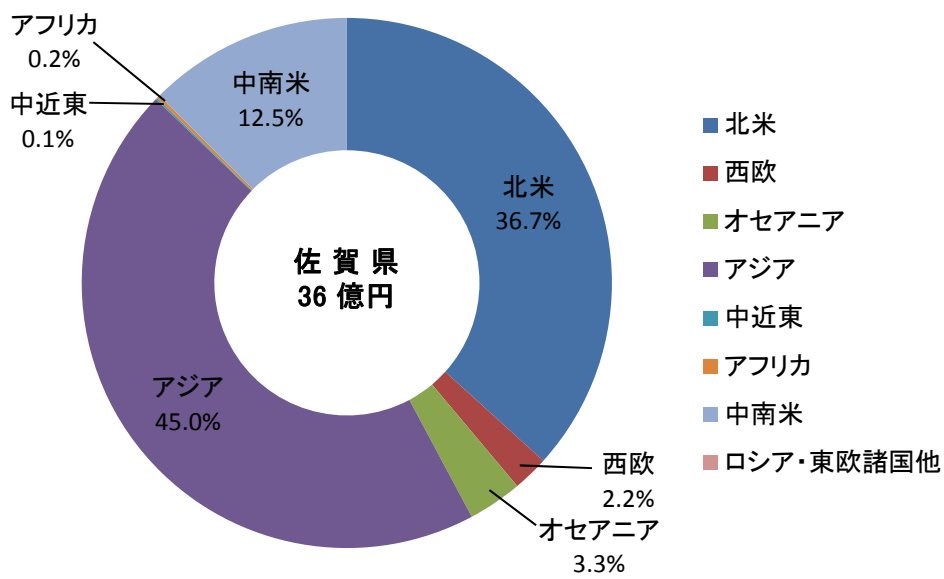


図6 平成24年度 佐賀県地域別輸入額



佐賀県国際戦略 「世界とつながる佐賀県行動計画」

《概要説明資料》

2011年6月

佐賀県 国際戦略グループ

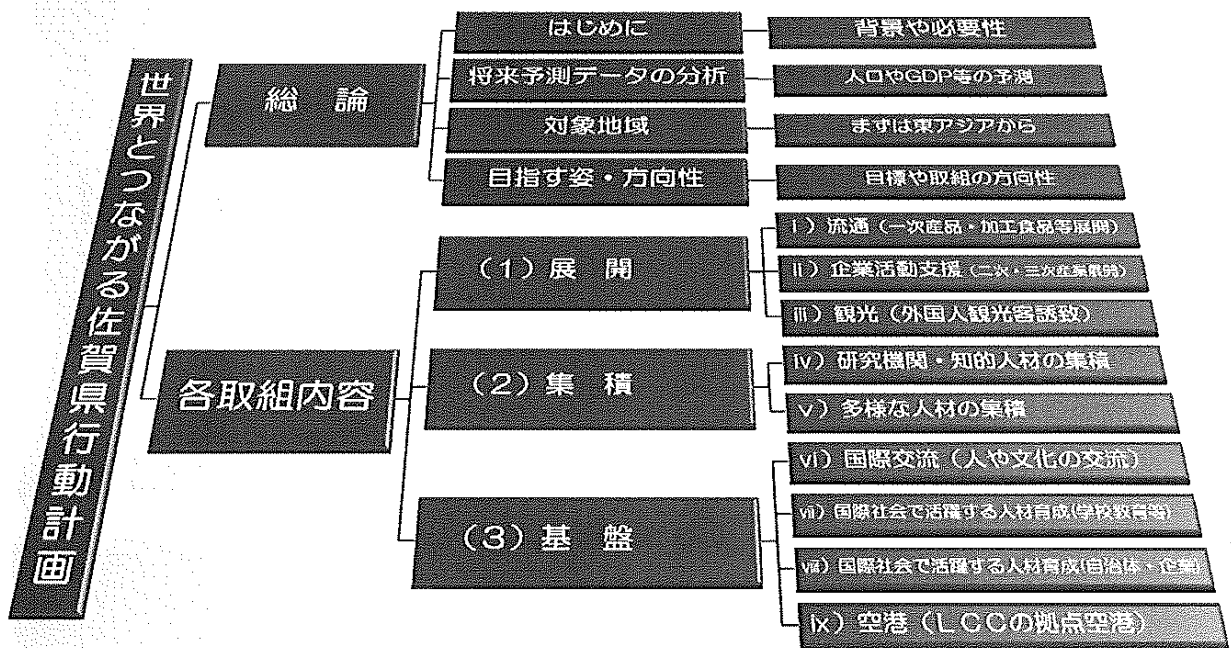
1

1. 「世界とつながる佐賀県行動計画」の概要

項目	内容
策定趣旨	今後の国内市場の縮小、新興国の急速な経済成長等を踏まえ、将来、佐賀県が世界から必要とされる地域となっていくために、今から取り組んでいくことを取りまとめたもの
内容	海外における県産品の販路開拓や、企業活動の支援、外国人観光客の誘致、国際線の誘致促進などといった各分野の取組とあわせて、これらを支える人材育成なども視野に入れた国際社会に対応するための計画
位置づけ	今後3年間の全庁的な取組
期間	3年間
対象地域	まずは中国をはじめとする東アジアを主たるターゲット
目指す姿	「次の世代が希望にあふれ、世界に必要とされる佐賀」
方向性	①展開…佐賀県の価値が世界に認められている ②集積…世界に通じる知恵が、佐賀県に集積している ③基盤…グローバルな人材が豊富で、世界とつながる県となっている

2

2. 「世界とつながる佐賀県行動計画」の全体構成



3

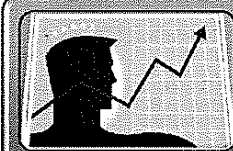
3. 「総論」の構成・内容



(1) なぜ今、本計画が必要なのか？

- ・人口減少による国内市場縮小
- ・新興国をはじめとする諸外国の急速な経済成長
- ・グローバル化の進展、日々変化する国際情勢

将来に向けた佐賀県の発展のためには、国外にも目を向けた取組が必要！



(2) 将来予測データの分析と対応視点は？

- ・日本人口はすでに減少傾向、生産年齢人口も急激に減少
- ・中国人口は2030年頃まで増加、インドは2035年頃に中国超え
- ・中国GDPは、2020年頃に日本の2倍に

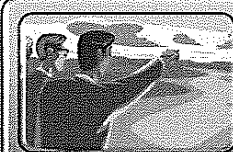
中国やインドなどアジアの国々が、「世界の市場」として台頭！



(3) どの地域をターゲットにするのか？

- ・将来的な展望は、先進諸国やBRICsなど世界各地が対象
- ・東アジア、特に中国が飛躍的に成長、存在感と影響力が増大
- ・中国など東アジアの国々との地理的な近さ

まずは中国を中心とする東アジアを主たるターゲットに位置づけ！



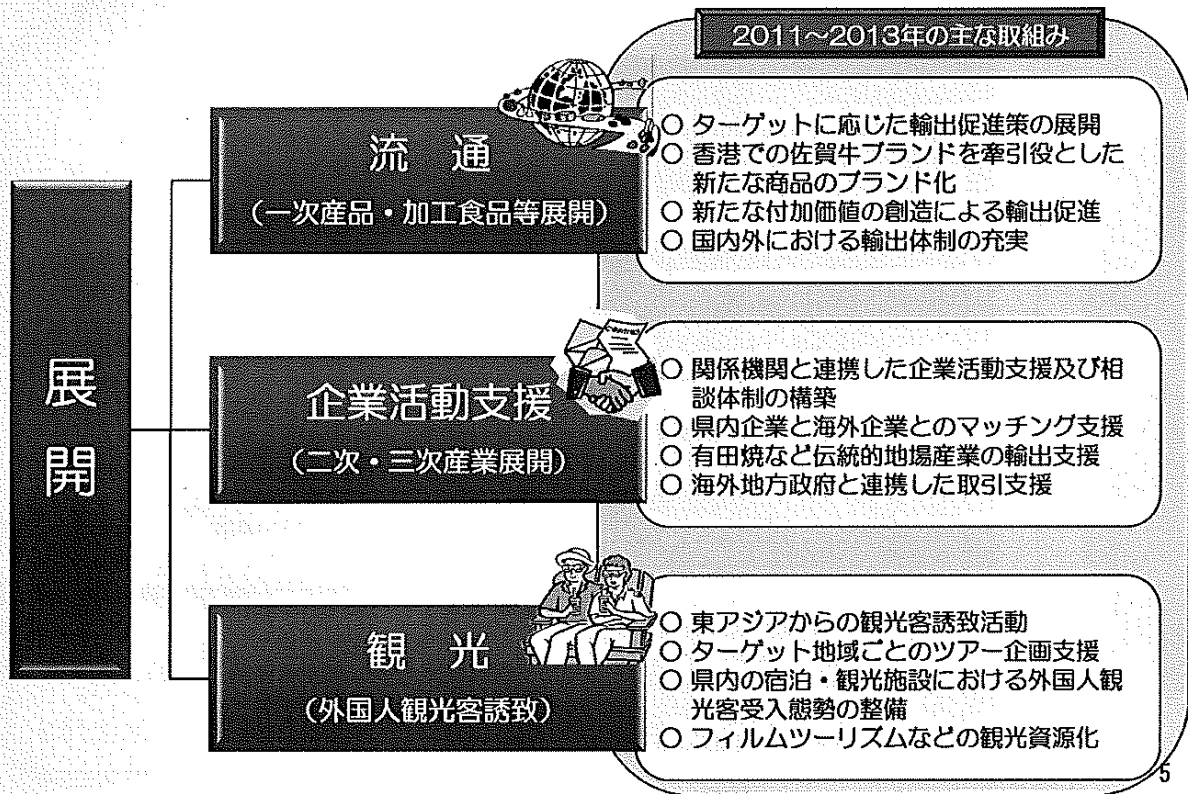
(4) 目標や取組の方向性は？

- ・経済的な豊かさに加え、精神的な豊かさや心のゆとりも
- ・グローバル化した世界の中で、佐賀が必要とされる地域に
- ・変わりゆく国際情勢に柔軟に対応するための実践的な取組

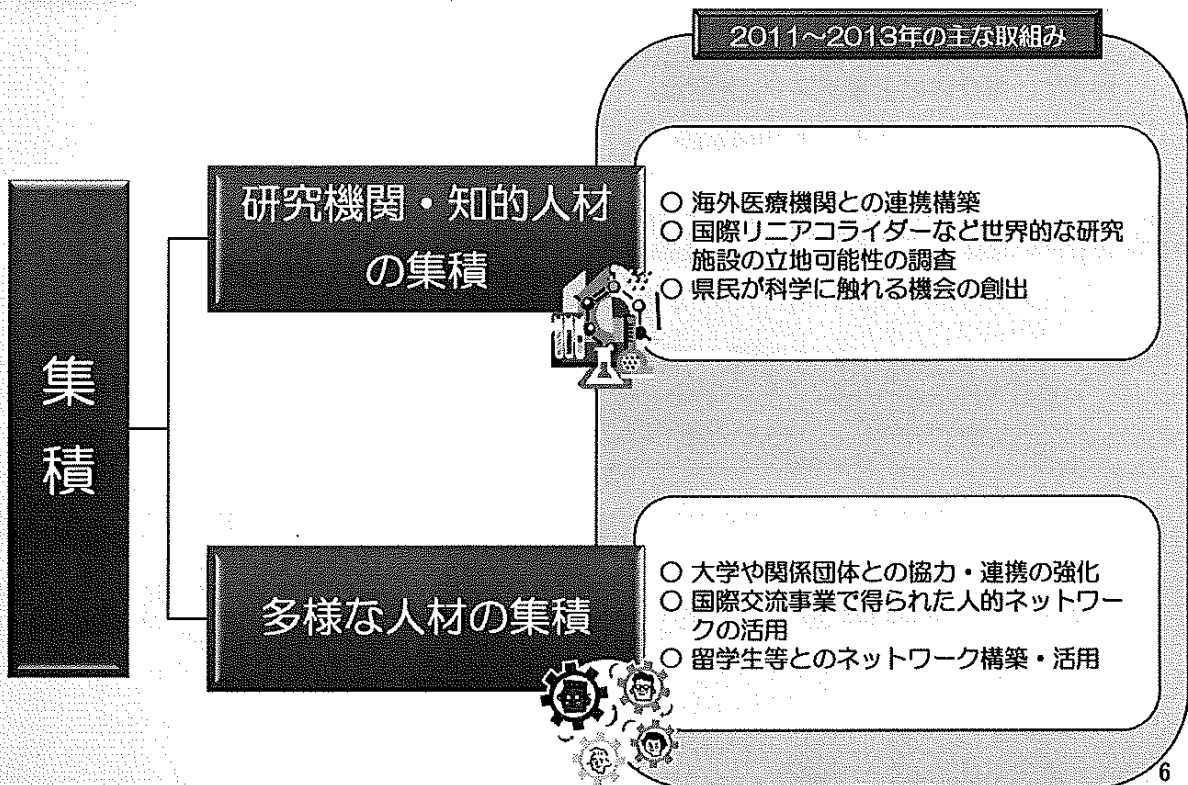
「次の世代が希望にあふれ、世界に必要とされる佐賀」を目指して！

4

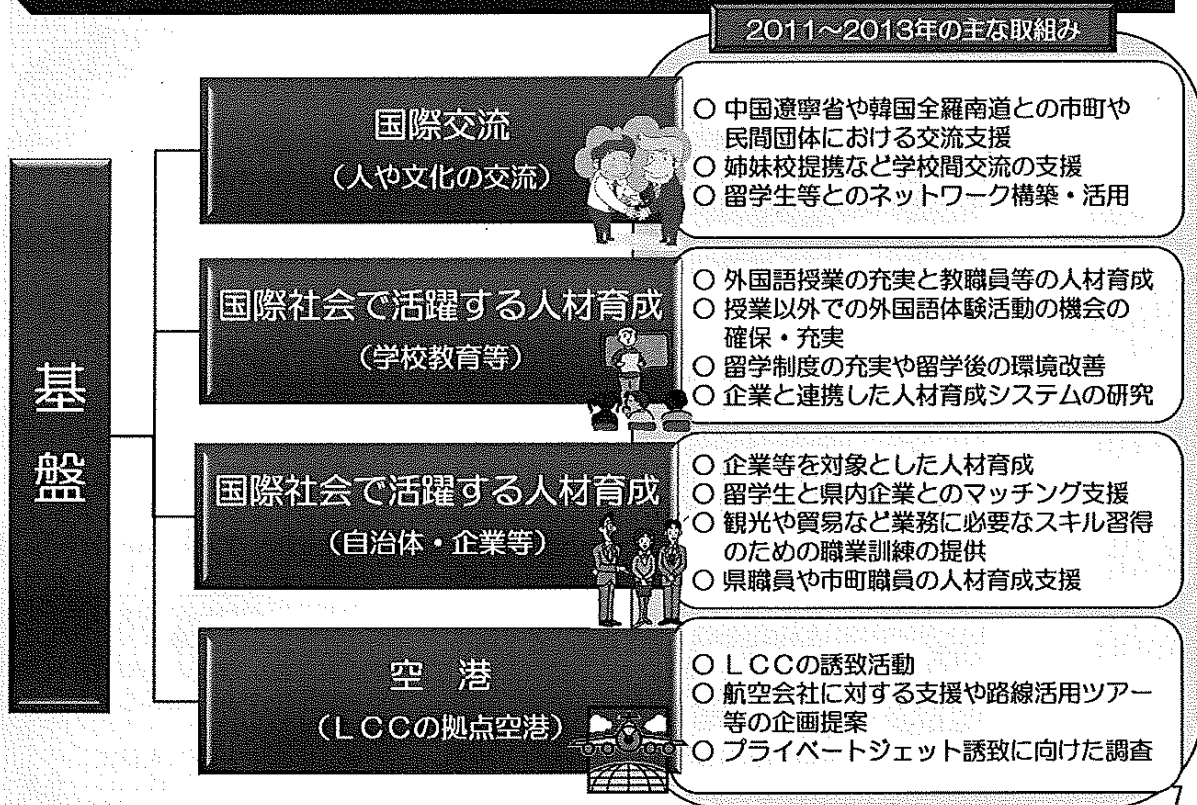
4-(1). 各取組分野の内容「① 展開」



4-(2). 各取組分野の内容「② 集積」



4-(3). 各取組分野の内容「③ 基盤」



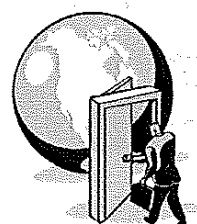
空港
(LCCの拠点空港)

5. 海外拠点の整備

本計画を最前線で取り組むための拠点として、海外事務所（瀋陽・香港）を設置。加えて、県庁内に上海デスク※を配置。

(※上海デスクは県庁内に置き、専任職員を配置)

	瀋陽代表事務所	香港代表事務所	(上海デスク)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の影響力が大きい中国において、遼寧省政府からの協力が得られやすい。(遼寧省政府が本県の事務所開設を歓迎) ・ 今後の経済発展が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀牛ブランドが浸透しており、販路拡大がしやすい。 ・ 中国市場へのゲートウェイである。 ・ フリーポートであり、検疫等の貿易障壁が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国最大の経済都市である。 ・ 九州からの飛行時間は、1時間30分で、便数も多く、時間距離が近いいため、出張ベースで活動が可能。



【香港代表事務所】

【瀋陽代表事務所】

(上海デスク)

(上海)

2. 国際化推進事業概要

(1) 佐賀県の事業（平成 25 年度）

課名	事業名	内 容
国際交流課	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により国際交流員 3 名（英語圏 1 名、韓国 1 名、中国 1 名）を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。
	JICA ボランティア支援事業	佐賀県出身 JICA ボランティアの活動報告「とびだそう！世界へ」を佐賀県ホームページに掲載し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。また、派遣中の隊員へ佐賀県情報等を送付し活動を支援した。
	世界とつながる佐賀県青少年国際交流推進事業	佐賀県が持つ中国・韓国のネットワークを活用して、重点交流地域での姉妹校を目指した学校交流を支援した。 交流実施校：9校 参加生徒：108名
	自治体職員協力交流業	本県と友好関係のある国・地域（中国貴州省及び韓国全羅南道）との交流を促進するため、職員の派遣・受入を行った。 ・佐賀県職員を中国（貴州省）に派遣：1名（H24.4～H25.3） ・佐賀県職員を韓国（全羅南道）に派遣：1名（H25.4～H26.3）
	日海峡沿岸交流事業	九州北部三県（福岡佐賀、長崎）・山口県及び韓国南岸一市三道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との広域的かつ多様な交流を目指し、日韓海峡沿岸知事交流会議及び共同交流事業を実施した。 ・日韓海峡沿岸知事交流会議（H25.11.18～11.19 福岡県）
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 支援金受給者：13名 支援者：4団体、4企業、3個人
	順天湾国際庭園博覧会への出展	平成 23 年 1 月に佐賀県が韓国・全羅南道と友好交流協定を締結したことを記念して、2013 年に全羅南道順天（スンチョン）市で開催された「順天湾国際庭園博覧会」へ佐賀県らしさを盛り込んだ日本庭園（佐賀県庭園）を出展。 SAGA ジャパンデー開催（8月17日） 佐賀県青少年全羅南道訪問団（県内中高生 30 名）派遣

課名	事業名	内 容
	2013 青少年文化フォーラム (日韓海峡沿岸交流事業)	<p>日韓海峡沿岸8県市道※の次世代を担う中学生が、発表と対話を通じて互いの地域を理解し、交流を促進することを目的とし、韓国・全羅南道内において実施された青少年文化フォーラムに参加。</p> <p>※日韓海峡沿岸県市道 日本側：佐賀県、福岡県、長崎県、山口県 韓国側：釜山広域市、慶尚南道、全羅南道、済州特別自治道 期 間：7/30(火)～8/2(金) (3泊4日) 場 所：韓国・全羅南道 参加者：日韓の中学生 80名</p>
	中国交流推進事業	<p>県の重点交流地域(遼寧省、貴州省、上海市)とのスポーツ、青少年の分野等における交流事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さが桜マラソン選手団受入 ・青少年交流事業(重点交流地域からの青少年の招聘・交流)
国際交流課	海外拠点の運営	<p>佐賀県国際戦略「世界とつながる佐賀県行動計画」に基づく各種事業を効果的に展開していくことを目的として、最前線で業務を行う海外拠点(瀋陽代表事務所・香港代表事務所・上海デスク)を運営した。</p> <p><海外拠点における主な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産、観光見本市等への出展 ・現地百貨店等での佐賀県PRイベントの開催 ・中小企業の海外展開支援 ・青少年交流や学校交流など国際交流支援 ・現地関係機関や関係者との関係構築 ・県内からの訪問者に対する現地活動支援
国際交流課	県内企業の国際取引支援	<p>県内企業の国際取引を支援するため、以下の事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「佐賀県貿易白書」の作成 ・貿易投資セミナー及び勉強会等の開催(16回) ・ミャンマー、タイ、カンボジア経済ミッション(H25.10.20～27)
流通課	海外市場における佐賀ブランド確立事業	<ul style="list-style-type: none"> ○海外バイヤー等の招へいによる佐賀県産品PR <ul style="list-style-type: none"> ・招へい国：香港、シンガポール、タイ、台湾、中国 ○見本市などでの試食宣伝活動を通じての佐賀県産品PR <ul style="list-style-type: none"> ・開催国：香港、シンガポール、台湾、中国 ○海外のレストラン、スーパーなどでの県産品プロモーション・販売活動 <ul style="list-style-type: none"> ・実施国：香港、アメリカ、シンガポール、タイ、中国 ○海外の雑誌、チラシ等を利用した佐賀県産品PR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・実施国：香港、シンガポール、中国

課名	事業名	内 容
	九州貿易振興協議会事業	<p>○九州でのバイヤー招聘商談会 日程：鹿児島会場(10月23日)、福岡会場(10月25日) ・招聘バイヤー：シンガポール(3社)、タイ(2社)、マレーシア(2社) ・参加企業：79社(鹿児島会場(25社)、福岡会場(54社))</p> <p>○伊勢丹マレーシア「ジャパンフェア」への出展 日程：平成26年3月28日～4月7日</p> <p>○欧州プロモーション ロンドンJapan Centre を招聘し、鹿児島・熊本・福岡で説明会&プレ商談会を実施。 ・日程：平成26年2月17日～19日 ※鹿児島会場(17日)、熊本会場(18日)、福岡会場(19日) ・参加企業：47社 ※鹿児島会場(10社)、熊本会場(12社)、福岡会場(25社)</p> <p>○タイ国際食品展示会「THAIFEX」への出展 日程：平成26年5月21日～25日 場所：インパクトエキシビジョンセンター(IMPACT)</p>
自治修習所	県職員外国語習得支援	<p>県政に必要とされる外国語能力の高い職員を育成するため、その習得に対する各種自己啓発支援を実施</p> <p>①国際派養成スクール<英・中・韓>(語学教室) (ベーシックコース：24名、アドバンスコース：30名)</p> <p>②自己啓発活動支援事業(英語・中国語、韓国語)(15名)</p> <p>③国際派養成スクール受講者等に対する語学検定助成事業(26名)</p>
	県職員の国際的視野の拡大や識見の底上げ	<p>自治体経営に関連する国際的な問題について知識・情報を習得し、理解を深めるため、以下の研修を実施</p> <p>・国際理解研修 講師：京都造形芸術大学教授 本間 正人 氏、40名参加 (H25.10.31) 講師：シーアイ化成株式会社 理事 北村 博 氏 131名参加 (H26.1.15)</p>

課名	事業名	内 容
	外国人観光客誘致対策事業 (一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	<p>(1) 外国人観光客誘致対策事業</p> <p>《韓国人観光客誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旅行博、商談会等への参加 4件 (ハナツアー博覧会、JAPAN FESTIVAL IN KOREA 等) ○ 観光説明会、商談会の開催 2件 (ソウル、釜山) ○ セールスプロモーション 14回 (ソウル、釜山及び光州の旅行会社等) ○ 旅行会社やメディアの招聘 31件 (ソウル及び釜山の旅行会社やメディア等) ○ 視察団体の受入れ 13件 (農業視察、企業視察、教育関係視察等) ○ 韓国語版ホームページ及び facebook の運営 ○ 佐賀逸品 (一品) キャンペーン ○ メディアミックスプロモーション (新聞、ネット等による情報発信) <p>《中国人観光客誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旅行博、商談会等への参加 8件 (上海世界旅遊資源博覧会、中国 (広東) 国際旅遊産業博覧会等) ○ セールスプロモーション 17回 (上海及び広州等の旅行会社等) ○ 旅行会社やメディアの招聘 16件 (上海及び広州等の旅行会社やメディア等) ○ 視察団体の受入れ 1件 (教育関係視察) ○ 修学旅行受入れ 1校 (中国深圳清華実験学校) ○ 簡体字版ホームページ及び微博 (ウェイボー) の運営 ○ 佐賀逸品 (一品) キャンペーン <p>《台湾人観光客誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐賀県観光商談会の開催 (台北) ○ セールスプロモーション 5回 (台北市、台中市の旅行会社等) ○ 修学旅行受入れ 1校 (台湾国立豊原高級商業高校) ○ 繁体字版ホームページの運営 <p>《東南アジア地域観光客誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 映画「タイムライン」試写会及び佐賀県観光セミナーの開催 (タイ) ○ セールスプロモーション 3回 (タイ、シンガポール) ○ メディアの招聘 1件 (タイの雑誌社) <p>《欧州地域観光客誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 九州観光プロモーションに参加 (イギリス、フランス) ○ 旅行会社の招聘 1件 (イギリスの旅行会社)

課名	事業名	内 容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 (一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	<p>(2) 受入環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光客受入観光整備支援事業 スマートフォンやタブレット等の急速な普及に伴い、ニーズが高まっている宿泊施設のWi-Fi化を進めた。(県内宿泊施設49施設) ○ 国際会議開催経費補助 国際会議等のコンベンション開催経費の一部を助成することにより、コンベンションの誘致を促進した。(1件)
観光課	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	<p>(3) 日韓海峡沿岸広域観光協議会事業</p> <p>北部九州三県及び山口県と韓国一市三道で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第20回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興及びクルーズ商品の開発を目指し、クルーズ・ SHIPPING・アジア・パシフィック出展、及びクルーズ・キーパーソン招請事業を日韓共同で実施した。また、地域の伝統文化や自然環境を基盤とした観光商品の開発につなげるため、スローツーリズム推進事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日韓海峡沿岸広域観光交流会議 実務担当者会議 4月23日 佐賀県 唐津市 課長会議 6月4日 韓国 済州特別自治道 ○ クルーズ・SHIPPING・アジア・パシフィック出展 事業内容：日韓共同広報ブースを設営し、広報物の配付、各構成県の港、観光地等のPRを行った。 開催時期：10月8日～10月10日 場 所：シンガポール マリナベイサンズ ○ クルーズ・キーパーソン招請事業 事業内容：日韓海峡クルーズ商品化促進のため、クルーズ船社、主要旅行社などキーパーソンを招待し、ファミツアーを実施 開催時期：11月25日～11月30日 場 所：日本側構成県 4県 ○ スローツーリズム推進事業 事業内容：地域固有の資源を観光に活かすため、日韓両国から専門分野の講師陣等を招請し、スローツーリズムシンポジウムを開催 開催時期：11月14日～11月15日 場 所：佐賀県 鹿島市

課名	事業名	内容
男女 参画 ・ 県民 協働 課	県民グループ 派遣・招へい支 援事業（県立男 女共同参画セ ンター）	<p>男女共同参画の推進に必要な知識を深め、リーダーとしての資質を高めるための海外の研修、会議等への参加、または海外民間グループの先進活動事例の調査・海外民間グループとの交流を行う、県内民間グループに対して助成を行った。</p> <p>助成グループ：1グループ（調査国：オランダ）</p>
こども も 未 来 課	教育 改革 推進 特別 経費 補助 事業	<p>私立中学校・高等学校における英語教育の強化や国際交流の推進に必要な経費に対する補助を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人英語指導助手の配置 ・外国人留学生の受け入れ など
環 境 課	日韓 海峡 沿岸 環境 技術 交流 事業	<p>韓国南岸1市3道と北部九州3県（佐賀県、福岡県、長崎県）及び山口県との間で、広域的かつ多様な環境保全技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○微小粒子状物質(PM2.5)に関する広域分布特性調査（平成24年度～25年度）の実施 ○「微小粒子状物質(PM2.5)に関する広域分布特性調査」（平成24年度～25年度）の実施等に係る協議 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年5月29日～31日（釜山広域市） ・平成25年10月23日～25日（佐賀県） ○「微小粒子状物質(PM2.5)に関する広域分布特性調査」（平成24年度～25年度）の報告書の公表 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月28日（日本側4県で同時にプレスリリース） ○2014年以降の共同事業について協議 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年7月24日～26日（佐賀県）

課名	事業名	内容
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	<p>①西日本四県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国一市三道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で資源管理の取組、養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議が開催された。</p> <p>○日 時：平成25年10月17日 ○場 所：山口県下関市</p> <p>②日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。</p> <p>○日 時：平成25年11月14日 ○場 所：長崎県長崎市 ○参加者：8名（佐賀県2名）</p> <p>③日韓の水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗を放流した。</p> <p>○日 時：平成25年10月17日 ※一部平成25年8月9日に実施 ○場 所：山口県下関市響灘周辺海域 ○放流数：トラフグ 3,000尾 ※当日放流尾数400尾、8月放流尾数2,600尾</p>
空港課	有明佐賀空港国際線専用施設整備事業	<p>国際定期路線の就航に必要な常設のC I Q（税関、入管、検疫）施設を備えた国際線専用施設を整備した。</p> <p>・開業日：平成25年12月18日 ・施設概要：鉄骨3階建 延床面積 2,346㎡ 3階 保安検査場、出国審査場 2階 搭乗待合室、免税店、検疫検査場、入国審査場 1階 手荷物受取場、税関検査場、動検・植防検査場</p>
	上海便の運航	<p>有明佐賀空港と上海浦東国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と中国との国際交流の拡大を図った。</p> <p>・運航路線：有明佐賀空港—上海浦東国際空港 ・運航会社：春秋航空 ・運航便数：週3往復（月・水・土曜日） ・利用者数：37,169人（平成25年度）</p>
	ソウル便の運航	<p>有明佐賀空港と仁川国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と韓国との国際交流の拡大を図った。</p> <p>・運航路線：有明佐賀空港—仁川国際空港 ・運航会社：ティーウェイ航空 ・運航便数：週3往復（水・金・日曜日） ・利用者数：11,427人（平成25年度）</p>

課名	事業名	内 容
港湾課	港湾振興事業	<p>【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るため、海外（中国、韓国、タイ）の船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスに取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際定期コンテナ航路：4航路週4便（平成25年4月現在） （①華南・韓国航路 ②大連・青島航路 ③上海航路 ④釜山航路） ・H25 外貿コンテナ取扱実績：26,828TEU（九州 第4位） <p>【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港 グアム準州との物流拡大、客船の誘致等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐津市とともに韓国ポートセールスを実施 ・順天湾国際庭園博覧会に合わせ、唐津港→麗水間で高速船ビートルを運航 （平成25年8月16日 146名が利用） <p>※唐津港の物流をきっかけに、H25.7 唐津市・グアム準州 友好交流意向書締結</p>
学校教育課	語学指導等を行う海外青年招致事業	<p>(H25) 本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドから16人の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。</p>
	外国語指導助手指導力等向上研修	<p>(H25) 外国語指導助手を対象に、効果的な語学指導ができるような知識・指導技術を習得させるため、日本人英語教師とともに合同の研修会を実施した。（11月12日）</p>
教育政策課	世界で活躍する人材づくり事業	<p>急速に進展するグローバル化に対応するため、中学生及び高校生に国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、国際社会で活躍する人材の育成事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中、高校生の海外留学等への助成 ・県主催の海外研修旅行実施（世界にはばたく未来のスペシャリスト派遣団） ・中学校英語暗唱大会及び高等学校英語スピーチコンテスト等副賞（海外研修旅行）の提供 ・イングリッシュキャンプ等の体験的英語活動の実施

課名	事業名	内容
名護屋城博物館 社会教育・文化財課	国際学術・文化交流事業	<p>・平成22年秋、国立晋州博物館で開催された「朝鮮人被虜人の記憶」展開催を契機に、文禄・慶長の役の被虜人洪浩然の日韓の親族が400年ぶりに再会を果たしたが、平成25年度は日本側親族が韓国側親族を訪問し、旧交を温めた。本館は国立晋州博物館との間でその連絡・調整にあたり、支援を行った。</p> <p>○唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 [概要] ・県立唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定された選択授業（2単位／学校設定科目）。 ・本館と高校との協働により、年間を通じた授業を運営・展開。 [対象] 環境文化系列文化系コース2年生（選択授業） （25年度は2人） [授業回数] 計31回 [平成25年度の授業内容] ・「本物で学ぼう」 名護屋城跡本丸御殿の発掘調査や遺物整理を体験。 ・「展示説明に挑む！」 常設展示での展示説明の発表。 ・「学習の成果を伝えよう！」 近隣の日韓交流に係る遺跡・施設を見学するフィールドワークを実施。</p> <p>○韓国語講座 (ア)日 時 前期 平成25年6月15日～8月10日 後期 平成25年9月28日～平成26年1月26日 (イ)会 場 本館 図書閲覧室・鎮西町公民館 (ウ)講 師 本館 国際交流員 李 敬賢 (イ・ギョンヒョン)</p> <p>○韓国語スピーチコンテスト in なごや (ア)内 容 「第9回 韓国語スピーチコンテスト in なごや」 (イ)日 時 平成25年10月26日(土) 13:00～16:00 (ウ)会 場 本館ホール (エ)参加者 119名 (うち出場者 44名) スキット部門 中・高校生の部 14組28名 一般の部 4組8名 スピーチ部門 8名 [協賛] 株式会社カメラライン、JR九州高速船株式会社、韓国観光公社</p> <p>○城跡案内アプリ制作 タブレット端末やスマートフォンを使って城跡を楽しく見学するアプリケーションを制作したが、日本語版以外に英語・韓国語・中国語(繁体)・中国語(簡体)の4ヶ国語版を作成した。</p>

課名	事業名	内 容
(公財) 国際交流協会	情報収集・提供 高度化事業	インターネットとEメールを利用した情報の収集・提供を行うとともに、日本語のホームページを作成・運用し、必要に応じて英語・中国語・韓国語での情報を発信。
	国際交流・協力 情報誌発行	<p>県・本協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントなど各種国際交流・協力に関する情報の提供を目的に佐賀県国際交流・協力情報誌「Hello Saga」を編集、発行。 (年6回、各2,000部) また国際交流推進の一環として、多国籍の料理交流会や昼休みを利用した、気軽に楽しめるセミナーを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ料理交流会 (H25.6.22) 参加者 36名 ・フランス // (H25.8.10) 参加者 39名 ・韓国 // (H25.11.30) 参加者 28名 ・メキシコ // (H26.2.8) 参加者 34名 ・ジェーンの世界が広がる English Seminar (H25.4.9～H26.3.11) 全22回 参加者 472名 ・中国の世界遺産とトラベル中国語 (H25.9.17～H25.10.29) 全4回 参加者 49名
	ワールド・プラザ管理事業	国内外の定期刊行物、国際交流に関する書籍、インターネット公開端末により、国際交流に関する情報を来訪者に提供。
	国際理解講座事業	<p>学校、公民館、婦人会、老人クラブ、国際交流団体等が国際理解・国際交流を深めるための講座等を実施する場合に団体の依頼に応じ外国人等の講師を派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：59件(88名) 受講者数：3,787名
	国際ふれあい フェスタ in 佐賀	佐賀県民と外国人の交流、民間国際交流団体の活動PRを図る国際交流イベントで、平成25年度はJC(公益社団法人日本青年会議所)九州地区協議会との共催により実施 (H25.7.13～14)
	国際交流団体 等助成事業	民間団体等が行う国際交流・協力事業の活性化を図るため、事業経費の一部を助成。 内訳：国際交流3団体、多文化共生2団体、韓国語全羅南道交流事業4件

課名	事業名	内 容
	日本語グループ支援事業	<p>県内の日本語支援ボランティアグループに対し活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容はグループが活動するにあたり必要と認められるもので、主に教室会場費、グループで共有する教材費、その他施設使用料に加え、グループでの勉強会実施の際の講師謝金と交通費、またその時の会場使用料。 ・武雄日本語教室新規立ち上げを支援。
	在住外国人生活支援事業（佐賀県からの委託事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活相談：月曜日～金曜日（土日祝日は除く）県内に在住する外国人からの相談に随時対応。 ・ボランティア通訳研修会：相談等の通訳に協力して頂く方を対象にボランティア通訳研修会を実施～行政通訳～（全2回 参加者 30名） ・無料健康相談：済生会唐津病院の協力により偶数月 年間6回実施
	多文化共生推進会議事業（佐賀県からの委託事業）	<p>多文化共生社会の推進のため講演会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「みんなで考えよう！～外国人住民と共に取り組む防災～」 講師 NPO 法人全国多文化共生マネージャー全国協議会 事務局長 時光氏 (H25.9.5) 参加者 70名 ・講演会「日本と海外の地域での多文化子育て」 講師 情報教育研究所 所長 山岡 テイ氏 (H25.12.12) 参加者 49名
	国際交流ボランティア啓発・推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史文化紹介、ホストファミリー、ことば（多言語、日本語）の分野でボランティア登録を実施。 登録者 計 342名 ○在住外国人の生活支援ボランティア養成講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイボランティア研修会（H25.11.16～1）参加者 18名,13家族 ・日本文化・歴史紹介ボランティア研修会 佐賀錦で国際交流！（H25.9.7）参加者：日本人 11名、外国人 8名 新春お茶会（H26.1.8）参加者：日本人 10名、外国人 6名
交流協会 (公財)国際	医療通訳サポーター養成事業（佐賀県からの委託事業）	<p>ボランティア活動の中でも特に専門的な知識を必要とする医療通訳ボランティアを養成・育成するとともに、実践力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療通訳サポーター養成講座の実施 全10回（H25.10.10～H25.12.12）

課名	事業名	内容
	マルチリンガル養成講座	<p>国際社会で活躍できる人材を育成するため韓国語、中国語、フランス語、イタリア語、英語を学ぶ機会を提供するとともに、在住外国人との交流の場を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国語講座（全3期（36回）、参加者：62名） ・中国語講座（全3期（33回）、参加者：48名） ・やさしい英語で学ぶフランス語講座（1期（4回）、参加者：7名） ・やさしい英語で学ぶイタリア語講座（全2期（16回）、参加者：12名） ・英会話講座（全2期（22回）、参加者：45名） ・フランス語講座（1期（14回）、参加者：14名）
	海外使節団派遣事業費補助	<p>南カリフォルニア県人会が実施した佐賀県出身の大学生をアメリカ西海岸に派遣し、国際的な人材を育成する事業に対して経費の一部を助成。</p>
佐賀城本丸歴史館	<p>中国語おもてなし事業</p> <p>広報誘客事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○佐賀城本丸ボランティアによる来館者への展示解説の中国語通訳 ○館内表示についてのアドバイス ○佐賀城本丸ボランティアを対象とした中国語講座（全8回 参加者10名） ○外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版利用案内リーフレットの配布（英語、簡体字、繁体字、ハングル） ○外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）80台
雇用労働課	産業人材ステーション事業	<p>知識や技術を持った求職者と即戦力あるいは将来的に事業の中核を担う人材（UJIターン人材、グローバル人材）を求める企業とのマッチング支援を行うことで、県内企業の人材確保を支援している。</p> <p>H25実績：グローバル人材の県内就職5名（うち外国人留学生 2名）</p> <p>※ グローバル人材とは、外国人留学生または、留学・海外でのビジネス・ボランティア活動等の経験があり、外国語に堪能する求職者。</p>

(2) 市町の事業 (平成25年度)

市町名	事業名	事業の概要
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 【佐賀市国際交流協会主催事業】 ・バルーンホームステイ事業 ・国際交流料理講座 ・ボランティア講座 ・軽スポーツ交流会 ・子育て支援事業 ・国際理解講座 ・初級日本語集中教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員(CIR)1名 ・私費留学生に対し、月額20,000円を助成(20名) ・奨学生交流会を開催(1.16 28名) ・25周年記念市民訪問団派遣(4.10~16 25名) ・グレンズフォールズ市教育交流訪問団受入(6.26~7.4 23名) ・佐賀市教育交流訪問団派遣(3.25~4.4 25名) 蓮堤区議員訪問団受入(10.30~31 4名) クサク村訪問団受入、25周年記念式典開催(8.9~8.15 14名) ・佐賀国際ナショナルバルーンフェスタ開催時に、海外選手9カ国1地域34名のホームステイ受入れ(10.24~11.6)を行い、日本の日常生活を体験してもらいながら交流を図った。(10.30~11.4 13カ国1地域101チーム参加 観客81.4万人) ・在任外国市民と日本人を対象にした料理講座を4回行った。(参加者数101名) ・ボランティア登録者の意識啓発、交流を目的としたボランティア講演会を開催した。(参加者数59名) ・スポーツ大会を開催し、在任外国市民との親睦を図った。(バドミントン交流会 参加者数34名) ・サークルタイムと共催でクリスマス会を開催した。(参加者数30名) ・多文化理解・多文化共生の推進を目的とした講座を5回開催した。(参加者数177名) ・日本語を知らずに日本に来た方たちに対して、日本語集中講座を4回行った。(受講生24名)
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市職員相互派遣 【友好・姉妹都市との交流】 ・韓国麗水市との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国麗水市へ唐津市職員1名の派遣(H25.10.1~H26.3.31 約6ヶ月間) ・韓国西歸浦市から西歸浦市派遣職員1名が来唐、研修(H25.2.15~H25.12.25 約10ヶ月間) ・韓国西歸浦市から西歸浦市派遣職員1名が来唐、研修(H26.2.12~H26.12.26 約11ヶ月間) ・韓国麗水市から麗水市派遣職員1名が来唐、研修(H25.6.21~H26.6.20 約1年間) ・麗水市長表敬訪問、順天湾国際庭園博覧会開会式出席4名

市町名	事業名	事業の概要
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国西歸浦市との交流 ・三都市交流囲碁大会 (唐津市、揚州市、麗水市) ・中国揚州市との交流 【姉妹都市以外との交流】 ・中国スポーツ交流団市内視察受入 ・唐津市島づくり事業 ・グアム準州友好交流意向書調印 ・グアム訪問 ・グアム訪問団来唐 【民間交流団体】 ・唐津中央ロータリークラブ ・唐津西ロータリークラブ ・肥前町国際交流協会事業 	<p>(市長外3名)(H25.4.18～.4.20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第47回亀甲船祭及び麗水博覧会姉妹都市代表団会議への出席2名(H25.5.3～5.6) ・麗水水産関係職員視察研修来唐 13名(H25.5.20～5.22) 13名(H25.6.10～6.12) ・シルクロード市長団フォーラム出席 6名(H25.10.20～10.24) ・唐津くんち及び施設視察のため副市長外代表団来唐 14名(H25.11.1～11.4) ・文化観光施設、農林水産直売施設研修 来唐 34名 (H25.6.3～6.3) ・三都市囲碁交流大会を唐津市で開催(H25.8.29～8.31) 代表団:麗水市10名、揚州市9名、唐津市10名 ・揚州世界運河名城博覧会訪問 6名(H25.9.25～9.27) ・友好交流のため揚州市から来唐 5名(H25.10.25～10.26) ・県観光課依頼により受入 9名(H25.4.9) ・武寧王生誕地へ(唐津市鎮西町加唐島)韓国公州市長から訪問団来唐 37名(H25.6.1) ・グアム準州知事を招き唐津市で友好交流意向書調印式開催。 11名(H25.7.24) ・グアムとの友好交流拡大のため、グアム関係機関との協議 3名(H26.2.16～2.20) ・友好交流拡大のため、グアム観光局訪問団来唐 7名(H26.3.27) ・創立20周年記念式典・国際姉妹クラブ韓国麗水閑麗ロータリークラブ交流事業開催 100名(H26.2.21) ・大韓民国唐津ロータリークラブ姉妹クラブ結縁30周年記念式典 40名(H26.3.29) ・第27回若ばと交流:韓国釜山市の大学生受入 (H25.7.27～8.10 10名) ・2013釜山訪問の旅:釜山大学生受入家族が釜山を訪問

市町名	事業名	事業の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・唐津商工会議所 ・唐津市国際交流協会 ・唐津ボランティアガイド 	<p>(H25.10.31～11.2 7名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第27回カチカチ交流:韓国ソウル明知大学校学生受入 (H25.12.27～H26.1.11 7名) ・2014ソウル訪問の旅:明知大学生受入家族がソウルを訪問 (H26.3.2～3.4 4名) ・第9回唐津鍋まつり・「唐津うまか博 2013」に韓国、タイ、中国、ルーマニアよりなべ出展 参加 12名 (H25.12.1) ・かもめ交流:アメリカ合衆国テキサス州パラシオスへ市内中・高生によるホームステイ事業 10名 (H26.3.21～4.2) ・市内各種イベント時におけるボランティア通訳(毎回 20名程度)
鳥 栖 市	<p>【H25】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖ツアイツ子ども交流事業 ・職員海外派遣研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖市の学生10名と引率 2名を派遣。ホームステイを通じて交流を図った。(7.28～8.12) ・県市町職員海外研修:1名(10.6～10.13 ヨーロッパ)
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・職員海外派遣研修 ・市民の翼 ○日中友好協会 ・春節 ・中国語夏季スクーリング ・中国語講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)2名の活用 ・市町村振興協会関係でヨーロッパ(ドイツ、フランス)へ研修派遣 (10/6～10/13、1名) ・多久市・曲阜市友好都市締結 20周年記念訪中(上海・曲阜・北京):24人 11.4～11.8 ・中国出身市内勤務者との交流 3.9 中国人 5名 ・7.20～7.21 14名参加 ・中国語講座 3回/月 開催 4名参加
伊 万 里 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・公務研修生受入事業 ・中国大連市友好訪問事業 ・中国大連市訪問団受入れ事業 ・伊万里市 PR・台湾経済視察訪問事業 【民間団体等の主催事業】 ○伊万里市国際交流協会 ・初級中国語教室 ・初級韓国語教室 ・台湾経済セミナー ・協会設立 25周年記念事業 ・多文化交流事業 ・広報事業 	<p>外国語指導助手(ALT 市直接雇用)3名の活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国大連市より1名 (H25.1.10～12.26) ・市長を団長に市民等19名による大連市友好伊万里市訪問団を派遣(大連、北京 H25.7.31～8.4) ・大連市外事弁公室主任を団長とする大連市政府友好訪問団 6名が来伊(H25.11.8～9) ・市長を団長に民間団体等9名による台湾経済視察団を派遣 (H25.11.15～27) ・昼の部、夜の部各24回 受講者 29名 (H25.4.9～10.22) ・全 24回 受講者 22名 (H25.5.23～11.14) ・台北駐福岡経済文化弁事処長を講師に開催 参加者 61名 (H25.5.10) ・「アルゼンチンタンゴの夕べ」開催 来場者 530人 (H25.11.21)

市町名	事業名	事業の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ○佐賀県日本語学習支援“カスタネット” ・伊万里ではじめる「日本語教室立ち上げ“後押し”講座 ・にほんごしゅうちゅうクラス ○日本語教室いまり ・日本語教室いまり ○伊万里市剣道少年団 ・日韓親善少年剣道交流会 ○伊万里ロータリークラブ ・交換留学生事業 ○(公財)佐賀県国際交流協会 ・あそまなぶ in 伊万里 ○いまり SGG(善意通訳者の会) ・民際交流のタベ ○伊万里市日中友好協会 ・日中友好餃子会 ○伊万里ライオンズクラブ ・冬季留学生交換事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一日避難所体験 in 松浦町」参加者 41 名 (H26.3.9) ・広報紙「交流の扉 第 24 号」を発行(21,000 部、市内全世帯に配布)(H25.3 月末発行) ・日本語学習支援ボランティア養成講座の受講者を対象に、日本語学習支援教室を始めるための実技研修講座 参加者 9 名、実習協力外国人 16 名 (H25.5.19～6.16 までに 4 回開催) ・日本語が分からなくて困っている在住外国人への短期集中日本語講座 参加者 5 名 (H25.9.15～10.6 までに 6 回開催) ・在住外国人への日本語学習支援教室の立上げ 会員 8 名、在住外国人の参加 10 名程度 (H25.7.7～月 1～2 回開催) ・小中学生及び指導者等 52 名が韓国釜山市を訪問、剣道交流会やホームステイで交流 (H25.8.9～11) ・フランスとの高校生交換留学生在が一年間の留学生生活を終え帰国(各1名 8月帰国) ・小学生以下を対象として、県内在住外国人等を講師に、世界の国や地域の言葉や文化、遊びを学ぶ国際理解講座(講師: (ベナン共和国、エジプト、ハワイ) 参加者 80 名(小学生 31、幼児 23、保護者等 26) (H25.10.5) ・市内外の外国人との交流会を開催 参加者 36 名 (H25.12.7) ・市内在住中国籍住民及び市民 40 名が参加(H25.12.14) ・マレーシアより高校生 1 名が来伊(H25.12.16～26) ・
武 雄 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・観光誘致促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)6 名の活用。(うち 1 名は市直接採用) ・「東アジア誘客 3 県都市連携会議観光説明会 in 台北」、「JNTO 訪日台湾教育旅行現地説明会」に参加。また訪日台湾旅行関係者を招聘し、九州東亜物語(武雄市・嬉野市・雲仙市・平戸市・福岡市)を紹介し、九州への観光誘致を実施。 ・九州運輸局と九州観光推進機構との「九州オルレ」事業で、

市町名	事業名	事業の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 派遣事業 ・姉妹都市交流事業 【民間団体等の交流事業】 たけおワールドフレンズ (TWF) ※23 年度名称変更 ・姉妹都市交流事業 ・在住外国人との交流事業 たけお日本語教室交流事業 	<p>韓国済州オルレ関係者などの視察をはじめとした団体アテンド等を随時行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロバートジェイコブ市長、セバストポールワールドフレンズ訪問団(21名)の受け入れ(H26.3.14～24) ・たけお日本語教室の主宰により、料理交流会などを通して、市内外の外国人との交流会を開催。
鹿 島 市	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国全羅南道高興郡、釜山外国語大学校との交流事業 ・2012 高興郡ソンジョンマッドリンピック交流事業 ・2013 高興郡ソンジョンマッドリンピック交流事業 ・第 28 回鹿島ガタリンピック ・第 29 回鹿島ガタリンピック ・外国青年招致事業 ・鹿島市日韓子ども交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 28 回鹿島ガタリンピックに参加。 ・第 29 回鹿島ガタリンピックに参加。 高興郡交流団 22 名 (H24.6.2～H24.6.3) 高興郡交流団 13 名 (H25.6.8～H25.6.9) 釜山外国語大学校副総長・教授・学生 43 名 (H24.6.1 ～ H24.6.4) 釜山外国語大学校副総長・教授・学生 31 名 (H25.6.7～H25.6.10) ・大韓民国全羅南道高興郡から「2012 高興ソンジョンマッドリンピック」への招待を受け行政・議会・民間団体 21 名で訪問。 (H24.7.21 ～ H24.7.23) ・大韓民国全羅南道高興郡から「2013 高興ソンジョンマッドリンピック」への招待を受け行政・議会・民間団体 9 名で訪問。 (H25.8.3 ～ H25.8.6) ・佐賀大学の外国人留学生在がホームステイや地元高校生との交流会を実施。(8 カ国 30 名) ・佐賀大学の外国人留学生在がホームステイや地元高校生との交流会を実施。(8 カ国 30 名) ・外国語指導助手活用。(H24.7～1年間)2名 ・外国語指導助手活用。(H25.7～1年間)2名 ・北鹿島小学校と大韓民国全羅南道高興郡大西小学校との交流を実施。

市町名	事業名	事業の概要
		大西小学校 22 名が北鹿島小学校を訪問。 (H24.8.7 ~ H24.8.10) 北鹿島小学校 26 名が大西小学校を訪問。 (H25.8.6 ~ H25.8.9)
小 城 市	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校外国語講師活用事業 (学校教育課) ・市内保育園・幼稚園における国際交流(私立を含む) (こども課) ・おぎにほんご教室支援 (企画課) ・書道体験事業 (文化課) 	<H25 年度> ・外国語指導助手(ALT)の活用、民間講師 6 名 小・中学校の英語教育及び英語活動実施 ・佐賀大学留学生交流事業 幼稚園保育園児・保護者・地域の方等との餅つき、お正月遊び及び園行事体験(保育園 1 園、幼稚園 3 園、認定こども園 2 園) ・外国語指導助手(ALT)の活用、民間講師 2 名 幼稚園、保育園の英語活動実施 ・「おぎにほんご教室」(在住外国人に日本語を教えるボランティアグループ)の支援。 ・多文化共生への理解と共感を広げるため、市内在住外国人を講師として、外国料理の料理教室を開催。「食を通じた多文化共生のまちづくり」(小城市協働推進事業補助金を活用) 実施事項なし
嬉 野 市	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 ・「訪韓の翼」参加補助 嬉野高校 遼寧省との学校交流 民間団体の交流事業】 接客研修事業 (市日韓親善協会) ・日中友好の集い 嬉野市塩田町日中友好協会) ・塩田の集い 嬉野市塩田町日中友好協会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)1 名の活用 ・県子連主催の事業に参加する子どもに、市子どもクラブ連合会から参加補助を行っている。 県が進めている、「世界につながる青少年交流事業」の一環として嬉野高校訪問団が中国遼寧省遼陽市内の学校及び遼陽市政府等を訪問。(H25.10.30~H25.10.31) ・韓国馬山大学学生が、市内旅館及びホテルにて、日本語、文化及びホテル業、接客業の実務研修を実施した。(H25.7.29~8.13 学生 11 名、教授 1 名) ・塩田町在住の中国の方々地域住民が、料理会食、スピーチ、ギター演奏、カラオケ大会などを通して交流した。(H26.3.2) ・中国のことを知り、相互理解と友好を深めることを目的として、毎月 2 回、基礎的な中国語講座、日中の祝日や行事、時事ニュースの学習、意見交換などを実施した。

市町名	事業名	事業の概要
神 埼 市	国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・脊振中学校と山西大学附属中学校(中国)が、訪中と来日を相互に実施し交流を深めている。 平成25年10月3日～10月6日の3泊4日の行程で来日。(団人員:生徒6名、引率4名)
基 山 町	民間団体の交流事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日～26日 台湾台北市の台北市国立故宮博物館訪問 台湾北東部、太魯閣訪問 ・3月26日 佐賀市富士地区の古湯・熊の川温泉観光
上 峰 町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度驪州郡青少年上峰町訪問事業 ・驪州郡副郡守来町 ・驪州市開庁式と市民の日への出席と交流増進協定の締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・驪州郡の大神中・高等学校の生徒 16 名が上峰町を訪問。ホームステイ等を体験。(H25.5.29～5.31) ・驪州郡副郡守が訪問団ともに来町され、町長、議長を表敬訪問された。(H25.5.30) ・驪州郡が市に昇格したことを祝う記念行事に、町長ほか 13 名が出席した。また、市昇格を記念して、交流増進協定を締結。(H25.9.22～9.24、協定の締結は H25.9.23)
み や き 町	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 国際交流食文化交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT)3 名の活用 ・国際交流会主催により、協同でエジプト料理を作り、その後会食を通して交流会を行った。参加者 50 名【参加国 5 カ国:アメリカ・エジプト・ネパール・タイ・日本】(平成26年3月2日)
玄 海 町	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 機張郡イワシ祭り訪問事業 中学生海外ホームステイ体験事業 玄海町少年の船 韓国釜山外国語大学校生徒のインターンシップ受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT)1 名の活用。 ・H.25 年度は実施していない ・海外での生活を通して、語学力と豊かな国際感覚を身につけた、これからの地域を担う青少年を育成する。町内在住の中学生を対象にアメリカ合衆国へ夏休みに1ヶ月派遣。(補助対象費用の8割を補助。派遣人員 5 名) ・ホームステイや機張郡の郡庁舎訪問、小学校訪問、合宿、原子力発電所展示館の見学などを通して、文化や歴史の違いを体験し、知見を深めた。 期日:平成25年8月7日～9日 参加者:町内の小学生60名 釜山外国語大学校との今後の相互交流を更に深めていくため官学国際交流協定書を平成25年8月に締結した。その一環で、日本に係る職業を希望している釜山外国語大学校生徒をインターンシ

市町名	事業名	事業の概要
	<p>機張フォーラムへの参加</p> <p>民間団体の交流事業】 ・韓国釜山広域市 機張郡訪問事業</p> <p>・韓国釜山広域市機張郡訪問団受入</p> <p>釜山外大ホストファミリー派遣事業</p>	<p>ップ生として役場に受入れ、3か月間の研修を実施した。 期日：平成25年10月1日～12月27日 研修生2名 (H25年度新規事業)</p> <p>H25年度は実施していない</p> <p>・民間団体の玄海町国際交流協会が機張郡イワシ祭りに参加し、ブースを出店して、日本食の販売等をおこなった。 期日：平成25年5月3日～5日 参加者：6名</p> <p>・玄海町花火大会開催時、釜山外国語大学校の学生を受け入れ、ホームステイ、唐津青翔高校の学生との交流、本町の小学生への韓国語交流を実施した。 期日：平成25年7月26日～29日 訪問団：15名</p> <p>・上記の、釜山外国語大学校生ホームステイのホストファミリーとなった方を韓国に派遣し、韓国の生活環境や文化を体感し、相互の理解を深めた。 期日：平成25年11月23日～25日 訪問団：7名</p>
有田町	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)韓国陶磁文化協会をはじめとする韓国との交流事業 ・外国青年招致事業(ALT) ・外国青年招致事業(CIR) ・ドイツ語教室 ・マイセン市長有田町を訪問 ・ドイツ・マイセン市を訪問 ・ドイツ大使館総領事が来有 ・保育園・ドイツふれあいタイム ・外国人対応セミナー ・小中学校での交流教室 ・ドイツ映画教室 ・国際交流員による来訪者案内 ・韓国教員訪問団受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会金会長ら関係者参列(H25.5.4) ・外国語指導助手(ALT)1名活用 ・国際交流員(CIR)1名の活用 ・ドイツ語に興味がある有田町民などにドイツ語教室を開催(毎月2回) ・マイセン市長を含む7名が有田町を訪問(H25.4.26～5.3) ・町長を含む3名が姉妹都市のマイセン市を訪問。(H25.9.25～10.1) ・ドイツ総領事館インゴ・カールステン総領事が有田町を訪問。(H26.2.21) ・町内の保育園4園で、年長児、年中児を対象に毎月1回ドイツのことば、文化を紹介(H25.5～H26.3) ・有田へ来られる外国人のお客様への対応のスキルアップを図るために有田観光協会が主催した英語講座に、講師として派遣(H26.1月～3月8回) ・有田町国際交流員が町内の小中学校へ訪問し、交流教室をおこなった。 ・有田町国際交流員によるドイツ映画の教室。 ・ドイツなどからの来訪者へ町内観光案内等を行う。

市町名	事業名	事業の概要
	<p>【陶都有田国際交流協会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ツアーの開催 ・ドイツのクリスマスクッキーづくり開催 ・多国籍料理教室の開催 <p>【民間団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイセン青少年交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の中高校教師が研修のため有田町を訪問。町民の家にホームステイし、交流をはかった。 ・「秋の有田陶磁器まつり」、「有田雛のやきものまつり」期間中に日本在住の外国人を対象に国際交流員による英語ツアーを行なった。 ・ろくろ体験英語ツアーを行った。 ・国際交流員により、親子を対象にクリスマスのクッキーづくり及びドイツのクリスマスの紹介を行なった。 ・有田町国際交流員により、ドイツの料理教室を行った。 ・姉妹都市マイセン市より青少年友好親善使節団が有田町を訪問。(H25.10.19～10.28) ・有田町の青少年友好親善使節団 13 名がマイセン市を訪問。(H26.3.25～4.1)
大町町	・外国青年招致事業	・外国語指導助手 (ALT) 1 名の活用
江北町	・外国青年招致事業	・外国語指導助手 (ALT) 1 名の活用 変更なし
白石町	外国青年招致事業	・外国語指導助手 (ALT) 3 名の活用
太良町		変更なし

(3) 県関連の県民海外派遣事業

①平成25年度実施事業

事 項	人員	派 遣 先
ミャンマー・タイ・カンボジア経済ミッション	23	ミャンマー (ヤンゴン)、タイ (バンコク)、カンボジア (プノンペン、シアヌークビル)
中学生・高校生海外留学等助成事業	100	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ等
世界にはばたく未来のスペシャリスト派遣団	18	オランダ、ベルギー
英語コンテスト等優秀者向け海外研修旅行	8	オーストラリア、シンガポール

②平成24年度までの実施事業

事 項	年次 (平成)	延人員	派遣先
高校物理教師セルン派遣	21、22、23	3	スイス
有田窯業大学校中国研修旅行	23、24	18	中国
佐賀県中学生・高校生海外研修旅行	23	8	オーストラリア
日韓海峡沿岸青少年交流事業	12、14、16、18	48	韓国
日韓海峡沿岸住民親善イベント	7、9、13、15 16、19	149	韓国 (全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
南米友好訪問団派遣事業	12、17	79	ブラジル、アルゼンチン
南米県人会訪問青年交流事業	14、16	10	ブラジル、ペルー
佐賀県女性の翼	7~11、13~15	95	中国、オーストラリア、ニュージーランド、スウェーデン、ドイツ、ハンガリー、アメリカ、カナダ、イギリス、ノルウェー
佐賀県男女共同参画の翼	16~18	35	スウェーデン、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリア
ふれ愛の翼	7~14	801	タイ、台湾、中国、香港、インドネシア
ヤングネットワークウイング事業	9~14、16、17	268	中国、韓国
佐賀青年出合いの旅事業	9~11	104	シンガポール、マレーシア
佐賀県アジア経済ミッション	7~11	77	中国、ベトナム、フィリピン、マレーシア
日中女性友好交流事業	12	6	中国 (北京・貴陽・上海)
有田窯業大学校中国研修旅行	7~17	308	中国、韓国
佐賀県農村青年等海外派遣研修	7~16	206	欧州、オーストラリア、ニュージーランド、中国、タイ、マレーシア、韓国、アメリカ

事 項	年次 (平成)	延人員	派遣先
農業大学校生海外派遣研修	7～12、14～22	750	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、オランダ、ドイツ
済州道へのみかん調査・交流団派遣事業	14	30	韓国 (済州道)
林業後継者海外派遣	6、7、10	3	欧州、アメリカ、カナダ
日韓海峡沿岸水産関係交流事業	7～20、22	43	韓国 (全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
佐賀県漁業青年海外派遣研修	7～15	10	アイルランド、イタリア、フランス ノルウェー、イギリス、スウェーデン、 ドイツ、ベルギー、スペイン、オランダ、 ポルトガル、スイス、ロシア、ギリシャ
翔べ！さがっ子アジアへの未来飛行	9～13	500	マレーシア、シンガポール
日韓少年文化交流事業	6、9、11、13、15、 17	119	韓国
日韓海峡沿岸地域振興団体交流支援事業	10、12	18	韓国
2000年女性会議補助事業	12	20	アメリカ
高校生海外留学研修事業	12～14	30	アメリカ

(4)外国語によるパンフレット等の作成状況

(平成25年3月現在)

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	佐賀	佐賀県の紹介	英、韓、中	14	国際交流課
	SEFURI The Perfect Location Science Frontier Kyushu	サイエンスフロンティア九州構想の紹介	英	A4版 4頁 + 4頁 観音開き	ILC推進グループ
	在住外国人向け地図 (MAP for foreign residents)	佐賀県全図	日英韓中併記	1	国際交流課
	防災カード	防災カード	日英、日韓、日中併記	1	(財)佐賀県国際交流協会
	佐賀県香港代表事務所HP 「We♥Saga」	観光・物産PRのホームページ	中(繁)		佐賀県香港代表事務所
	九州国際重粒子線がん治療センタープロジェクト	プロジェクト紹介	英・韓・中(簡・繁)	6	粒子線治療普及グループ
	Guide to SAGA	県内ガイド	日英、日韓、日中(繁・簡)併記	24	(一社)佐賀県観光連盟
	日本九州SAGA	県内マップ	日英、日中(繁・簡)併記	12	(一社)佐賀県観光連盟
	My旅・佐賀	県内マップ	韓	B2両面 16折り	(一社)佐賀県観光連盟
	佐賀九州梦开始的地方	県内ガイド	中(簡・繁)	20	(一社)佐賀県観光連盟
	慢歩佐賀	県内マップ	中(簡)	12	(一社)佐賀県観光連盟
	佐賀牛 和牛的骄傲	佐賀牛の紹介	中(簡・繁)	12	(一社)佐賀県観光連盟
	温泉特輯	温泉の紹介	中(簡)	33	(一社)佐賀県観光連盟

佐賀観光手帖	県内ガイド	タイ語	4	(一社)佐賀県観光連盟
ADVENTURE SAGA	タイ映画「タイムライン」ロケ地の紹介	タイ語	18	(一社)佐賀県観光連盟
佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター(SAGA Light Source)	九州シンクロトロン光研究センターの紹介パンフレット	日英併記	10	新産業・基礎科学課
佐賀県における森林・林業・木材産業の現状と動向	佐賀県の森林・林業・木材産業の紹介	日英併記	51	森林整備課
特別史跡「吉野ヶ里遺跡」	吉野ヶ里遺跡紹介リーフレット	英、韓、中	リーフレット	吉野ヶ里公園管理センター
佐賀県吉野ヶ里遺跡「北墳丘墓」	吉野ヶ里遺跡紹介リーフレット	英、韓、中	リーフレット	吉野ヶ里公園管理センター
名護屋城博物館案内	施設案内	英、韓	2 (4つ折)	名護屋城博物館
名護屋城跡探訪マップ	城跡マップ	英、韓	2 (4つ折)	名護屋城博物館
名護屋城博物館展示案内	展示案内	英、韓	31	名護屋城博物館
佐賀県立宇宙科学館	施設紹介	英、中、韓	リーフレット	宇宙科学館
SAGA-JOHON-MARU	施設案内リーフレット	英、韓、中 (簡、繁)	A3 (6折り)	佐賀城本丸歴史館
SAGA-JOHONMARU	館内案内音声ガイドシステム	英、中、韓	—	佐賀城本丸歴史館
佐賀県窯業技術センター紹介	案内パンフレット	英	A4 10ページ	窯業技術センター
佐賀県立九州陶磁文化館	館案内	英、韓、中 (簡、繁) 独	三つ折	九州陶磁文化館
佐賀県立九州陶磁文化館	館案内	英	9	九州陶磁文化館
佐賀県立九州陶磁文化館	図録「土と炎」(販売用)	英	A4 31ページ	九州陶磁文化館
いまり梨	商品紹介	中	1	流通課
佐賀牛	商品紹介	英・繁体字	1 (両面)	流通課
佐賀海苔	商品紹介	英	1 (両面)	流通課
佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 案内	館内案内	英、中、韓	A3両面 (8つ折)	佐賀県立博物館 佐賀県立美術館
有明佐賀空港ホームページ	有明佐賀空港に関する情報を掲載	英、中、韓		空港課
唐津港 (Port of Karatsu)	唐津港 (物流) 紹介	英	A4 8ページ	唐津港 利用促進協議会
伊万里港 (Port of Imari)	伊万里港 (国際コンテナ定期航路) 紹介	英、中	A4 8ページ	伊万里港振興会

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀市	SAGA CITY GUIDE MAP	佐賀市内の地図及び各種情報	英、中、韓	1	佐賀市国際交流協会
	メディカルハンドブック	医療関係のハンドブック	英、中、韓	28	佐賀市国際交流協会
	ゆっつらーと佐賀	佐賀市観光案内パンフレット	英、中、韓	29 B2両面 (4回折) B6仕上げ	観光振興課
	Tourist Guide to Saga city	佐賀市観光ガイド	英、中(簡・繁)、韓		(一社)佐賀市観光協会
	佐賀飲食観光指南	観光紹介	英、中、韓	A3両面 (3つ折)	(一社)佐賀市観光協会
	佐賀城下ひなまつり	ひなまつりの紹介	英、中、韓	A4両面 (8つ折)	(一社)佐賀市観光協会
佐賀錦	佐賀錦の紹介	英、中、韓	A4両面 (3つ折)	佐賀錦振興協議会	
唐津市	唐津城	施設案内	中(簡、繁) (日本語と併記)	1	(公財)唐津市文化事業団
	曳山展示場	展示物の解説	日英韓中併記 (簡体)		(公財)唐津市文化事業団
鳥栖市	2012鳥栖市勢要覧	市勢要覧	英、中、韓、 独(一部見出しのみ日本語と併記)	44	情報管理課
	How to dispose of garbage and natural resources	ゴミの出し方パンフレット	英、中	19	市民協働推進課
	市民生活ハンドブック	日常生活における各種情報(防災マップ含む)	英、中、韓 (日本語と併記)	68	市民協働推進課
伊万里市	旅のはじまり	観光案内リーフレット	英、韓、 中(簡、繁)	1(両面)	観光課
	大川内山みて歩きマップ	大川内山窯元案内地図	英、韓、 中(簡、繁)	1(両面)	観光課
武雄市	武雄ガイドブック	武雄市観光案内ガイドパンフレット	英、韓、 中(簡、繁)	B3中折入式 8分割	観光課
	武雄TAKEO.SPA	観光マップ	英、韓、 中(簡、繁)	A3両面	観光課市観光協会

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
	九州オルレ武雄コース	ウォーキングマップ	韓	両面ジャバラ4山折り	観光課
鹿島市	鹿島佐賀 ようこそ鹿島へ	観光案内パンフレット	英、韓、 中(簡、繁)	A2折畳式 両面印刷	商工観光課
嬉野市	嬉野ぶらりまっぷ	観光パンフレット	英、韓、中	A2 12面屏 風折り	観光商工課
	嬉野ランチ&カフェ マップ	観光案内	英	14面 屏風折り	観光商工課
有田町	ARITA-THE CERAMIC COUNTRY	有田観光案内パン フレット	英・独・韓	20	観光商工課 陶都有田 国際交流協会
	有田観光ガイドマップ (有田スタイル)	有田観光案内地図 観光地の紹介	英、韓、 中(簡、繁)	16	商工観光課 陶都有田 国際交流協会
	有田散策マップ	有田観光案内地図	英、韓、 中(簡、繁)	1	商工観光課 有田観光協会
小城市	小城公園マップ	小城公園観光案内 地図	中国語	A3(A4・2 枚)	商工観光課

3. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

① 姉妹友好提携について

◎姉妹友好提携

姉妹友好提携交流とは、国境を越えた都市と都市、学校と学校、あるいは団体と団体が、姉妹縁組みをすることにより、多様な分野で、厚みのある交流を進め、友好親善を深めると共に相互発展を図ることを目的としています。

姉妹都市交流は、第2次世界大戦後、戦争で荒廃したヨーロッパを救おうという機運がアメリカで高まり、ニューヨーク市とヨーク市のように、お互いに縁のある欧米の都市間に友好関係が結ばれたのが始まりとされています。

その後この運動は、幅広く国際親善、文化交流、相互理解をも含めるようになり世界的に普及発展しました。

※「姉妹都市」と「友好都市」

「姉妹都市」と類似した用語として、「友好都市」が使われる場合があります。そもそも「姉妹都市」は英語の“Sister City”の訳語として使われるようになった言葉ですが、「姉妹」という言葉には上下があるということで、主に中国との交流において、互恵平等を尊重する立場から、「姉妹都市」の用語を敬遠して、「友好都市」という言葉を用いる場合が多くみられます。

◎提携の手続

◆提携のきっかけ

姉妹友好提携に至るきっかけや、相手方の選定については、一定の基準のようなものがあるわけではありません。過去の実例を見ても、その選定の理由は様々です。

- ① 歴史的結び付き
- ② 地理的・風土的な類似性
- ③ 経済・技術交流
- ④ 文化・スポーツの交流
- ⑤ 各種人的交流

合意書への調印を急ぐことはなく、まず相互訪問や情報の交換等を通じてお互い相手を知り合うことです。その上で可能な交流分野を見極めながら、長期にわたる交流の見通しを持つことが重要で、この間の交流実績が息の長い交流の成否を決するといえます。

◆提携の手順

姉妹友好提携に至る手順についてもそのきっかけが様々であるように、様々な形態があります。一般的な手続の手順は次の通りです。

- ① 相手と市との各種交流の積み重ね及び情報の収集
- ② 姉妹都市提携の意向打診
- ③ 交流の基本方針について相手方との協議

- ④ 提携協議書の内容確定
- ⑤ 合意書への署名・調印式
- ⑥ 姉妹提携に基づく交流開始

提携を行う際、議会の議決または承認を必要とするかについては、法的にはこれを義務付ける規定はありません。しかし、姉妹友好提携は重要な政策決定であり、あらかじめ議会の承認を得て、手続きを進めた方が望ましいでしょう。

◆提携書の作り方

姉妹友好提携の手続きは、合意書の署名、調印という形式がとられるのが一般的です。合意を証する文書の名称は、提携書、盟約書、協定書、議定書、共同声明、コミュニケなど様々な用語が使われています。

◆提携書の内容

姉妹友好提携は、地方自治体あるいは各団体の自主的事业として行うものですから、合意書の内容については、自由に作成して構いません。一般的にはあまり詳細、具体的な表現はせず、ごく抽象的に友好親善・相互理解の増進を謳ったものが多いようです。交流を長続きさせるためにも、なるべく概括的、弾力的な対応ができる内容にしておいた方が良いでしょう。

◎交流の進め方

- ・ 姉妹友好提携を形式だけではない息の長いものとするためには、提携当初は行政が主導して交流を進めていきながらも、次第に民間レベルでの交流へと移行させていくことが重要です。
- ・ 友好親善交流のみならず、自らの地域、学校、団体や相手の地域、学校、団体の抱える諸問題を共に考え、協力して解決していこうという両地域の相互発展を図る交流に取り組むことが大切です。
- ・ 双方の経費の負担区分をはっきりさせると共に、できるだけ経費のかからない工夫をすることが重要です。

② 全国の状況

ア 全国自治体別友好姉妹提携数

・ 都道府県	40 都道府県	136 組
・ 市町村	市・区	1,208 組
	町・村	291 組
	合計	1,635 組

イ 全国相手国別友好姉妹提携数

(平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位：件)

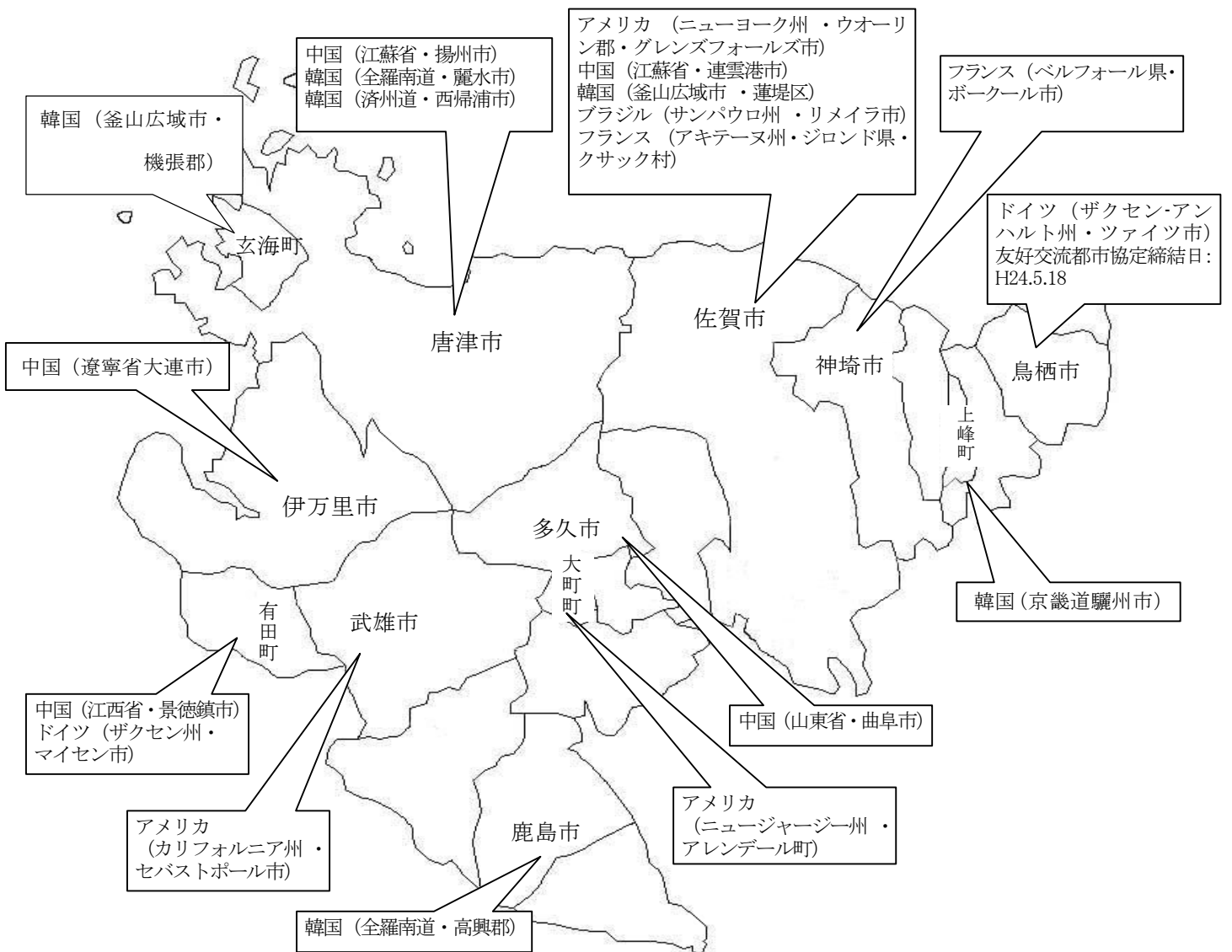
地域名	国名	都道府県	市区	町村	合計	地域名	国名	都道府県	市区	町村	合計
北米	アメリカ	24	345	71	440	欧州	ルーマニア		2	1	3
	カナダ	1	42	27	70		デンマーク		5	1	6
中南米	ブラジル	11	35	11	57		ラトビア		1	1	2
	メキシコ	2	5	2	9		エストニア		1		1
	パラグアイ		2		2		リトアニア		1		1
	ペルー			1	1		アイルランド		1		1
	コスタリカ		2		2		スロベニア		1		1
	チリ		1		1		スロバキア			1	1
	パナマ		1		1		大洋州	オーストラリア	6	78	24
ボリビア	1			1	ニュージーランド			28	13	41	
欧州	フランス	6	36	5	47	マーシャル諸島				1	1
	ロシア	9	31	3	43	パラオ		2			2
	ベラルーシ		1		1	アジア	中国	36	272	41	349
	ウクライナ		2		2		大韓民国	11	109	25	145
	ドイツ	5	40	9	54		フィリピン	1	13	4	18
	オーストリア		27	5	32		台湾		3	10	13
	イタリア	5	23	7	35		スリランカ		3		3
	イギリス	1	8	4	13		ネパール		3	1	4
	ギリシア		5	3	8		タイ	1	3	1	5
	オランダ		10	2	12		インド	3	2		5
	スイス		9	3	12		マレーシア		2		2
	スペイン	3	8		11		インドネシア	4	2	1	7
	ポルトガル		7		7		モンゴル		4		4
	ベルギー		8		8		ベトナム	2			2
	スウェーデン		2	3	5		カンボジア			1	1
	ノルウェー		2	1	3		トルコ		5	2	7
	チェコ		2	2	4		イスラエル		1		1
	ハンガリー		4	1	5		ブータン		1		1
	クロアチア		3		3	アラブ首長国連邦	1			1	
	セルビア		1		1	アフリカ	エジプト・アラブ共和国	1			1
フィンランド		2	3	5	カメルーン			1		1	
ブルガリア		1		1	チュニジア			1		1	
						合計	136	1,208	291	1,635	

(財)自治体国際化協会

③ 佐賀県の状況

ア 相手国別友好姉妹提携一覧

県・市町	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	神崎市	上峰町	有田町	玄海町	大町町	計
相手国													
アメリカ	1					1						1	3
中国	1	1		1	1					1			5
韓国	1	2					1		1		1		6
フランス	1							1					2
ドイツ			1							1			2
ブラジル	1												1
計	5	3	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	19



イ 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成25年度の主な交流状況
佐賀県	韓国 全羅南道 2011年1月25日	平成4年から日韓海峡沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成8年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から12名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を14名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。	朝鮮半島南西部に位置し、西は黄海に面している。入り組んだ地形に2,000余りの島々が存在する。温暖な気候で干潟があるなど自然が豊か。農業、カキや海草の海産物の生産が盛んである。	・佐賀県職員を韓国(全羅南道)に派遣1名(H25.4~H26.3) ・順天湾国際庭園博覧会参加 SAGA ジャパンデー開催(8/17) 佐賀県青少年全羅南道訪問団(中高生30名)派遣
佐賀県 (参考)	*中国 遼寧省 2011年10月25日	平成7年から交流を開始。平成11年からは職員交流を開始し、佐賀県から6名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から9名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。	中国東北地域の南部に位置している。省都である瀋陽市は東北部最大の都市であり、南部には港湾都市の大連市がある。主産業は重工業。	・遼寧省経済セミナー開催(H23.9: グランデはがくれ) ・佐賀県瀋陽代表事務所開設記念訪問団派遣(H23.10 132名) ・JETプログラム国際交流員受入れ(H23.6 1名) →24年度内容に要変更 ・県市町交流職員(江里口主事:唐津市職員)派遣(H25.4~H26.3) 4月 さくらマラソン選手団受入 遼寧省マラソン代表団5名受入 10月 第5回大連中日貿易投資展示商談会出展 県関係5企業、2団体出展
	*中国 貴州省 2012年2月13日	平成11年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する覚書を交わした。	中国南部の内陸に位置し、平均海拔は1,100mで平地が少ない独特の地形を成す。主産業は農業で、茅台酒(マオタイ酒)は全国8大名酒として有名。鉱工業も盛んである。	・佐賀県職員を中国(貴州省)に派遣:1名(H24.4~H25.3) ・大型民族歌舞「多彩貴州風」公演 ・貴州省職員を佐賀県に受入:1名(H25.4~H26.3) ・平成25年4月 さが桜マラソン選手入 8月 佐賀県精青少年訪問団11名派遣 9月「第3回中国(貴州)国際酒類博覧会」出展

*中国(遼寧省)については「友好パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国(貴州省)については、「友好交流に関する覚書」を交わしている。今後更に友好都市の締結に向けて進めている。

ウ 市町の状況

佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及びウォーリン郡 1988年9月23日	昭和61年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史文化面でも共通点が多いことから提携がなされた。	ニューヨーク州の北部に位置する、人口約7万人の美しいリゾート地	・25周年記念市民訪問団派遣 4.10~16 (25名) ・グレンズフォールズ市教育交流訪問団受入 6.26~7.4 (23名) ・佐賀市教育交流訪問団派遣 3.25~4.4 (25名)
	韓国 釜山広域市・蓮境区 1998年10月9日	民間のゲートボール交流が始まりで、10年来の交流を続けている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して友好都市の締結をした。	釜山広域市中央部に位置する人口約24万人の行政区。区庁、市庁がある。	・蓮境区議員訪問団受入 10.30~31 (4名) ・新栄小生徒訪問団派遣支援 8.22~24 (小学生16名、引率5名)
	中国 江蘇省・連雲港市 1998年11月27日	徐福がきっかけで、1988年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。	江蘇省北部・黄海に面した港湾都市 上海と青島の間地に位置する港湾都市 徐福の生誕地とされている。人口460万余り	

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成25年度の主な交流状況
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 1981年4月16日	双方に工場を持つ「味の素(株)」が中介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、旧諸富町共に農業を中心とした商工都市であるという点からお互いに多面的交流をすることによりお互いの交流にも役立つということから提携	サンパウロ市の北方約250kmの内陸地にあり、人口28万人で主産業はオレンジ、コーヒーなどの農業が主。	
	フランス アキテーヌ州 ジロンド県 クサク村 1988年4月19日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹提携がなされた。	フランス共和国ボルドー市の北西37km、ジロンド川沿いのメドック地方に広がるぶどう園地帯の真ん中に位置し、面積20km ² 、人口約1,200人、面積の約4割がぶどう園で、ワイン生産を中心とした農業が展開されている。	・クサク村訪問団受入、25周年記念式典開催 8.9～15 (14名)
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 1982年2月22日	1972年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、1978年の第1次から昭和56年の第4次まで、市、市議会市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、締結に至った。	南京から長江に沿って100キロ下流にある人口約460万人の古都。鑑真和上ゆかりの地	・三都市囲碁交流大会を唐津市で開催(H25.8.29～8.31) 代表団：麗水市10名、揚州市9名、唐津市10名 ・揚州世界運河名城博覧会訪問6名(H25.9.25～9.27) ・友好交流のため揚州市から来唐5名(H25.10.25～10.26)
	韓国 全羅南道・麗水市 1982年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり締結に至る。	韓国南海岸のほぼ中心に位置し、海上交通の拠点となっている美しい港町 人口約30万人。 BIE認定2012麗水世界博覧会を開催	・韓国麗水市へ唐津市職員1名の派遣(H25.10.1～H26.3.31 約6ヶ月間) ・韓国麗水市から麗水市派遣職員1名が来唐、研修(H25.6.21～H26.6.20 約1年間) ・麗水市長表敬訪問、順天湾国際庭園博覧会開会式出席4名(市長外3名)(H25.4.18～4.20) ・第47回亀甲船祭及び麗水博覧会姉妹都市代表団会議への出席2名(H25.5.3～5.6) ・麗水水産関係職員視察研修来唐13名(H25.5.20～5.22)(H25.6.10～6.12) ・シルクロード市長団フォーラム出席6名(H25.10.20～10.24) ・唐津くんち及び施設視察のため副市長外代表団来唐14名(H25.11.1～11.4) 【民間交流団体】 ・創立20周年記念式典・国際姉妹クラブ韓国麗水閑麗ロータリークラブ交流事業開催100名(H26.2.21)
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 1994年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたのが始まり。その後ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い人口、農産業、観光など良く似た両市が姉妹都市締結に至る。	韓国西南端の済州島にある最南端の港町 国際的リゾート地で人口15万8千人。	・韓国西歸浦市から西歸浦市派遣職員1名が来唐、研修(H25.2.15～H25.12.27 約10ヶ月間) ・韓国西歸浦市から西歸浦市派遣職員1名が来唐、研修(H26.2.12～H26.12.26 約11ヶ月間) ・文化観光施設、農林水産直売施設研修来唐34名(H25.6.3～6.3)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成25年度の主な交流状況
	中国 大連市旅順口区 2004年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのため訪れたのがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至る。	大連市の6つの区の1つで、遼東半島の最南端に位置し、自然の景観に恵まれ、観光地としても力を入れている。人口26万5千人。	・唐津市議会議員訪問団による中国大連市・瀋陽市表敬訪問 4名 (H24.7.10～7.13)
	アメリカ合衆国 グアム準州 2013年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済、教育、文化、スポーツ、観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流意向書の締結に至る。	太平洋上にあるアメリカ合衆国の準州、人口18万5千人、年間116万人の観光客が訪れ、その収入の90%が日本。観光が主要経済となっている。	・グアム準州知事を招き唐津市で友好交流意向書調印式開催。11名 (H25.7.24) ・グアムとの友好交流拡大のため、グアム関係機関との協議3名 (H26.2.16～2.20) ・友好交流拡大のため、グアム観光局訪問団来唐7名 (H26.3.27)
多久市	中国 山東省・曲阜市 1993年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久呂主・多久茂文が1708年に孔子廟（現在呼称多久聖廟）を完成させた。孔子の誕生の地である曲阜市との交流を図るため、1984年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の姉妹都市締結に至った。	山東省南部に位置し、孔子の生まれ故郷とされる。人口61万人の都市。孔子を祭った孔廟や孔子一族の墓地である孔林などがある。	・多久市・曲阜市友好都市締結20周年記念市民の翼による曲阜市人民政府・中日友好協会表敬訪問 孔子第77代直系子孫孔徳懋氏との交流会 24名 (H25.11.4～11.8)
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 2007年5月26日	1987年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流20周年の節目にあたり友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ友好交流都市の締結をした。	遼東半島の南端に位置し中国東北部最大の港湾を有する。人口約600万人。	・中国大連市友好交流25周年記念事業として、市長を団長に市民等41名による大連市友好伊万里市訪問団を派遣。 (大連・北京 H24.8.6～H24.8.10) ・公務研修生受入事業として、大連市より1名受入れ (H25.1.10～1年間)
武雄市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 1985年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏（女性）との交流があり、その中で交流親善の話しがあり、似通った都市として旧山内町が選定され締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。	カリフォルニア州の北東部に位置する人口7千人余りの市、気候温暖でりんご・ブドウの産地として有名である。	・ロバートジェイコブ市長、セバストポールワールドフレンズ訪問団（21名）の受け入れ (H26.3.14～24)
鹿島市	韓国 全羅南道・高興郡 1997年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、1988年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。	高興郡は人口約7万人。自然の観光資源を活かした風光明媚な田園地域で、産業面では、ゆず、にんにく、キウイ、米、海苔、カキ、アゲマキなどの農水産業が盛んであり、観光面では多島海海上国立公園が有名。韓国の宇宙センターが建設されている。	・第29回鹿島ガタリンピックに参加。高興郡交流団 13名 (H25.6.8～H25.6.9) ・大韓民国全羅南道高興郡から「2013 高興ソングジョンマッドリンピック」への招待を受け行政・議会・民間団体9名で訪問。 (H25.8.3～H25.8.6) ・北鹿島小学校と大韓民国全羅南道高興郡大西小学校との交流を実施。北鹿島小学校26名が大西小学校を訪問。 (H25.8.6～H25.8.9)
神埼市	フランス ベルフォール県 ボクール町 1996年10月27日	1936年フランスの飛行家アンドレ・ジャビー氏が脊振山中に墜落し、村民が救出したことからの交流が始まり、1995年6月には、ボクール町を友好訪問、そして1996年10月27日に姉妹都市の提携を結んだ。	フランス東部のジュラ山脈の麓（標高500m）に位置する人口5,000人、面積5km ² の町。近隣に自動車企業（プジョー）の工場がありベッドタウンとして繁栄している。	
鳥栖市	ドイツ ザクセン-アンハルト州・ツァイツ市 友好交流都市協定締結日：H24.5.18	、映画「月光の夏」のモデルとなった「フッペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(5.17～5.22)		・ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(5.17～5.22) ・ツァイツ市の学生10名と引率2名を受入。ホームステイを通じて交流を図った。(5.17～5.28) 【H25】 ・鳥栖市の中高生10名と引率者2名がツァイツ市を訪問し、ホームステイを通じて交流を図った。(H25.7.28～8.12)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成25年度の主な交流状況
上峰町	韓国 京畿道驪州郡 2004年11月11日 (再締結) 京畿道驪州市 2013年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、2001年から行政及び議会による相互交流を行い、親睦を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、2004年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め2004年11月に友好都市締結。 また、驪州郡が驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流推進協定を締結。	京畿道の南東部に位置し、人口約10万5千人、面積608km ² 、美しい自然と広い平野、文化芸術が調和をなして発展してきた都市。陶磁器、米、さつまいも、梨、椎茸等の産地として韓国国内でも有名	<ul style="list-style-type: none"> 上峰中学校の生徒8名が驪州郡を訪問し、ホームステイなどを体験。(H24.8.27～8.30) 上峰中学校と姉妹校協定を締結している驪州郡大神中学校・高等学校の生徒16名が上峰中学校を訪問。ホームステイなどを体験。(H25.5.29～H25.5.31) 町長・議長を含む13名が驪州市開庁式と市民の日への参加、市昇格記念市民体育大会の開会式への参加、農業施設を視察(H25.9.22～H25.9.24) 大神中学校・高等学校60周年記念行事に教育長・上峰中学校校長・職員1名が出席。(H25.10.1～H25.10.3)
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 1979年2月9日 (再調印) 1991年9月21日 2006年9月23日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結。 また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために1991年に、そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した2006年に再調印を締結した	ザクセン州のエルベ川沿いに位置し、首都ベルリンより南へ約140kmの距離にある。ヨーロッパ陶磁器発祥の地としてその名は世界的に知られており、高級磁器の代名詞にもなっている。気候は温暖であり、12世紀初頭よりブドウ栽培が盛んでマイセンワインの産地としても有名な所である。マイセン周辺は、大聖堂など有名な建造物も多く、文化財保護地域となっており、画家や写真家等の恰好の対象となるほど美しく、緑豊かな町である。	<ul style="list-style-type: none"> マイセン市長を含む7名が有田町を訪問(H25.4.26～5.3) ドイツ・マイセン市を訪問町長を含む3名が姉妹都市のマイセン市を訪問。(H25.9.25～10.1) マイセン青少年親善使節団が有田町訪問(H25.10.19～10.28) 有田青少年親善使節団がマイセン市を訪問(H26.3.25～4.1)
	中国 江西省・景德鎮市 1996年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易従来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結する。	中国江西省の東北部に位置し、千数百年の陶磁器の歴史を持つ陶磁器の街、即ち陶都として知られている。14世紀始めに染付技法が景德鎮で完成され、景德鎮は世界の陶磁器の中心産地へと急成長を遂げた。	
大町町	アメリカ ニュージャージー州 アレンデール町 1996年8月2日	平成3年7月にアレンデール町出身のダニエル・モス氏がALTとして大町中学校に着任したことから、中・高校生のアレンデール町派遣先が始まり、平成8年8月に友好都市提携の締結に至った。	アレンデール町は、ニュージャージー州にありニューヨークとは車で約1時間の距離。人口約6,000人、面積7,68km ² で、緑豊かな清楚な住宅地である。	
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 2009年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していこうということで友好交流協定を締結した。	韓国南東部に位置する海沿いの街。人口9万で水産資源、観光資源が豊富。	<ul style="list-style-type: none"> 機張那伊ワシ祭り訪問事業 平成25年度は不参加 機張郡庁表敬訪問 少年の船事業の協議や、その他交流事業の意見交換を実施した。 期日：平成25年7月11日 参加者：5名 【民間団体の交流事業】 機張郡伊ワシ祭り参加 期日：平成25年5月3日～5日 参加者：6名 韓国釜山広域市機張郡訪問受入 平成25年度は実績なし

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成25年度の主な交流状況
				<ul style="list-style-type: none"> 釜山外国語大学の学生を受け入れ、ホームステイ、玄海町花火大会・唐津青翔高校の学生との交流、本町の小学生への韓国語講座等を実施した。 期日：平成25年7月26日～29日 訪問団：15名

(注) 提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

エ その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成23年度の主な交流状況
鹿島市	韓国 釜山外国語大学 2003年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学との交流は、第8回(1992)「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ300名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。	釜山広域市にある、4年生総合大学。1982年開校。外国語と外国文化に精通した人材を養成することにより、国際社会に貢献する学生を輩出することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 第28回鹿島ガタリンピックに参加。釜山外国語大学校副総長・教授・学生43名(H24.6.1～H24.6.4)
有田町	韓国 (社)韓国陶磁文化協会 1996年8月28日 (再調印) 2007年5月3日	(社)韓国陶磁器文化協会と有田については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後とも陶磁器文化交流と発展、日韓友好親善増進に相互協力するため友好団体の盟約を締結		<ul style="list-style-type: none"> 「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会金会長ら関係者参列(H24.5.4)

④ 教育機関の姉妹友好等提携交流

ア 大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐 賀 大 学 *大学間	ア メ リ カ 合 衆 国	ア ン ダ ー ソ ン 大 学	S53.12.27
	大 韓 民 国	全 南 大 学 校	H03.03.08
	タ イ 王 国	カ セ サ ー ト 大 学	H08.12.06
	ア メ リ カ 合 衆 国	カ リ フ ォ ル ニ ア 大 学 デ イ ビ ス 校	H09.07.24
	大 韓 民 国	安 東 大 学 校	H09.12.11
	中 華 人 民 共 和 国	華 東 師 範 大 学	H10.05.15
	英 国	グ ラ ス ゴ ー 大 学	H10.07.17
	タ イ 王 国	コ ン ケ ン 大 学	H10.09.28
	中 華 人 民 共 和 国	北 京 工 業 大 学	H10.12.08
	大 韓 民 国	国 民 大 学 校	H11.03.29
	中 華 人 民 共 和 国	首 都 師 範 大 学	H11.04.12
	ス リ ラ ン カ 民 主 社 会 主 義 共 和 国	ペ ラ デ ニ ヤ 大 学	H11.11.30
	大 韓 民 国	釜 山 大 学 校	H12.02.02
	大 韓 民 国	木 浦 大 学 校	H12.08.03
	中 華 人 民 共 和 国	中 国 農 業 大 学	H12.10.17
	ベ ト ナ ム 社 会 主 義 共 和 国	ハ ノ イ 農 業 大 学	H12.12.07
	イ ン ド ネ シ ア 共 和 国	ハ サ ヌ デ ィ ン 大 学	H13.03.09
	バ ン グ ラ デ シ ュ 人 民 共 和 国	バ ン グ ラ デ シ ュ 工 科 大 学	H13.04.27
	台 湾	輔 仁 カ ト リ ッ ク 大 学	H13.08.09
	ル ー マ ニ ア	ア レ ク サ ン ド ル イ オ ン ク ザ 大 学	H13.09.11
	イ ン ド ネ シ ア 共 和 国	ガ ジ ヤ マ ダ 大 学	H13.11.01
	中 華 人 民 共 和 国	遼 寧 師 範 大 学	H13.11.06
	中 華 人 民 共 和 国	ハ ル ビ ン 工 業 大 学	H13.11.12
	大 韓 民 国	釜 慶 大 学 校	H14.04.18
	大 韓 民 国	済 州 大 学 校	H14.08.09
	イ ン ド ネ シ ア 共 和 国	サ ム ラ ツ ラ ン ギ 大 学	H14.09.13
	大 韓 民 国	韓 国 技 術 教 育 大 学	H14.10.08
	中 華 人 民 共 和 国	華 東 理 工 大 学	H15.04.01
	バ ン グ ラ デ シ ュ 人 民 共 和 国	ラ ジ ヤ ヒ 大 学	H15.05.18
	フ ラ ン ス 共 和 国	ブ ル ゴ ー ニ ュ 大 学	H15.07.01
	イ ン ド ネ シ ア 共 和 国	リ ア ウ イ ス ラ ム 大 学	H15.07.02
	オ ー ス ト ラ リ ア	ラ ト ロ ー ブ 大 学	H15.07.31
	バ ン グ ラ デ シ ュ 人 民 共 和 国	バ ン グ ラ デ シ ュ 農 科 大 学	H16.08.28
	中 華 人 民 共 和 国	浙 江 理 工 大 学	H16.09.06
	台 湾	国 立 政 治 大 学	H16.09.13
	台 湾	国 立 中 興 大 学	H16.09.14
	フ ラ ン ス 共 和 国	オ ル レ ア ン 大 学	H17.03.31
	大 韓 民 国	光 州 女 子 大 学 校	H17.07.14
	カ ナ ダ	マ ニ ト バ 大 学	H17.08.08
	タ イ 王 国	チ ャ ン マ イ 大 学	H17.09.09
台 湾	国 立 台 北 大 学	H17.10.06	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18.03.03
	台湾	国立東華大学	H18.06.30
	大韓民国	培材大学校	H18.07.11
	ベトナム社会主義共和国	ノンラム大学	H18.11.09
	パキスタン・イスラム	コハート科学技術大学	H19.04.27
	大韓民国	牧園大学校	H19.05.16
	インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19.06.11
	大韓民国	大邱大学校	H19.06.26
	台湾	元培科技大学	H19.07.06
	ベトナム社会主義共和国	ハノイ国家大学外国語大学	H19.08.06
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19.08.24
	中華人民共和国	西南政法大学	H19.10.31
	パキスタン・イスラム 共和国	ペシャワール大学	H19.11.10
	カンボジア王国	王立農業大学	H19.11.21
	タイ王国	アジア工科大学	H19.11.21
	中華人民共和国	浙江科技大学	H19.12.25
	タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20.01.03
	アメリカ合衆国	パシフィック大学	H20.02.29
	中華人民共和国	遼寧大学	H20.04.30
	台湾	国立連合大学	H20.08.08
	インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21.09.04
	台湾	文藻外語学院	H21.09.04
	ラオス	ラオス国立大学	H22.01.26
	カナダ	ウィルフリッド・ロリエ大学	H22.07.13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22.07.26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22.09.30
	ベトナム社会主義共和国	ビン大学	H23.02.21
	インドネシア共和国	セベラスマレット大学	H23.03.28
	インドネシア共和国	ジュアンダ大学	H23.07.15
	インドネシア共和国	マラン州立大学	H23.12.07
	インドネシア共和国	ボゴール農業大学	H23.12.27
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	H24.03.13
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校工科大学	H24.03.13
	アメリカ合衆国	スリッパリーロック大学	H24.04.04
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24.08.28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24.11.30
	タイ王国	タマサート大学	H25.02.13
	バングラディシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25.02.20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25.03.11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25.08.26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25.11.08
	インドネシア共和国	ジャカルタ国立大学	H26.2.11

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
*学部間			
文化教育学部	アメリカ合衆国	リッヂモンド大学	H04.03.01
	中華人民共和国	華東師範大学 教育技術学院	H09.03.10
	英 国	グラスゴー大学	H09.03.18
	アメリカ合衆国	デンヴァー大学 人文学部	H09.03.26
	大韓民国	釜慶大学校 人文社会科学大学	H12.12.14
	フランス共和国	NEMO国際共同研究グループ	H14.07.01
	大韓民国	江南大学校 第Ⅲ大学	H15.09.22
	中華人民共和国	浙江大學 城市学院	H17.01.12
経済学部	中華人民共和国	中国社会科学院 世界経済政治研究所	H06.06.30
医学部	中華人民共和国	南昌大学 医学院	H5.2.22
	中華人民共和国	大連医科大学	H10.10.29
	中華人民共和国	第四軍医大学	H12.10.31
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 医学部	H14.02.14
理工学部	英 国	グラスゴー大学	H05.06.28
	タイ王国	カセサート大学 工学部	H08.12.02
	スリランカ民主社会主義共和国	モラツワ大学	H08.12.13
	英 国	ベルファーストクイーンズ大学	H09.12.16
	英 国	イースト・アングリア大学工学部	H10.01.22
	チェコ共和国	プラハ化学技術大学	H10.07.20
	スロバキア共和国	コメニウス大学 自然科学部	H11.06.17
	スロバキア共和国	コメニウス大学 数学物理学部	H11.06.17
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学 衛生土木工学部	H11.10.05
	バングラデシュ人民共和国	クルナエ工業技術大学	H12.03.01
	大韓民国	慶北大学校 師範大学数学教育科	H18.10.30
	カナダ	コンコルディア大学 工学情報科学部	H13.07.27
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14.11.27
	ネパール王国	トリブバン大学 理工学部	H15.03.02
	大韓民国	大邱カトリック大学校 自然科学大学・工科大学	H15.03.21
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15.03.28
	バングラデシュ人民共和国	ジャフジャラル大学 応用科学技術学部	H15.05.25
	中華人民共和国	浙江大学 建築工程学院	H15.09.11
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	H16.06.01
	中華人民共和国	西北大学 化学学部	H16.12.24
	大韓民国	延世大学 理学部	H17.04.11
	中華人民共和国	清華大学 理学院	H18.03.22
	大韓民国	高神大学校 自然科学大学	H19.11.23
	中華人民共和国	武漢大学 数学与統計学院	H21.12.24
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25.2.19
	インドネシア共和国	マラン国立ポリテクニクス	H25.11.29
	工学系研究科	中華人民共和国	中国科学院 長春応用化学研究所

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
農 学 部	大 韓 民 国	全南大学校 農科大学	S62.04.27
	タ イ 王 国	コンケン大学 農学部	S63.06.29
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学 農学部	H06.09.20
	マ レ ー シ ア	マレーシアプトラ大学 農学部	H01.03.16
	タ イ 王 国	カセサート大学	H07.06.07
	カ ナ ダ	セントメリーズ大学 科学部	H08.07.23
	マ レ ー シ ア	マレーシア科学大学 生物科学部	H08.08.07
	大 韓 民 国	済州大学校 農科大学	H09.06.16
	大 韓 民 国	木浦大学校 食品産業技術研究センター	H09.08.28
	大 韓 民 国	牧園大学校 テクノ科学大学	H17.12.01
	タ イ 王 国	チュラロンコン大学 理学部	H17.12.01
タ イ 王 国	キングモンクット大学 ソンプリ校 生命資源技術大学	H18.12.07	
農学 研究科	英 国	インペリアルカレッジロンドン大学生物学科	H05.07.26
海洋エネルギー 研究センター	大 韓 民 国	釜慶大学校 新環境先端エネルギー 機 械 研 究 セ ン タ ー	H16.09.17
	マ レ ー シ ア	マレーシア工科大学海洋温度差 エ ネ ル ギ ー 研 究 セ ン タ ー	H26.2.20
産学・地域 連携 機構	中 華 人 民 共 和 国	上海交通大学 高度技術企業化室	H13.08.15
シンクロトロン光 応用研究センター	中 華 人 民 共 和 国	上海交通大学 複合材料研究所	H14.04.01
シンクロトロン光 応用研究センター 低平地研究 セ ン タ ー	中 華 人 民 共 和 国	上海応用物理研究所 上海	H23.04.06
	大 韓 民 国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18.03.06
	英 国	リバプール大学 物 理 学 教 室	H18.04.01
	ロ シ ア 連 邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び	H22.09.09
	オーストラリア連邦	シドニー大学 地盤工学研究センター	H16.06.21
低平地研究 セ ン タ ー 国際交流推進セン タ ー	中 華 人 民 共 和 国	同済大学土木行程学院地盤工学科	H16.07.18
	中 華 人 民 共 和 国	上海交通大学 土木工学科	H18.07.07
	大 韓 民 国	ソウル国立大学 海洋研究所	H19.01.18
	台 湾	文藻外語学院 日本語学科	H20.03.17
佐賀女子短期大学 *大学間	ア メ リ カ 合 衆 国	ウイソコンシン州立大学 リバーフォールズ校	H10.12.18

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀女子短期大学 *大学間	ア メ リ カ 合 衆 国	アデIRONダックコミュニティーカレッジ	H08.08.09
西九州大学 短期大学部	大 韓 民 国	慶 州 大 学 校	H11.11.12
*大学間	大 韓 民 国	蔚 山 科 学 大 学	H22.01.15
	中 華 人 民 共 和 国	南 通 農 業 職 業 技 術 学 院	H15.10.26
	中 華 人 民 共 和 国	連 雲 港 職 業 技 術 学 院	H17.06.29
	英 国	グ ロ ス タ シ ャ ー カ レ ッ ジ	H20.07.13
	ア メ リ カ 合 衆 国	ア デ ィ ロ ン ダ ッ ク 短 期 大 学	H22.11.23
西九州大学 短期大学部	タ イ 王 国	ブ ラ パ ー 大 学	H24. 8.27
*大学間	台 湾	国 立 宣 蘭 大 学	H24.11. 7
	台 湾	元 培 科 技 大 学	H24.11. 8
九州龍谷短期大学 *大学間	大 韓 民 国	牧 園 大 学 校	H22.12.14
*大学間	大 韓 民 国	恵 泉 大 学 校	H23.10.13
	大 韓 民 国	善 隣 大 学	H17.03.25
	大 韓 民 国	釜 山 女 子 大 学	H19.03.06
九州龍谷短期大学 *大学間	中 国	凱 里 学 院	H20.05.08
佐賀県立有田窯業 大学校	中 国	盤 錦 職 業 技 術 学 院	H20.07.12
	中 国	貴 州 民 族 学 院	H20.05.09
	大 韓 民 国	釜 山 経 商 大 学	H23.11.09
	大 韓 民 国	東 義 科 学 大 学	H23.07.25
	中 国	遼 寧 師 範 大 学 国 際 教 育 学 院	H24.12.17
	ド イ ツ	ハ レ 芸 術 デ ザ イ ン 大 学	H17.5.16

イ 高等学校

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀北高等学校	1992年3月 グレンズフォールズ高（アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として、提携交流している。	ホームステイなどの体験を通じて交流を深めている。 ・平成13年3月 姉妹校訪問 ・平成16年3月 姉妹校訪問 ・平成17年3月 姉妹校訪問受入（20名） ・平成18年3月 姉妹校訪問 ・平成20年10月 姉妹都市より訪問受入（13名） ・平成22年3月 姉妹校訪問（1名） ・平成24年3月 姉妹校訪問（5名） ・平成25年6月～7月 姉妹校訪問受入（10名） ・平成26年3月 姉妹校訪問（2名）
佐賀東高等学校	1990年11月17日 クイーンズベリー高（アメリカ）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として、提携交流している。	・平成16年3月に、東高より2名がグレンズフォールズへホームステイ ・平成18年3月に、東高より1名がグレンズフォールズへホームステイ ・平成19年3月に教諭1名、生徒5名がグレンズフォールズへホームステイ ・平成21年8月～9月 姉妹校訪問受入（10名） ・平成26年3月に東高より1名がグレンズフォールズへホームステイ

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀商業高等学校	1995年7月4日 ハードリー・ルザン高(アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡の姉妹都市交流の一環	<ul style="list-style-type: none"> ・隔年で相互に訪問し、ホームステイ体験等を通じて交流を深めている。 ・平成15年7月に姉妹校訪問団を受け入れた。 ・平成16年3月に姉妹都市を訪問した。 ・平成18年3月 姉妹都市訪問 ・平成20年3月 姉妹都市訪問 ・平成22年3月 姉妹都市訪問 ・H22, 3, 25~H22, 4, 4 姉妹高校訪問 (教諭1名、生徒5名) ・H23. 10. 28 「東南アジア青年の船」事業 地方プログラムへの参加 (本国青年と本校生徒との交流) ・H24. 3. 24~H24. 4. 4 グレンズフォールズ市交流生徒派遣(生徒2名) ・H24. 6. 27~H24. 7. 4 グレンズフォールズ市ハード ルザン高よりホーム ステイ受入。交流を行った。 (教諭1名、生徒7名)

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
唐津青翔高等学校	2008年1月14日 釜山外国語大専校（韓国）	玄海町国際交流協会の活動を 通じ、本校と釜山外国語大専校との交流が提案され九州で 初となる大学・高校間の姉妹 締結協定が調印された。	・平成20年7月 姉妹校訪問受入（学生22名、 職員・保護者7名） ・平成21年7月 姉妹校訪問受入（学生20名、 職員3名） ・平成コースの平成22年7月 姉妹校訪問受入（学生18名、 職員6名） 普段は学生・生徒間での電子 メールによる交流が行われて いる。 ・平成23年7月姉妹校訪問 受入（学生9名、職員1名） ・平成24年7月姉妹校訪問受 入（学生15名、職員3名） ・平成25年7月 学生13名、職員2名
	2010年1月29日 仁川第一高等学校（韓国）	韓国の仁川第一高等学校の研 修旅行で佐賀県を訪れた際 に、本校を訪問。	・平成22年1月29日 訪問受入（生徒45名、職員） グループに分かれ本校の授業 を体験。 その後、本校のハングルを学 ぶ地域文化コースの生徒と交 流会を実施。
	2011年1月29日 K-Art日韓美術研修訪 日団（韓国）	韓国のK-Art日韓美術 研修訪日団が研修で佐賀県を 訪れた際に、本校を訪問。	・平成23年1月29日 訪問受入（生徒54名、職員12 名、保護者2名） 本校の芸術コース（美術・書 道）と地域文化本校の芸術コ ース（美術・書道）と地域文 化生徒が似顔絵や文字（書道） を書いて交流。 ・平成24年1月18日受入（生 徒40名、職員8名、保護者2 名）

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
	2011年12月20日(火) 全羅南道青少年交流訪問団 (韓国)	全羅南道市の青少年交流訪問団が研修で北部九州と訪れた際に本校を訪問。	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年1月26日訪問受入(生徒84名、引率4名) 平成23年12月20日訪問受入(生徒15名、引率3名) 平成24年12月18日訪問受入(生徒25名、引率4名)お互いに出し物をして交流会を実施
佐賀学園高等学校	1981年4月1日 ソウル特別市 <small>ヨンドンポ</small> 永登浦工業高校(韓国)	佐賀新聞社の紹介により締結	<ul style="list-style-type: none"> サッカー部の相互訪問、親善試合や修学旅行の際の交歓会による交流 平成17年3月、職員数名が <small>ヨンドンポ</small> 永登浦工業高校校長を表敬訪問
佐賀女子高等学校	2002年1月11日 <small>キョンジュ</small> 慶州市 <small>ソンドク</small> 善徳女子高校(韓国)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、2001年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。2002年1月に来校。提携校協定を結ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、職員の文化交流と研修。相互訪問し、生徒約20名は相互の生徒宅にホームステイ 平成14年1月から毎年、相互訪問を実施している 平成25年度7月19日から21日受入(生徒20名、職員4名) 生徒自宅にホームステイ、職員間の交流を実施
龍谷高等学校	1998年3月27日 レイクジョージ高(アメリカ)	グレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として、交流している。	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年3月姉妹校訪問4名 平成10年6月姉妹校受入4名 平成14年3月姉妹校訪問2名 平成16年3月姉妹校訪問1名 平成18年3月姉妹校訪問6名 平成19年6月姉妹校受け入れ11名+引率2名 平成20年3月姉妹校訪問2名 平成21年3月姉妹校訪問1名 平成22年3月姉妹校訪問1名 平成24年3月姉妹校訪問1名 平成25年3月姉妹校訪問5名

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
牛 津 高 等 学 校	中華職業学校（上海）	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」で3年後に姉妹校提携を目指す。 今年度は1年目で、上海を訪問し、交流を行った。	平成24年3月20日～23日 職員6名・生徒20名 学校紹介を行ったが、通訳を介しての説明だったため時間を要した。 実技交流では桂むきやねじり梅をお互いに披露した。 和菓子や抹茶を提供を行った。
	① 上海市曹楊職業技術学校（上海）	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」2年目であるが、昨年度とは異なる学校との交流であったので、今後、提携に向けての協議を進めていく予定。	平成25年12月16日～18日に職員6名・生徒12名が上海を訪問し、交流を行った。 (交流内容) ・相互の学校紹介、質疑応答 ・点心づくりによる生徒同士の交流
	② リセ オテルリ(フランス)	フランスの職業リセ「リセ オテルリ」と12月に、国際交流の協定書を締結し、フランスへ3週間程度の短期留学生を派遣した。今後は、さらに相互の交流を深めていきたい。	平成26年3月2日～3月26日に、食品調理科男子2名(1年生1名2年生1名)を派遣した。 (内容) ・リセオテルリの寮に滞在し、調理に関する実習、語学研修、観光施設等の見学 ・ホームステイ、小旅行 ・現地の日本人シェフ経営のレストランでの実習等

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐 賀 県 立 鹿島実業高等学校	上海工商信息学校	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。	<p>2013年3月6日～9日 (3泊4日)</p> <p>参加生徒10名、引率者3名、国際交流課1名、旅行会社1名、現地で通訳及びガイド2名</p> <p>交流内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員並びに生徒の自己紹介 ・自己紹介 ・調理科の授業見学並びに互いの実技披露 ・レクレーション(相互の文化紹介) ・校内見学 ・歓迎会(夕食会) <p>2014年3月5日～8日 (3泊4日)</p> <p>参加生徒19名、引率者4名</p> <p>交流内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語・中国語での自己紹介 ・英語での日本紹介 ・日本料理の実技、披露 ・中国料理(点心)作り交流 ・会食 ・盆踊り、中国の歌、プレゼント交換などでの交流

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀県立佐賀農業 高 等 学 校	全羅南道 公立全南生命科学高等学 校	「世界とつながる佐賀県青 少年交流推進事業」に応募 し、採択された。	<p>2013年12月3日～5日 (2泊3日) 参加生徒12、引率4 交流内容 ・学校・生徒の自己紹介 ・施設見学 ・食文化の交流(ヤクシと菓子作り) ・スポーツ交流会 ・パプリカ農園見学 など</p> <p>2013年8月6日 (訪問受入) 訪問生徒18、引率6 交流内容 ・学校・生徒の自己紹介 ・食文化の交流(須古寿司とピザ作り) ・校内見学 ・茶道体験 など</p>

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
唐津商業高等学校	2012年7月23日 麗水情報科学高等学校(韓国全羅南道麗水市)	唐津市と麗水市は30年を超えて姉妹都市関係にある。平成24年1月に麗水情報科学高校から唐津市に交流希望の申し出があり、佐賀県教育委員会を介して紹介を受けた。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年7月23日から25日までハングルを履修している3年生8名と教員4名が訪問した。学生寮に宿泊して、世界博覧会見学や授業体験、調理実習などを行い交流した。 ・平成24年11月15日から18日まで観光学科日本語専攻の生徒16名と教員4名の訪問を受けた。授業体験や調理実習、部活動見学、少年自然の家宿泊研修などを行い交流した。
北陵高等学校	1990年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校(アメリカ)	佐賀市とグレンフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として、提携交流している。	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年3月姉妹校訪問3名 平成7年6月28日～7月5日には姉妹校より受け入れを行った。 本校より隔年で1名、グレンフォールズ市の佐賀市生徒訪問団として派遣、ホームステイを行っている。
嬉野高等学校	第一中東職業技術専門学校(遼寧省)	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。	<ul style="list-style-type: none"> 2013年10月29日(火)～11月1日(金) 職員3名 国際交流課1名 佐賀県瀋陽事務所2名 交流内容 <ul style="list-style-type: none"> ・授業、施設見学 ・本校紹介ビデオの上映 ・歓迎夕食会

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐 賀 県 立 高 志 館 高 等 学 校	全羅南道 全南自然科学高等学校	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された	平成25年10月17日 ～20日（3泊4日） 参加生徒 10名 引率職員 4名 交流内容 ・学校紹介 ・施設見学 （農場、食品加工施設等） ・食品製造実習へ参加 （カップケーキ製造） ・自己紹介 ・自国文化の紹介 ・自国の歌披露 など
佐賀工業高等学校	全羅南道 順天工業高等学校	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」で3年後に姉妹校提携を目指す。 H25年度は、1回目の訪問を行った。	2013年12月10日～12日 職員3名・生徒6名 国際交流課1名、旅行会社1名、現地での通訳及びガイド1名 交流内容 ・学校・生徒の自己紹介 ・施設見学 ・工業技術の交流（電気科・機械科実習） ・部活動見学（ラグビー・柔道・韓国相撲）

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
多久高等学校	貴州大学附属中学校 (中華人民共和国)	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募して採択されたため、来年度からの本交流に向けて、職員による事前視察を行った。	2014年3月5日～8日 (3泊4日) 職員3名 視察内容 ・お互いの学校紹介 ・交流日時、内容についての検討、確認等 ・施設見学 ・少数民族(ミャオ族)村の視察
武雄高等学校	朝鮮第一中(高等)学校 (中国遼寧省撫順市) 同済大学附属七一中学校 (中国上海市)	如蘭塾から遼寧省に派遣された生徒がいるということで依頼を受け、訪問の受け入れをし、交流を行った。 「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」で3年後に姉妹校提携を目指す。 今年度は1年目で、訪問をし、交流を行った。	平成25年11月5日に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」で中国へ派遣される生徒10名との交流会を持った。座談会、授業参加、部活動体験などを行った。 平成25年11月13日より16日まで上海市を訪れ、各校紹介、座談会、授業参加(英語、カンフー、水墨画)などを行った。

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
唐津西高等学校	貴州省 貴州師範大学附属中学校	「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。	2014年3月5日～8日 夏に予定している本交流の円滑な実施のため、事前に受入側の学校等を訪問した。生徒主体の交流会やホームステイの実施に向けて、生徒2名教員3名が参加し打ち合わせを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の期日、内容協議 ・ホームステイの可否検討 ・学校見学及び授業参観 ・西江ミャオ族村見学 など

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐 賀 県 立 杵島商業高等学校	全羅南道 順天市 青岩高等学校	今年度、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年後の姉妹校提携に向けて、交流を深めている。	2013年12月18日～20日 (2泊3日) 参加生徒10名、引率者4名 交流内容 ・ 歓迎会 (学校紹介、生徒の自己紹介、韓国語の歌) ・ 部活動見学、体験 (被服部、韓国式茶道) ・ 校内施設見学 ・ 体験学習 (スマート教育) 熱烈歓迎を受け、生徒職員ともに良好な交流関係の一步を踏み出せた。各生徒にパートナーが付き、言葉の壁を越えた積極的な交流ができた。
唐 津 南 高 校	上海市平和双語学校		平成25年7月19日、上海市平和双語学校の生徒6名と引率教諭1名、中国領事館職員2名が来校 訪問目的が日本の高校生の生活について知るためであったため、本校の授業見学と本校生徒10名との意見交換を行った。

ウ 中 学 校

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀市立 昭 栄 中 学 校	1990年11月17日 ハードリー・ルザーレン中 (アメリカ) 2007年8月23日	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として提携交流している。	2002年3月25日～4月4日 ハードリー・ルザーレン中を訪問 (生徒1名、職員1名) 2003年6月30日～7月10日

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
	連雲港市外国語学校 (中国)	佐賀市の姉妹都市として ニーハオ少年使節団を隔年 派遣し交流を続けている	<p>ハードリールザーレン中来日 7月2日～10日まで佐賀でホームステイをしながら交流 (中学生徒10名、職員2名)</p> <p>2007年は中国側から来佐、昭栄中学校で生徒との意見交換会や部活動見学等で交流</p> <p>2010年3月25日～4月4日 グレンズフォールズ市へ教員1名と生徒5名が訪問、ホームステイをしながらハードリー・ツザーレン中学校等との交流</p> <p>2010年8月20日～25日 ニーハオ少年使節団連雲港・上海教員1名と生徒3名が参加 ホームステイしながら交流、上海万博見学</p> <p>2012年6月28日～7月4日 グレンズフォールズ市(ハードリールザーレン)より教員生徒10名来校。ホームステイをしながら、授業体験、文化交流、パネルディスカッションを行う。</p>
佐賀市立 鍋 島 中 学 校	1990年11月17日 クイーンズベリー中(アメリカ)	〃	<p>2001年6月27日～7月4日 クイーンズベリー中より来佐、ホームステイをしながら交流</p> <p>2006年夏休みに中国を訪問(生徒2名)</p> <p>2008年3月25日～4月4日 クイーンズベリー中を訪問(生徒5名、職員1名)</p> <p>2009年8月31日～9月4日 クイーンズベリー中より来佐、ホームステイをしながら交流 (中学生9名、職員1名)</p> <p>H.25年度変更なし</p>

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀市立 城南中学校	1998年3月27日 レイクジョージ中（アメリカ）	〃	1999年7月1日～7月6日 レイクジョージ中より来佐、ホームステイをしながら交流 2006年3月27日～4月2日 レイクジョージ中訪問、ホームステイをしながら交流 （本校生徒5名、職員1名） 2007年6月27日～7月5日 レイクジョージ中来佐、ホームステイをしながら交流 （中学生徒10名、職員2名） 2014年3月25日～4月4日 レイクジョージ中訪問、ホームステイをしながら交流 （本校生徒5名、職員1名）
佐賀市立 成章中学校	1990年11月17日 ウォーレンズバーグ中（アメリカ）	〃	2007年2月9日 ・中華人民共和国東莞市から修学旅行団が来られ、1年生が総合的な学習の時間「国際理解教育」の一環として交流活動を行った。本校は吹奏楽部が演奏を披露し、旅行団は個人やグループでの出し物を見せられた。最後は、折り紙作りでの交流を行い、両生徒とも心に残る思い出ができた。 2008年7月11日 ・中華人民共和国邯鄲市から修学旅行団が来られ、3年生が総合的な学習の「国際理解教育」の一環として交流活動を行った。本校は琴とリコーダーで「さくらさくら」と中国の民謡「茉莉花」の演奏を披露し、旅行団は個人やグループでの出し物を見せられた。

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			<p>折り紙作りでの交流を行った後、記念写真撮影も行い、心に残る思い出ができた。</p> <p>2008年12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イーメンズ国際平和教育主催の「国際児童生徒・絵画交流会」で大韓民国に本校生徒の絵画作品を送付した。 <p>H.25年度変更なし</p>
佐賀市立 城西中学校	1989年5月22日 グレンズフォールズ中（アメリカ）	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・2004年3月25日～4月4日グレンズフォールズ中を訪問（生徒5名、職員1名） ・2005年7月5日～7月14日フレンズフォールズ中より来佐ホームステイをしながら交流 ・2012年3月24日～4月5日グレンズフォールズ中を訪問（生徒5名、職員1名）

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
唐津市立 第一中学校	1996年11月16日 麗水市 麗水中学校 (韓国)	<ul style="list-style-type: none"> ・1982年3月 唐津市と麗水市が姉妹都市締結 ・1996年11月 両市の姉妹都市締結の趣旨を尊重し、両市の教育発展と友好親善に寄与するため麗水中学校と第一中学校姉妹校締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・1995年9月 麗水中学校生徒作品（絵画、書道）送着。校内及び市役所で展示紹介 ・1996年3月 第一中学校生徒作品（絵画、書道）を麗水中学校へ送付 ・1997年7月30日～8月2日 第一中学校野球部27名訪韓し、麗水中学校野球部と交流試合及び親善交流を行った。 ・1998年8月3日～5日 麗水中学校野球部25名来日。本校野球部と交流試合及び親善交流を行った。 ・2001年1月 第一中学校生徒作品（絵画、書道等）を麗水中学校へ送付 ・2001年5月24日 韓国中学生訪日研修団50名来校、親善交流（日韓文化交流基金主催） ・2002年1月 麗水中学校生徒作品（絵画）送着、校内で展示 ・2002年10月 麗水市・唐津市姉妹締結20周年記念事業（式典等麗水市で開催）*唐津一中生徒作品展 美術、書道作品出品 <p>H.25年度変更なし</p>
神崎市立 脊振中学校	1989年10月1日 山西大附属中学校 (中国)	<ul style="list-style-type: none"> スッポン養殖のため、山西省から3名の研修生が脊振村を訪問したことを契機として姉妹締結 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年8月 脊振中→山西大附属中（生徒6名・教師2名） ・平成5年5月 山西大附属中→脊振中（職員等 5名）

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年8月 脊振中→山西大附属中 (生徒6名・教師2名) ・平成8年8月 脊振中→山西大附属中 (生徒6名・教師2名) ・平成9年7月 山西大附属中→脊振中 (生徒6名・職員7名) ・平成10年8月 脊振中→山西大附属中 (生徒6名・教師2名) ・平成11年11月 山西大附属中→脊振中 (生徒5名・職員4名) ・平成12年8月 脊振中→山西大附属中 (生徒6名・教師2名) ・平成13年8月 山西大附属中→脊振中 (生徒4名・職員4名) ・平成14年8月 脊振中→山西大附属中 (生徒6名・教師2名) ・平成15年 総合学習の中で講師を招き中国語講座を開く。(SARSのため訪問はなし) ・平成16年8月 脊振中→山西大附属中 (生徒6名・職員2名) ・平成17年9月27日～30日 脊振中→山西大附属中 (山西大附属中50周年式典訪問職員1名) ・平成17年10月～ 中国語講座を3回開く ・平成17年12月(8日)

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			山西大附属中→脊振中 (職員 4 名) ・平成 18 年 6 月 総合学習の中で講師を招き、中国の文化について学習する ・平成 18 年 8 月 脊振中→山西大附属中 (生徒 6 名 職員 4 名) ・平成 19 年 8 月 山西大附属中→脊振中 (生徒 6 名、職員 5 名) ・平成 20 年 8 月 脊振中→山西大附属中 (生徒 6 名、職員等 3 名) ・平成 22 年 2 月 山西大附属中→脊振中 (生徒 7 名、職員等 5 名) ・平成 22 年 8 月 脊振中→山西大附属中 (生徒 6 名、職員等 5 名) ・平成 23 年 8 月 山西大附属中→脊振中 (生徒 6 名、職員等 3 名) ・平成 24 年 8 月 脊振中→山西大附属中 (生徒 7 名、職員等 4 名) ・平成 25 年 8 月 山西大附属中→脊振中 (生徒 6 名、職員等 3 名)
佐賀市立 三 瀬 中 学 校	1988 年 4 月 19 日 アキテーヌ州 ジロンド県 クサク村 (フランス)	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と、「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹提携がなされた。	・H12. 8. 14～8. 22 訪問団派遣 ・H13. 7. 31～8. 12 訪問団受入 ・H14. 8. 14～8. 22 訪問団派遣 ・H15. 8. 10～8. 20 訪問団受入

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			<p>(生徒.0B12名 引率3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H16. 8. 14～8. 21 訪問団派遣 (生徒15名・引率2名) ・H17. 7. 20 総合学習で仏語講座開く ・H17. 8. 3～8. 12 訪問団受入 ・H18. 8. 21～8. 29 訪問団派遣 (生徒12名、引率3名) ・H19. 7. 10 仏語講座 ・H19. 7. 28～8. 11 訪問団受入 (生徒8名、引率5名) ・H20. 8. 20～8. 27 訪問団派遣 (生徒9名、引率3名) ・H21. 5. 15 姉妹村友好ぶどう記念植樹(どんぐり村) ・H21. 8. 2～8 訪問団受入(生徒6名、引率3名) ・H22. 8. 20～27 訪問団派遣(生徒10名、引率3名) ・H23. 11. 6～8 訪問団受入(3名) ・H24. 8. 26～9. 2 訪問団派遣(生徒11名、引率3名) H25. 8 訪問団受入(8名)
<p>上峰町立 上 峰 中 学 校</p>	<p>2004年8月27日 ライオン 大神中学校(韓国)</p>	<p>昭和55年3月上峰町剣道愛好団体の間で日韓剣道文化交流が始まる。</p> <p>平成13年5月剣道交流を通じて知り合った驪州郡出身の大学教授に故郷である驪州郡を紹介され、行政及び議会間の交流を開始</p> <p>平成15年4月町長・教育長・企画課長が驪州郡を訪問し、青少年交流について協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイによる相互訪問交流 ・文化・歴史・作品・スポーツによる交流活動 ・語学研修と情報媒体を通じた交流活動 ・研究・教育のための教師の学術的交流活動 ・平成16年1月29日～2月1日 訪問団受入 ・平成16年8月26日～29日 驪州郡大神中高等学校訪問団

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
		<p>平成 15 年 8 月上峰町青少年驪州郡訪問事業を開始し同時に学校間交流を開始</p> <p>平成 16 年 1 月驪州郡青少年上峰町訪問事業</p> <p>平成 16 年 8 月上峰町青少年驪州郡訪問事業</p> <p>姉妹校締結調印</p>	<p>派遣 大神中学校との姉妹校締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年 8 月 24 日～26 日 訪問団受入 ・平成 18 年 8 月 24 日～27 日 驪州郡大神中学校、昌明女子中学校訪問団派遣 ・平成 19 年 3 月 18 日～20 日 驪州郡大神中学校、昌明女子中学校訪問団派遣 ・平成 21 年 11 月 13 日 驪州郡大神中学校、昌明女子中学校歓迎式典 ・平成 22 年 8 月 25～27 日 訪問団派遣 ・平成 23 年 3 月 15 日 驪州郡大神中学校、昌明女子中学校歓迎式典 ・平成 24 年 8 月 27～30 日 訪問団派遣 ・平成 25 年 5 月 30 日 驪州郡大神中学校歓迎式典
<p>武雄市立 山内中学校</p>	<p>1993 年 3 月 カリフォルニア州 セバストポール市 ブルックヘイブン中学校 (アメリカ)</p>	<p>昭和 60 年 2 月 セバストポール市議会、山内町議会で国際姉妹都市の締結について議決</p> <p>昭和 60 年 3 月 セバストポール市よりミラー市長夫妻と生徒 1 名が山内町を訪れ、国際姉妹都市友好提携協定書を交わす。</p> <p>平成 4 年 11 月 セバストポール市より 8 名が山内町を訪れ、山内中とブルックヘイブン中学校との姉妹校締結の事前打合せ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 3 年 4 月 山内町⇒セバストポール市 (教諭 1、町職 1、高校生 7、中学生 7 計 17 名) ・平成 4 年 11 月 セバストポール市⇒山内町 (8 名) 山内中とブルックヘイブン校との姉妹締結の事前打ち合わせ ・平成 12 年 4 月 セバストポール市⇒山内町 (20 名) ・平成 13 年 3 月 山内町⇒セバストポール市

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
		<p>平成5年3月 ブルックヘイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。</p> <p>(平成 18 年 山内町が武</p>	<p>(中学生14名、大人2名 計16名)</p> <p>・平成14年3月 セバストポール市⇒山内町(計20名)</p> <p>・平成15年8月 山内町⇒セバスポール市 (中学生14名、大人2名 計16名)</p> <p>・平成16年4月 セバストポール市⇒山内町 (中学生14名、大人4名 計18名)</p> <p>・平成16年7月 山内町合併50周年に伴い、セバスポール市 より市長ほか5名が山内町を訪問、記念事業へ参加</p> <p>・平成17年3月 セバストポール市⇒山内町 (会長1名、中学生16名、引率3名 計20名)</p> <p>・平成19年3月 山内町⇒セバスポール市(計22名)</p> <p>・平成20年3月 セバスポール市⇒山内町 (中学生16名、大人5名 計21名)</p> <p>・平成21年3月 山内町⇒セバスポール市 (中学生18名、大人3名 計21名)</p> <p>・平成22年4月 セバスポール市⇒山内町 (中学生18名、大人5名 計23名)</p> <p>・平成23年3月</p>

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
		雄市と合併) 平成 23 年 4 月 16 日 武雄市、セバストポール市 との姉妹都市締結の再調印	武雄市⇒セバストポール市 (中学生 18 名、大人 5 名、計 23 名) ・平成 24 年 3 月 セバストポール市⇒武雄市 (中学生 18 名、大人 3 名 計 21 名) ・平成 25 年 3 月 武雄市⇒セバストポール市 (中学生 18 名、大人 3 名 計 21 名) ・平成 26 年 3 月 セバストポール市⇒武雄市 (中学生訪問)

エ 小 学 校

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀市立 勸 興 小 学 校	1989 年 5 月 22 日 サンフォード・ストリー ト小 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォー ルズ市を含むウォーリン郡 との姉妹都市交流の一環と して、15 校が提携交流して いる。(小学校 8 校のうちの 1 校として)	・平成 13 年 7 月 2 日 グレンズフォールズ市より訪問(中学 生 3 名) ・平成 15 年 7 月 7 日 グレンズフォールズ市より訪問(高校 生 3 名、教師 1 名) ・平成 17 年 7 月 11 日 (月) グレンズフォールズ市より訪問 (中学生 2 名、教師 1 名) 全校での歓迎式、6 年生の習字の授業 体験、6 年生との交流給食、ゲーム等 でのふれあい交流 ・平成 19 年 7 月 2 日 (月) グレンズフォールズ市より訪問 (高校生 3 名、教師 1 名) ・平成 24 年 7 月 2 日 (月) グレンズフォールズ市より訪問 (高校生 2 名、通訳 1 名) 6 年生の習字の授業体験、6 年生との 交流給食、6 年生とのふれあい交流

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀市立 芙蓉小学校	1989年5月22日 ジャクソンハイツ小 (アメリカ) 2012年7月2日 昭栄中から連れてこられたので、どこの学校なのかは不明	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年7月11日(月) グレンズフォールズ市より訪問 (中学生2名、引率教師1名) 授業・給食・昼休みの活動に参加して 体験交流(1年生と生活科、3年生と習字、5年生と音楽、2・3年生と給食、4年生とダンス) ・平成19年7月2日(月) グレンズフォールズ市より訪問 (高校生1名、引率教師1名) 授業・給食・郷土芸能に参加して体験交流(2年生と音楽、3年生と習字、4年生と英語活動、5年生と家庭科「なみ縫い」)1年生と給食、6年生と「獅子舞」) グレンフォールズ市より訪問(高校生1名、中学生1名)。3年生と音楽、4年生と外国語活動、5年生と習字、6年生の算数の授業参観、給食、昼休み、昔遊びなどの交流体験
佐賀市立 久保泉小学校	1990年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ)	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年7月2日 グレンズフォールズ市より訪問 (中学生3名) ・平成15年7月7日 グレンズフォールズ市より訪問 (高校生3名、教師1名) 主に6年生と交流 ・平成17年7月11日 グレンズフォールズ市より訪問 (中学生2名、教師1名) 習字、日本の遊びの紹介、給食交流 ・平成19年7月2日 グレンズフォールズ市より訪問 (中学生2名、教師1名) 日本の文化紹介、給食交流 ・平成22年7月

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			<p>グレンズフォールズ市姉妹校との絵画交流として、児童の書道作品2点を提出</p> <p>・平成24年7月2日</p> <p>グレンズフォールズ市姉妹校より訪問（高校生2名）日本の文化紹介・レクレーションや給食での交流</p> <p>・H25年度は特になし</p>
佐賀市立 金立小学校	1989年5月22日 ビッグクロス・ストリート小（アメリカ）	〃	<p>・H15.7.7 グレンズフォールズ市より訪問（高校生3名、教師1名）</p> <p>・H17.7.11 グレンズフォールズ市より訪問（高校生2名、教師1名） 1・6年の授業参観、5年生と給食交流</p> <p>・H19.7.2 グレンズフォールズ市より訪問（中学生3名、教師1名） 6年生と習字、白玉団子作り、給食で交流</p> <p>・H22.7月 グレンズフォールズ市姉妹校との交流として児童の書道作品を送る。</p> <p>・H24.7.2 グレンズフォールズ市より訪問（中学生2名）</p> <p>・H25 活動なし</p>
佐賀市立 嘉瀬小学校	1990年11月17日 ハードリー・ルザーレン小（アメリカ）	〃	<p>・H15.7.7 グレンズフォールズ市より訪問（高校生3名、教師1名）</p> <p>・H17.7 グレンズフォールズ市より訪問（中校生3名）</p> <p>グレンズフォールズ市より訪問（中学生5名）H19.7.2</p> <p>・H24.7.2</p>

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			グレンズフォールズ市より訪問 (中学生1名、教師1名、通訳1名)
佐賀市立 鍋 島 小 学 校	1990年11月17日 クイーンズベリー小 (アメリカ)	”	1995 年 姉妹都市生徒訪問交流 集会 1997 年 ” 1998 年 姉妹都市生徒訪問交流 2001年 ” 7月2日 2003 年 ” 7月7日グレンズフォールズ市より訪問 (児童3名、教師1名) 2007年7月2日 グレンズフォールズ市より訪問 (児童3名、通訳1名) 2012年7月2日グレンズフォールズ市より訪問 (中学生2名、教師1名) ・H25年度は特になし

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀市立 兵 庫 小 学 校	(1989年)H1年5月22日 ケンシントン・ロード小 (アメリカ) (2002年)H9年9月21日 ブリズベン市 ガーディアン・エンジェ ル小、セントジョーン・ ピアニーズ小 (オーストラリア) (2012年)H24.7.2 グレンフォールズ市よ り姉妹校訪問	(2002年)H9年9月21日 オーストラリアのブリズベ ン市から子どもたち5名がジ ュリエット先生と来校。10 月5日までの2週間兵庫小の 子どもたちの家でホームス テイしながら学校生活を送 った。これを機に交流が始ま り、2003年5月兵庫町教育振 興会の事業として交流団の 結成、実施の運びとなった。	・H14.8.16～8.30 現地でホームステイしながらガーデ イアン・エンジェル小学校とセントジ ョーン・ピアニーズ小学校2校の子ど もたちと交流(引率4名、児童6名) ・H15.7.7 グレンズフォールズ市より訪問(高 校生4名)1年生と七夕交流、5年生 と音楽交流、6年生と給食交流 ・H15.9.17 カナダ、イスラエル、ヨーロッパ等 12カ国より23名が来校。全学年授業 参観と給食交流 ・H16.8.1～8.12 オーストラリア、ブリズベン市でホ ームステイしながらガーディアンエン ジェル小学校とセントジョーンズ・ピ アニーズ小学校2校の子どもたちと交 流(引率4名、児童10名) ・H24.7.2 教育交流訪問団が6/27～7/5まで佐賀 に滞在。ホームステイしながら姉妹校 訪問を行った。7/2に兵庫小を訪問し、 6年児童と授業の中で交流を行った。 H.25年度変更なし

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
佐賀市立 循 誘 小 学 校	1990年11月17日 ウォーレンズバーグ小 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として、15校が提携交流している。(小学校8校のうちの1校として)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年7月7日 グレンズフォールズ市より中学生4名が訪問。5年3組と交流会。 ・平成16年、5年生がアメリカ・ワイオミング州のコルクマウンテン小と交流。ビデオレター作品の交換 ・平成17年7月11日グレンズフォールズ市より中学生3名が訪問 1年生、3年生に分かれ、ゲーム、体育、書道等を体験。 ・平成19年7月2日 グレンズフォールズ市より高校生3名が訪問。6年生と交流会。 ・平成21年9月3日 グレンズフォールズ市より中学生7名が訪問。6年生と5年生の授業体験。全校児童と交流会。 ・平成24年7月2日 グレンズフォールズ市より高校生2名が訪問。4年生・5年生と一緒に授業体験や給食交流。 ・H25年度は特になし
鹿島市立 北 鹿 島 小 学 校	2010年8月4日 チョルナムドヨフンダ 全羅南道高興郡 テソ 大西初等学校	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行うようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 2010年8月3日～6日(3泊4日) 大西初等学校からの訪問 5・6年生32名、引率6名、計38名 ・ホームステイ ・干潟体験 2011年8月23日～26日(3泊4日) 大西初等学校を訪問。『鹿島市日韓子ども交流団』として、北鹿島小学校5・6年生28名、引率9名、計37名が訪問。 ・歓迎会(相互の文化紹介) ・ホームステイ・観光 ・干潟体験・レクリエーション 2012年8月7日～10日(3泊4日) 大西初等学校からの訪問。5・6年生16

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			<p>名、引率6名、計22名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表敬訪問式（鹿島市長・教育長・北鹿島小学校長ほか） ・交流式（全児童） ・交流会（4～6年生） ・日本文化体験（茶道・生け花）交流 ・ホームステイ ・干潟体験交流・昼食交流 ・歓送式 <p><u>2013年8月6日～9日(3泊4日)</u></p> <p>大西初等學校を訪問</p> <p>『鹿島市日韓子ども交流団』として、北鹿島小学校5・6年生19名、引率7名、計26名が訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歓迎式（相互に文化交流） ・染色体験（合同授業） ・高興郡宇宙センターの見学 ・ホームステイ ・庭園博覧会・華厳寺の見学 ・観光（買い物） ・歓送式

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
唐津市立 名 護 屋 小 学 校	1999年10月20日 チョルラナムド、タミヤン 全羅南道潭陽郡 マンドク 萬徳初等学校（韓国）	1999年7月25日名護屋城博 物館で開催された「日韓ふ れあい伝統芸能」に萬徳初 等学校の児童の演技もあ り、校長先生から交流の要 請があった。 「総合的な学習」の国際 理解学習の一環として捉 え、交流していくことを決 定した。 交流に当たっては、相互ホ ームステイ交流（鎮西町育 友会連合会主催）をしてい くことを前提に始めること にした。	<ul style="list-style-type: none"> ・2002年8月19日～23日 鎮西町から韓国へ訪問、ホームステイ 交流、全羅南道庁訪問、地域探訪（引 率者4名、児童16名） ・2002年8月27日～30日 韓国から鎮西町へ訪問 （引率者5名、児童25名） 29日には鎮西町小学生との交流会 （名小全校児童参加） 楽器演奏や伝統舞踊等の相互披露 ・2002年10月3日 名護屋城博物館特別企画展の一環と して東洪初等学校（済州道）による「壁 画交流」の要請を博物館から受け作 成。博物館での「壁画除幕式」に参加。 両学校の壁画は、交換をし、交流の記 念品として展示 ・2003年1月12日 韓国少年発明英才団（ソウル）「第1 回日本探訪創造活動」（英才団：引率 者3名、小中高生80名/名小：引率者 3名、6年生32名参加） ・2003年1月23日 韓国少年発明英才団（ソウル）「第2 回日本探訪創造活動」（英才団：引率 者3名、小中高生135名/名小：引率 者3名、5年生37名参加） ・2004年7月26日～7月30日 萬徳訪問、ホームステイ2泊 名護屋児童25名、引率 ・2004年8月17日～8月20日 萬徳小が名護屋訪問 少年自然の家、 宿泊交流、ホームステイ 萬徳児童30名、引率9名 ・2006年7月31日～8月4日 名護屋小学校が萬徳初等学校を訪問し 交流を持つ 国際修練院にて宿泊並びに交流 現地児童宅でのホームステイ 名護屋小：児童32名 引率者5名 ・2006年8月16日～8月18日

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
			<ul style="list-style-type: none"> ・2010年7月27日～31日 名護屋小学校が萬(マン)徳(ドク)初等学校を訪問し交流を持つ。谷(コク)城(ソン)青少年野営場にて宿泊交流・ホームステイ(児童34名・引率4名・国際交流員1名) ・2010年8月24日～26日 萬(マン)徳(ドク)初等学校が名護屋小学校を訪問し交流を持つ。波戸岬少年自然の家にて宿泊交流・名護屋小児童宅にホームステイ交流(韓国児童20名・引率4名) ・2011年2月21日 全羅北道南部の淳昌郡(スンチャングン)の小中学生(児童・生徒18名、引率3名)が来校し、交流を持つ。 ・2012年2月9日 名護屋小学校韓国交流部事務局2名で萬徳初等学校を訪問し、2012年7月25～28日と8月22～24日の相互交流日程や今後の交流のあり方について協議を行った。 ・2012年7月25日～27日 名護屋小学校が萬徳初等学校を訪問し、交流を持つ。谷城青少年野営場にて宿泊交流ホームステイ。(児童40名、引率4名 PTA2名国際交流員1名) ・2012年8月22日～24日 名護屋小学校が萬徳初等学校を訪問し、交流を持つ。波戸岬少年自然の家にて宿泊、名古屋小児童宅でホームステイ交流。(韓国児童28名、引率6名) ・2013年度は手紙のやり取りで交流を続けている

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
	2002年8月20日 キョンサンナムド、ハミヤン 慶尚南道咸陽郡 咸陽小学校（韓国）	2002年8月に韓国を訪問した際、咸陽(ハミヤン)小学校を訪問。校長より2003年度のホームステイ交流を要請された。	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年8月18日～22日 鎮西町から韓国へ訪問 (引率者5名、児童27名) ・2003年8月26日～29日 韓国から鎮西町へ訪問 (引率者5名、児童30名) 交流会、楽器演奏、伝統舞踊の披露 ・2004年1月8日 韓国少年発明英才団(ソウル)「第3回日本探訪創造活動」(英才団:引率者9名、小中高生71名/名小:引率者2名、5年生37名、6年生希望者参加) 波戸岬少年自然の家で交流 ・2005年7月 ハミヤン 咸陽初等学校を訪問 釜山広域市にて現地小学生と交流 ・2011年12月21日 韓国全羅北道了淳昌郡より淳昌国際化研究会来校。名護屋小学校で歓迎交流会を開催(児童18名、引率3名)

オ 幼稚園

学 校 名	提携先・提携日	提 携 の 経 緯	交 流 状 況
塩 田 幼 稚 園	1994年5月27日 セントクレアーズ(イギリス)	イギリスのALTを通じて交流を始めた。	
エミール幼稚園	1995年4月2日 ビッグクロス幼稚園(アメリカ)	佐賀市グレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	

カ その他の交流状況

○ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・商工会議所

団 体 名	相 手 団 体 名	国 名	提携年月日
佐 賀ロータリークラブ	南釜山ロータリークラブ	韓 国	S48. 3. 24
佐賀西 "	岡 山 "	台 湾	S54. 2. 27
佐賀北 "	豊原西北 "	"	H 4. 6. 9
唐 津 "	麗 水 "	韓 国	S45. 11. 6
	大 甲 "	台 湾	S51. 11. 28
唐津中央 "	麗水閑麗 "	韓 国	H11. 11. 11
唐津西 "	浦 項 "	"	S49. 6. 13
	麗水左水營 "	"	S52. 3. 16
	唐津 "	"	S59. 4. 2
唐津東 "	員林 "	台 湾	S50, 2, 20
鹿 島 "	北斗 "	"	S55. 3. 13
佐賀ライオンズクラブ	晋州ライオンズクラブ	韓 国	S48. 10. 17
佐賀葉がくれ "	台北市第一（中央）国際獅子會	台 湾	S46. 2. 9
佐賀若楠 "	ソウル平和ライオンズクラブ	韓 国	S58. 8. ～
鳥栖養基 "	新馬山 "	"	S55. 1. 19
嬉 野 "	鎮 海 "	"	S54. 3. 17
佐賀青年会議所	新營青年会議所	台 湾	S60. 5. 24
唐津 "	麗水 "	韓 国	S46. 5. 5
唐津商工会議所	麗水商工会議所	韓 国	S52. 5. 10

○社会福祉法人めぐみ厚生センター・社会福祉法人「手と手」

・提携年月日 平成3年7月8日

・提携の動機・理由

平成2年1月に、大韓精薄者愛護協会の要請で受け入れた4人の職員の中に藝臨園の職員がいて、これをきっかけにして両園の相互交流が始まり、姉妹提携がなされた。

・交流の状況

障害者の福祉向上のための情報交換、自己研さんを中心とした人的交流。

H3. 10 韓国へ職員2名を研修派遣

H3. 10 韓国から職員6名を研修受入

H5. 4 韓国から職員4名を研修受入

H5. 8 韓国へ職員4名を研修派遣 第11回精神薄弱者アジア会議参加

H6. 11 韓国へ職員3名を派遣

H7. 1. 24～27 常務理事栗林恒俊先生告別式へ藝臨学校校長他1名参列

H7. 2. 20～26 韓国から職員4名を研修受入

H7. 7. 17～20 平成7年度 韓国福祉視察研修（九州地区精神薄弱者愛護協会主催）参加

H7. 7. 17～23 韓国へ職員4名を研修派遣

- H7. 7. 20～23 社会福祉法人精神薄弱者再活機関藝臨園にて研修
- H8. 3 めぐみ厚生センター理事長と理事の2名で藝臨園を訪問
- H8. 9 富士学園落成式へ藝臨学校長と職員の2名が来園
- H9. 4. 8～12 韓国仁川廣域市碍人福祉施設海外研修団来訪、張永順団長他福祉施設長他12名訪問
- H9. 4. 9 佐賀県福祉生活部長表敬訪問
- H9. 12. 2～5 韓国藝臨学校校長 具滋昇氏他3名研修受入
- H10. 1. 19～23 韓国藝臨園へ職員3名研修派遣
- H10. 6. 1～3 韓国藝臨園へ富士学園 利用者12名、保護者12名、職員3名、計27名親善訪問派遣
- H12. 10. 1～3 韓国社会福祉法人「手と手」(旧：藝臨園)
めぐみ厚生センター創立50周年記念式典へ出席の為、来佐(張理事長他1名)
- H16. 2. 12～14 韓国社会福祉法人「手と手」
めぐみ厚生センターめぐみ園新築落成式のため(来佐)(張本理事長他1名)
- H20. 6. 9～12 国際交流20周年記念
韓国「手と手」へ めぐみ園・富士学園利用者、家族会、職員(34名)
- H21. 11. 17 日本研修施設見学(来佐) 「手と手」(8名) 社会福祉法人仁正財団(7名)

○社会福祉法人めぐみ厚生センター・台湾省私立香園記念教養院(台湾)

- H10. 6. 21～22 繊維関係企業、会長及び香園記念教養院院長他3名、計5名視察研修訪問
- H10. 7. 13～16 教養院院長他3名計5名視察研修訪問
- H12. 9. 3～4 香園記念教養院関係者(佐賀県・大分県社会福祉施設)視察の為来佐。
諫山法人事務局長、香園記念教養院にて招聘による講演。
- H16. 10. 20～22 台湾省啓智協会、呉彩珠会長他4名(佐賀県福祉協会招待)九州地区知的障害関係
施設長研究大会参加の為来佐

○社会福祉法人めぐみ厚生センター・上海市残聯人聯合会(中国)

- 17.3.11 上海市残聯人聯合会曹子平副主席他2名視察研修訪問

○松浦文化連盟・麗水文化団体(韓国芸術文化総連号会麗水支部)

- ・提携年月日 昭和56年12月13日

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ボリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

① 市町別移住者数

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	フィリピン	ニュージーランド	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

農業振興課「佐賀県海外移住史」

② 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により17ヶ所(13ヶ国)に県人会があり、各種活動を行っている。

H25. 5月現在

地域	国名	団体名(日本語)	団体名(現地名称)	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	SOCIEDADE CULTURAL SAGAKEN BRASILEIRA	S30	260名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	S51	133名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	S32	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	S55	95名
	ボリビア	ボリビア佐賀県人会	ASOCIACION.DE.PRV,SAGAKEN BOLIVIA	S35	27名
北米	アメリカ	南加佐賀県人会	Southern California Saga Kenjin Kai	M38	120名 (78家族)
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	S54	25名
		NYばってん会	NY Batten Kai	H11	約50名
		北加佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	H21	16名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	H2	80名
	中国	大連佐賀県人会	大連がばい会	H25	18名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	H14	34名
	韓国	ソウル県人会		H25	15名
	シンガポール	佐賀県人会	葉隠会	S 59	30名
	マレーシア	佐賀県人会		H25	9名
	インドネシア	ジャカルタ県人会		H25	9名
ヨーロッパ	フランス	パリ佐賀県人会		H25	19名

4. 国際化推進のための環境づくり

(1) 人材育成

① 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び財団法人自治団体国際化協会（CLAIR）の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）等に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。

ア 年度別招致状況

JET青年招致人数推移

	県			市 町 等			合 計		
	CIR	ALT	計	CIR	ALT	計	CIR	ALT	計
3年度	1	16	17		35	35	1	51	52
4年度	1	18	19		40	40	1	58	59
5年度	2	20	22	3	48	51	5	68	73
6年度	2	22	24	3	52	55	5	74	79
7年度	2	24	26	2	52	54	4	76	80
8年度	2	25	27	2	55	57	4	80	84
9年度	2	26	28	1	56	57	3	82	85
10年度	2	28	30	2	57	59	4	85	89
11年度	3	29	32	2	60	62	5	89	94
12年度	3	29	32	2	62	64	5	91	96
13年度	3	30	33	2	63	65	5	93	98
14年度	3	30	33	3	64	67	6	94	100
15年度	3	30	33	3	64	67	6	94	100
16年度	3	30	33	3	64	67	6	94	100
17年度	3	29	32	3	64	67	6	93	99
18年度	3	28	31	3	60	63	6	88	94
19年度	3	27	30	3	50	53	6	77	83
20年度	3	14	17	2	41	43	5	55	60
21年度	3	9	12	2	35	37	5	44	49
22年度	3	6	9	2	33	35	5	39	44
23年度	3	16	19	2	31	33	5	47	52
24年度	3	16	19	2	30	32	5	46	51
25年度	4	16	20	2	26	28	6	42	48

※「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(2～18年度、各年度ALT1名を配置)を含む。

イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況（平成 25 年度）

○ 国際交流員（C I R）

配 置 先		人数(名)
県	佐賀県国際交流課	4
市 町 等	佐賀市国際交流室	1
	有田町商工観光課	1
C I R 計		6

○ 英語指導助手（A L T）

配 置 先			人数(名)	配 置 先		人数(名)
県	佐賀県教育委員会学校教育課		16	市 町 等	大町町教育委員会	1
市 町 等	唐津市教育委員会		11		江北町教育委員会	1
	多久市教育委員会		1		白石町教育委員会	2
	武雄市教育委員会		3			
	鹿島市教育委員会		2			
	吉野ヶ里町教育委員会		1			
	みやき町教育委員会		2			
	玄海町教育委員会		1			
	有田町教育委員会		1		(合計)	42

(国際経済・交流課調)

② 外国語教育

ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数 (1ヶ月以上)

	学 校 名	H23	H24	H25		学 校 名	H23	H24	H25
1	鳥栖				20	唐津南			
2	三養基	1	1		21	伊万里農林			
3	神埼				22	佐賀農業			
4	佐賀東				23	鳥栖工業			
5	佐賀西		1		24	佐賀工業			
6	佐賀北				25	唐津工業			
7	致遠館	1	1	1	26	有田工業		1	
8	小城			2	27	塩田工業			
9	唐津東				28	鳥栖商業		2	
10	唐津西				29	佐賀商業		1	
11	厳木				30	唐津商業			
12	唐津青翔				31	伊万里商業			
13	伊万里		1		32	杵島商業		1	1
14	武雄	1		1	33	鹿島実業			
15	白石	1			34	神埼清明			
16	鹿島				35	多久	1	1	
17	太良				36	嬉野			
18	牛津				受け入れ校数		5校	9校	5校
19	高志館			1	留学者数		5人	10人	6人

(県教育庁教育政策課)

イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況 (平成 25 年度)

	学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数 (定員)	コースの 設置年
1	致遠館高等学校	人文コース	3×2 学年	120×2 学年	2006 年
2					
	計	1校	6クラス	240人	

(県教育庁学校教育課)

ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況（平成 25 年度）

学 校 名	科 目	開始年度
佐賀商業高等学校	中国語Ⅰ（3年生選択・3単位） ハングルⅠ（3年生選択・3単位）	1992年 2005年
唐津商業高等学校	ハングル入門（3年生選択・3単位）	1992年
三養基高等学校	中国語Ⅰ（2・3年生選択・2単位）	1996年
佐賀北高等学校	中国語入門（3年生選択・4単位） ハングル入門（3年生選択・4単位）	1996年 2001年
嬉野高等学校	中国語入門（1・2年生選択・2,4単位）	2001年
多久高等学校	中国語入門（2・3年生選択・2単位）	2005年
唐津青翔高等学校	韓国文化（1・2・3年生選択・4単位） 韓国語Ⅰ（1・2年生選択・4単位） 韓国語Ⅱ（3年生選択・2単位）	2005年

（県教育庁学校教育課）

エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況（平成 25 年度）

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
実施なし			

（県教育庁学校教育課）

オ 海外との交流状況（姉妹友好等提携交流を除く）

学 校 名	相 手 校 名	交 流 の 経 緯	交 流 状 況
小 城 高 等 学 校	パブリックスクールラグビー校（イギリス）	<p>本校の創立 100 周年を記念して、同窓会の黄城会の主催で、生徒の国際理解を目指して平成 10 年度から 10 年間の期限を設定して本事業が始まった。平成 19 年度で黄城会からの補助も終了し、平成 20 年からは全額自己負担の条件で事業は継続している。</p> <p>イートンアンドハロー校東京事務所を通じてイギリスのパブリックスクールラグビー校を紹介された。</p>	<p>平成 10 年度から 10 年間は 1,2 年生から約 15 名の生徒を派遣してきた。ラグビー校の夏季休業中の事業でラグビー校の生徒と交流することはないが、参加者は 2 週間の期間、ラグビー校の卒業生とともにラグビー校の寮で生活し、ヨーロッパやアジアから参加している多くの学生たちやラグビー校の職員と交流している。</p> <p>研修日程は、語学研修、スポーツ、ロンドン・オックスフォード見学などで国際的な視野を身につけている。</p> <p>全額自己負担になった平成 20 年度からは参加希望者が減少してきている。</p> <p>その後希望者なく、実質廃止</p>
東 明 館 中 学 校	<p>ミュラーカレッジ（オーストラリア）</p> <p>マドレサアルアラビア（シンガポール）</p>	<p>中 3 の春休みに希望者が、語学研修を目的としたホームステイに参加する。</p> <p>就学旅行</p>	<p>数日高校で語学研修をホームステイしながら受ける。</p> <p>参加人数 46 名ほど、歓迎式、茶、華道、日本語の教育も若干行って国際理解教育の一環としている。</p> <p>修学旅行で学校交流 参加人数：中学 3 年生全員 グループ別文化交流、スポーツ交流を行っている。</p>
東 明 館 高 等 学 校	ミュラーカレッジ（オーストラリア）	高 1 の夏休みに希望者が、語学研修を目的としたホームステイに参加する。	数日高校で語学研修をホームステイしながら受ける。語学研修の内容は合同授業、ショッピング研修、アボリジニー文化体験、校外のフィールドワークなどを通じて国際交流を深めた。
致 遠 館 高 等 学 校	チャンピオンスクール（英国）	平成 21 年度から 20 名程度派遣してきた。参加者は 2 週間の滞在中は 2 名 1 家でホームステイしながらスクールに通う。	スクールで語学研修を行いながら、現地の生徒との交流を深める。途中ロンドン市内観光し、ビッグベンや大英博物館を見学する。最終日には ホストファミリーやスクールの生徒を招き、歌や楽器を演奏した。
致 遠 館 中 学 校	ホワイトクロスヘレフォードハイスクール（英国）	平成 21 年度から 10 名程度派遣してきたが、25 年度は参加人数が多く、33 名が参加した。	参加者は 2 週間の滞在中は 2 名 1 家でホームステイしながら スクールに通う。スクールで語学研修を行いながら、体育・音楽・美術などの実技教科を

学 校 名	相 手 校 名	交 流 の 経 緯	交 流 状 況
			<p>現地の生徒と一緒にいった。 また、イギリス到着の日は、1日ロンドンの市内観光を行い、ビッグベンや大英博物館を見学した。最終日にはホストファミリーや現地の生徒とのお別れ会があり、ソーラン節を踊ったり、千羽鶴を贈ったりした。</p>
早稲田佐賀高等学校	早稲田渋谷シンガポール校	<p>系列校である早稲田渋谷シンガポール校との1年間の交換留学制度であるが、先方からの受入はまだない</p>	<p>平成25年度 ・1年生1名・2年生1名の計2名がシンガポール校へ留学 ・30名程度の生徒がシンガポール校を訪問、交流を行った</p>
佐賀市立 小中一貫校芙蓉校	韓国 小中一貫校有治中学校	<p>交流先の日本の小中一貫校を探していた有治中学校が芙蓉校にメールを送り、交流がスタート。有治校が2012年度に修学旅行で九州を訪れた際、芙蓉校を訪問</p>	<p>平成25年8月 有治中学校の小学生が修学旅行で九州へ、その途中に芙蓉校を訪問 アリランと一緒に歌ったり、先方が持参したおもちゃを使っての交流を行った。</p>
佐賀市立 新 栄 小 学 校	釜山広域市 <small>トビヨシ</small> 兎岬小学校 (韓国)	<p>平成14年11月30日、本校創立30周年記念行事の一環として、新栄校区教育文化振興会が主催し、佐賀市と姉妹都市の締結をしている蓮堤区から兎岬小学校の代表児童を招待して交流を開始した。 その翌年より、新栄小児童多数が韓国の同小学校を訪問し、脈々と相互訪問（双方向のホームステイを基軸）が続いている。</p>	<p>・平成14年は兎岬小より5年生3名と校長ほか2名が来校。児童は2泊3日のホームステイ。 ・平成15年10月31日、本校6年生21名、引率者5名が、兎岬小の学園祭参加の招聘を受け、訪問。児童は2泊3日のホームステイ。意見発表や歌や踊りの披露、作品展示、家庭生活体験などをした。 ・平成16年は兎岬小より、5、6年生23名が来校し、授業・集会などで交流。地域や保護者も交流に参加した。 ・上記の形での相互訪問は平成18年度まで続いた。平成19～22年度は諸問題発生（渡船の欠航、インフルエンザ発生など）のために、公式訪問は一時中断した。（非公式での代表者交流は続いた。） ・平成22年8月、日本側より代表者3名が訪韓し、交流再</p>

学 校 名	相 手 校 名	交 流 の 経 緯	交 流 状 況
			<p>開を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年5月3日に新栄小より、5,6年生13名と引率者5名で兎峴小訪問を再開(2泊3日)。学校訪問(授業参加、セレモニー歓待)、ホームステイ、行政庁訪問などの歓待を受ける。 平成24年11月17~19日の2泊3日で、兎峴小6年生児童10数名を新栄小に招待し、「なかよしフェスタ」(文化祭)を中心にホームステイを実施した。 平成25年8月22日、本校4~6年生16名、引率者5名が、兎峴小の招聘を受けて訪問した。 (児童はホームステイ) 平成26年11月25~27日の2泊3日で、兎峴小児童14名、保護者10名が本校を訪問。体育館落成式典や授業への参加を中心に交流した。 (児童はホームステイ)
小城市立 砥川小学校	西安市 黄河小学校 (中国)	平成10年度に教職員1名が私費で黄河小学校を訪問。以後児童の作品を送るなどの交流が続いている。	<ul style="list-style-type: none"> 平成10年7月27日私費で教職員1名を派遣 児童作品交流、相互の学校紹介、校内施設設備見学 平成12年1月4日私費で教職員3名を派遣 児童作品交流、授業参観、両校の特色ある取り組みについて紹介し合う。 平成12年12月26日公費で教職員3名を派遣 児童作品交流、授業参観、教育にかかわっての教職員相互の話し合い。 平成13~20年度(毎年3月)両校の児童の図画作品等の交換を続けている。
鳥 栖 市 立 旭 小 学 校	2012年8月9日 旺之初等教育学校 (韓国)	佐賀県が主催した韓国への「心、贈ろう」プロジェクトに応募した絵手紙を見た、旺之初等学校の校長より、本校(旭小)訪問の提案があり交流が実現。	<p>平成25年1月23日 韓国順天市「旺之初等教育学校」より訪問。 (小学生27名、教師7名、保護者1名)計35名</p> <ul style="list-style-type: none"> 歓迎セレモニー (4~5年生) <p>【本校側】</p>

学 校 名	相 手 校 名	交 流 の 経 緯	交 流 状 況
			<ul style="list-style-type: none"> ・児童代表の学校紹介 ・ソーラン節 ・韓国童謡の合唱 【旺之小側】 ・アリラン ・扇の舞 ・日本の伝統遊びでの交流 (地域ボランティア) ・各学級への授業参加 ・給食交流 ・各学級での自由遊び ・家庭訪問(夕食) <p>平成25年8月上旬 5～6年生児童十数名が2泊3日 で韓国訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち半日程度、旺之初等教育学校との交流 ・旺之初等教育学校児童宅を訪問、夕食交流
ルンビニー幼稚園	ダービースクールキンダー ガーデン (佐世保米軍基地内)	<p>「陶土で遊ぼう」、「国際交流は自国文化の上で取り組もう」の考えで、有田地区の産業でもあり文化でもある「やきもの」を通じた同年令の子供達の交流を企画した。</p> <p>幸いにも米軍の基地が隣町の佐世保にあったので、基地内にあるダービースクールに主旨を伝えたとこ早く応じてくれた。また、「本物の文化を幼い頃より」との願いから、人間国宝である井上万二氏に初年度(平成5年度)より来園していただき両国の子供達の前でロクロの技を披露してもらった。</p>	<p>ダービースクールの招待で米軍基地内のダービースクールを見学し、一緒にゲーム等をして遊ぶ。</p> <p>井上氏の匠の技には、アメリカの子供ばかりでなく日本の子供達も驚き感動した。</p> <p>子供達ばかりではなく保護者同士も持ち寄った料理等の話で親しく交流できた。</p> <p>平成20年5月ダービースクールキンダーガーデンより訪問受入。</p> <p>平成21年2月ダービースクールキンダーガーデンを訪問お互い交流を深めた。</p> <p>平成22年5月ダービースクールキンダーガーデンより訪問受入。</p> <p>平成23年2月ダービースクールキンダーガーデンを訪問。</p> <p>平成24年5月 ダービースクールキンダーガーデンより訪問受入。2月 ダービースクールキンダーガーデンを訪問。</p> <p>平成25年5月29日 ダービースクールキンダーガーデンより、あかさかルンビニー園へ訪問受入、ルンビニー園園児も交流に参加</p> <p>あかさか園より、ダービースクールキンダーガーデンを訪問</p>

学 校 名	相 手 校 名	交 流 の 経 緯	交 流 状 況
学校法人 弘堂国際学園 日 本 語 学 校 弘 堂 国 際 学 園	プレー県 ピリヤライ高校 (タイ)	<p>将来日本に留学をしてみたいと考えているタイの高校生に、日本留学を体験してもらう目的で交流を開始した。</p> <p>平成24年度より、タイのプレー県ピリヤライ高校からの学生の受け入れを始め、現在まで続いている。</p> <p>平成26年3月2日には本校の校長が同校を訪問し、日本語の授業を受けている高校生に対し、日本語指導や日本語でゲームをしたりして交流を行った。</p>	<p>平成24年4月、「一ヶ月日本留学体験プログラム」に学生2名、引率教員1名参加。日本語の学習及び日舞・茶道・華道・書道の日本文化を体験した。</p> <p>平成25年4月、「二ヶ月日本留学体験プログラム」に学生3名参加。日本語の学習及び日舞・茶道・華道・書道の日本文化を体験した。</p>

5. 国際協力

(1) 国際協力の推進

① 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	インドネシア	モンゴル	パラオ	計	主な研修機関
55～5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューテック二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和養護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユ
6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊糞本舗
9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	16	佐賀医大、サトシキョボレション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、セモノジヤパン、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、シヤハンツアシステムが、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビューテック二葉
15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	211	63	13	13	4	17	11	3	1	2	1	2	341	

※ 昭和58年度までは、県単独事業。 (国際交流課調)
 59年度以降平成15年度までは国庫補助事業。 平成16年度は、再び県単事業として実施。
 平成21年度から23年度まではJICAの補助事業

② 独立行政法人国際協力機構 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
61	2	タ イ	〃
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
62	1	タ イ	佐賀大学農学部
63	2	ケ ニ ア	〃
		中央アフリカ	吉田鉄工所
元	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
3	1	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
8	1	スワジランド	(株)ワイ・ビー・エム
9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
13	1	パラオ	(財)佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車(株)
14	1	モンゴル	(有)ビューティック二葉
16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブータン	佐賀大学農学部
19	1	ブータン	〃
20	1	ブータン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部

*H22～H24の受入はなし

独立行政法人国際協力機構 九州国際センター 調

③ 独立行政法人国際協力機構 海外技術専門家派遣状況(派遣時佐賀県在住者)(平成25年3月末現在)

地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	85	
シンガポール	1	第三国(電力供給・送配電)
インドネシア	19	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護(産科)、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム(GIS)、技術移転計画、人口知能2、コンピューター映像
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究(媒介節足動物研究)
ベトナム	8	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理
バングラデシュ	11	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIT支援アド
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	5	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー／水稻育種・栽培
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
スリランカ	5	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
パプアニューギニア	2	業務調整／教材作成支援
中南米	25	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	6	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員
ボリビア	2	病院管理、アースダムの設計・施工
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国(光ファイバー伝送システム)、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ(小規模米作近代化技術)、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	1	マングローブ生態系の回復と管理
アフリカ	8	
ケニア	3	地下水開発(堀削機運転・堀削機維持)、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	1	灌漑/農民研修
マリ	2	村落開発アドバイザー(農業一般)
マラウイ	1	船舶機関士養成
計	122	

独立行政法人国際協力機構 九州国際センター 調

④ 青年海外協力隊派遣状況

ア 年度別派遣者数(調整員を含む)

(平成25年3月末現在)

年次	派遣者数	男	女	派遣中	
昭和43～平成7	130	93	37	0	130
8	2	1	1	0	2
9	3	1	2	0	3
10	3	2	1	0	3
11	7	4	3	0	7
12	4	2	2	0	4
13	4	3	1	0	4
14	12	8	4	0	12
15	11	5	6	0	11
16	11	5	6	0	11
17	9	2	7	0	9
18	11	4	7	0	11
19	10	3	7	0	10
20	8	2	6	0	8
21	14	6	8	0	14
22	14	3	11	0	14
23	6	5	1	6	12
24	3	1	2	3	14
25	7	4	3	11	5
計	269	154	115	20	258

イ 国別・地域派遣者数(調整員を含む)

(平成25年3月末現在)

国・地域	派遣者数	派遣中	帰国
ア ジ ア	80	3	70
インドネシア	2	0	2
中国	5	0	4
タイ	5	0	4
マレーシア	10	0	10
フィリピン	10	0	10
インドネシア	3	0	2
バングラデシュ	6	1	5
ネパール	7	0	6
スリランカ	9	1	7
インドネシア	5	0	5
タイ	1	0	1
インドネシア	5	1	4
ヨルダン	2	0	1
カンボジア	2	0	2
モルディブ	5	0	4
シンガポール	2	0	2
タイ	2	0	2
パキスタン	2	0	2
インドネシア	1	0	1
オセアニア	22	2	20
パプアニューギニア	7	0	7
ソロモモン	4	0	4
トンガ	3	0	3
バミュータ	3	1	2
フィジー	2	1	1
インドネシア	3	0	3
中南米	59	2	52
ホンジュラス	7	0	7
ベネズエラ	7	0	7
コロンビア	7	1	4
パナマ	3	0	3
グアテマラ	10	0	10
エルサルバドル	6	0	5
ニカラグア	3	0	2
キューバ	3	0	3
エクアドル	3	0	3
ペルー	2	0	2
ボリビア	3	1	2
パラグアイ	2	0	2
ウルグアイ	1	0	1
チリ	3	0	3
コロンビア	1	0	1
ペルー	1	0	0
アフリカ	101	6	83
エジプト	1	0	1
モロッコ	8	0	7
ケニア	19	1	18
タンザニア	10	0	8
ガナ	5	1	3
リビア	2	0	2
セネガル	10	0	9
マレーシア	6	0	4
ナイジェリア	12	1	11
ニジェール	4	0	4
コートジボワール	3	0	3
ボツワナ	4	1	3
マダガスカル	1	0	1
ジブチ	2	0	2
エチオピア	4	1	2
ウガンダ	4	0	3
ベネズエラ	2	0	2
エジプト	1	0	0
モロッコ	1	0	0
ケニア	1	0	0
タンザニア	1	1	0
フィジー	1	0	0
ヨーロッパ	8	0	8
ブルガリア	5	0	5
ハンガリー	3	0	3
佐賀県計	270	13	233

ウ 青年海外協力隊員派遣状況(佐賀県出身者)

(平成26年3月末現在)

性 別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1 男	ケニア	青少年活動	12.03.28 - 派遣中
2 女	バヌアツ	保健師	12.09.27 - 派遣中
3 女	エチオピア	幼児教育	12.10.01 - 派遣中
4 男	ブータン	土木	13.01.10 - 派遣中
5 女	バングラデシュ	村落開発普及員	13.6.28 - 派遣中
6 男	スリランカ	自動車整備	13.7.4 - 派遣中
7 女	ボリビア	ソーシャルワーカー	13.9.30 - 派遣中
8 男	ガーナ	理科教育	13.10.1 - 派遣中
9 男	ボツワナ	観光	13.1.14 - 派遣中
10 女	エクアドル	青少年活動	14.3.27 - 派遣中
11 男	モザンビーク	コミュニティ開発	14.3.31 - 派遣中

⑤ シニア海外ボランティア派遣状況

(平成25年3月末現在)

性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
1 男	マラウイ	品質管理	13.1.6 - 派遣中

⑥ 日系社会青年ボランティア派遣状況

(平成25年3月末現在)

性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
			-

⑦ 日系社会シニア・ボランティア派遣状況

(平成25年3月末現在)

性別	派 遣 国	業 種 名	期 間
			-

⑧ アセアン青年等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
62	アセアン青年混成チーム(公務員)	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
63	アセアン青年混成チーム(公務員)	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
元	アセアン青年混成チーム(公務員)	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
2	アセアン青年混成チーム(公務員)	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
4	アセアン青年混成チーム(教員)	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム(公務員)	6	県国際交流室
5	アセアン青年混成チーム(学生)	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム(公務員)	6	県国際交流課
6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム(教員)	18	佐賀ユネスコ協会
8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
10	アセアン青年混成チーム(行政)	24	(社)九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
16	インド教員(障害児教育)	19	佐賀ユネスコ協会
17	マレーシア 教育(初等)	20	佐賀ユネスコ協会
18	中央アジア(保健医療)	25	みやき町国際交流会
20	大洋州混成 行政(地方行政)	12	みやき町国際交流会

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町村名	担当課（室）名	電話番号	F A X	メールアドレス
佐賀市	市民活動推進課 国際交流室	0952-40-7023	0952-40-2050	katsudo@city.saga.lg.jp
唐津市	国際交流課	0955-53-7102	0955-72-9203	kokusai@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働推進課	0942-85-3508	0942-83-3310	kvoidou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	国際交流室	0955-22-7046	0955-22-7213	kokusai@city.imari.lg.jp
武雄市	企画課	0954-23-9325	0954-23-3816	kikaku@city.takeo.lg.jp
鹿島市	企画財政課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画課	0952-37-6115	0952-37-6163	kikaku@city.ogi.lg.jp
嬉野市	企画企業誘致課	0954-66-9117	0954-66-3119	kikaku@city.ureshino.lg.jp
神埼市	市長公室	0952-37-0102	0952-52-1120	soumu-02@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	企画課	0952-37-0332	0952-52-6189	kikaku@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	企画政策課	0942-92-2188	0942-92-2084	kyodo-3@town.kiyama.lg.jp
上峰町	企画課	0952-52-2182	0952-52-4935	kikaku@town.kamimine.lg.jp
みやき町	事業部まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	h-yumi@town.miyaki.lg.jp
玄海町	財政企画課	0955-52-2112	0955-52-3041	zaiseikikaku@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	syoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画課	0952-82-3112	0952-82-3117	kikaku@town.omachi.lg.jp
江北町	総務企画課	0952-86-2111	0952-86-2130	bikkie@town.kouhoku.saga.jp
白石町	企画財政課	0952-84-7114	0952-84-6611	kikakuzaisei@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画商工課	0954-67-0312	0954-67-2425	kikaku-shoko@town.tara.saga.jp

2. 佐賀県庁の機関 所在地：〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 電話(代表)：0952-24-2111

機関名	事業内容	電話番号	F A X
農林水産商工本部 国際交流課	○国際交流に係る施策の総合調整・推進、国際協力に関すること	0952-25-7004	0952-25-7084
旅券センター	○旅券に関すること	0952-25-7005	0952-25-7417

国際戦略グループ	○海外施策の総合調整及び推進に関すること	0952-25-7328	0952-25-7084
上海デスク (佐賀県農林水産商工本部国際戦略グループ内)	○企業の海外展開支援、県産品の輸出促進、観光客誘致、LCC等国際定期便の誘致	0952-25-7146	0952-25-7084
佐賀県香港代表事務所 (香港セントラル地区ペダーストリート1-3 セントラルビルディング10階)	○県内企業と中国企業の取引促進、佐賀牛等県産品の販促・販路拡大支援、香港や華南地域からの観光客誘致支援、学校間での交流促進支援	+852-3975-2846	+852-3975-2800
佐賀県瀋陽代表事務所 (中国遼寧省瀋陽市和平区南京北街206号 瀋陽城市広場第1タワー 2-1902号)	○企業の海外展開支援、県産品の輸出促進、観光客誘致、人的ネットワークの構築	+86-24-2334-2823	+86-24-2334-2853
流通課	○総合マーケティング、県産品の流通の振興及び卸売市場に関すること	0952-25-7252	0952-25-7307
商工課	○商工施策の企画・調整、地場産業の振興等	0952-25-7093, 7095	0952-25-7270
観光課	○観光施策の企画・調整、観光客誘致、観光事業の振興、通訳案内業等	0952-25-7098	0952-25-7304
交通政策部 空港課	○佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関すること	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課	○港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
教育庁 教育政策課 (グローバル人材育成担当)	○グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	FAX
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟1階	0952-25-7921	0952-25-7417
(社)佐賀県貿易協会	〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟5階 国際交流課内	0952-26-1474	0952-25-7084
(社)佐賀県観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟5階 観光課内	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡入国管理局 佐賀出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央3-3-20 佐賀第2合同庁舎 6階	0952-36-6262	0952-36-6261
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-8505 北九州市八幡東区平野2-2-1	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2丁目11番 1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423~25	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 福岡	〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ7階	092-741-8783	092-714-0709
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央1丁目8-32 iスクエアビル4F	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町1355-1	0955-22-7046	0955-22-7213
陶都有田国際交流協会	〒849-4153 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場 商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前町国際交流協会	〒847-1516 佐賀県唐津市肥前町瓜ヶ坂434	0955-54-1581	